

長野市共用空間データ製品仕様書

＜第 27 版＞

2024 年 6 月 30 日

長野市総務部情報システム課

目次

1. 概覧	3
1.1. 空間データ製品仕様書の作成情報	3
1.2. 目的	3
1.3. 空間範囲	3
1.4. 時間範囲	3
1.5. 引用規格	3
2. 適用範囲	4
2.1. 適用範囲識別	4
2.2. 階層レベル	4
3. データ製品識別	4
3.1. 空間データ製品の名称	4
3.2. 日付	4
3.3. 問合せ先	4
3.4. 地理記述	4
4. データ内容及び構造	5
5. 参照系	5
5.1. 空間参照系	5
5.2. 時間参照系	5
6. データ品質	5
7. データ製品配布	6
8. メタデータ	6
9. データ定義	6
9.1 DMデータ	6
9.2 共用空間データ	26
9.3 道路台帳要素データ	52
9.4 固定資産要素データ	95
9.5 表札情報データ	104
9.6 住居表示台帳図データ	125
10. 品質要求定義及び評価手順	130
10.1 DMデータ	130
10.2 共用空間データ	134
10.3 道路台帳要素データ	147
10.4 固定資産要素データ	152
10.5 表札情報データ	157
10.6 住居表示台帳図データ	161

1. 概覧

1.1. 空間データ製品仕様書の作成情報

共用空間データ製品書の題名：長野市共用空間データ製品仕様書

日付：2006 年 11 月 1 日
作成者：長野市 総務部 情報システム課
言語：日本語
分野：統合型地理情報システム
文書形式：PDF

1.2. 目的

本仕様書は、長野市共用空間データ作成業務委託特記仕様書に基づき作成される空間データを対象として、地理情報標準に基づきデータ内容の標準化を図ることを目的とする。

1.3. 空間範囲

作成する空間データの範囲は長野市全域とする。

1.4. 時間範囲

作成する空間データは平成 18 年 5 月 1 日以降とする。

1.5. 引用規格

- (1) 測量法（昭和 24 年法律第 188 号）、同施行令及び同施行規則
- (2) 国土調査法（昭和 26 年法律第 180 号）、同施行令及び同施行規則
- (3) 道路法（昭和 27 年法律第 180 号）、同施行令及び同施行規則
- (4) 都市計画法（昭和 43 年法律第 100 号）、同施行令及び同施行規則
- (5) 地理情報空間活用基本法（平成 19 年法律第 63 号）
- (6) 個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）
長野市個人情報の保護に関する法律施行条例（令和 4 年長野市条例第 43 号）
- (7) 長野市財務規則及び関係諸規則
- (8) 長野市公共測量作業規程（平成 20 年国土地第 593 号変更承認）
- (9) 国土交通省道路施設現況調査提要
- (10) 作業規程の準則（令和 2 年国土交通省告示第 461 号）
- (11) 地理情報標準第 2 版（JSGI2.0, 国土地理院 平成 14 年 3 月）
- (12) 日本メタデータプロファイル（JMP2.0, 国土地理院 平成 16 年 3 月）
- (13) 地理情報標準プロファイル（JPGIS2014 版, 国土地理院 令和元年 7 月）
- (14) 公共測量成果改定マニュアル（国土地理院 平成 26 年 5 月）
- (15) 地図情報レベル 2500 データ作成の製品仕様書（案）（国土地理院 平成 26 年 4 月）
- (16) デジタルオルソ作成の公共測量作業マニュアル（国土地理院 平成 16 年 1 月）

(17) 共用空間データ調達仕様書及び基本仕様書（総務省自治行政局 平成13年7月）

(18) 都市計画GIS導入ガイダンス（(財)都市計画協会 平成17年6月）

2. 適用範囲

2.1. 適用範囲識別

本製品仕様書の適用範囲は長野市共用空間データ製品仕様書適用範囲とする。

2.2. 階層レベル

本製品仕様書の適用範囲の階層レベルはデータ集合とする。

3. データ製品識別

3.1. 空間データ製品の名称

長野市共用空間データ

3.2. 日付

2008/05/23（2024/06/30 更新）

3.3. 問合せ先

長野市 総務部 情報システム課

3.4. 地理記述

長野市全域

4. データ内容及び構造

取得する空間データは次のものを対象とし、データ内容及び構造は「9. データ定義」に基づき作成する。

- ・ 行政区域
- ・ 筆（筆界・地番）
- ・ 基準点（都市基準点）
- ・ 街区
- ・ 共用道路中心線
- ・ 道路
- ・ 車歩道境界（歩道）
- ・ 建物
- ・ 軌道（1/2,500、1/10,000、駅舎）
- ・ 河川水涯線（1/2,500、1/10,000）
- ・ 湖池（1/2,500、1/10,000）
- ・ 標高（標高点、等高線）
- ・ 画像（高解像度、中解像度、低解像度）
- ・ その他の地形・地物（レベル 2,500DM、レベル 10,000DM）

5. 参照系

5.1. 空間参照系

参照系識別子：JGD2011, TP / 8(X, Y), H

5.2. 時間参照系

参照系識別子：GC / JST

6. データ品質

作成する空間データは項目ごとに定められた品質要求及び品質基準をまとめた

「10. 品質要求定義及び評価手順」に示される品質を満たすものとする。

7. データ製品配布

作成する空間データの形式は以下のとおりとする。

- ・ ESRI 社 SHAPE フォーマット
- ・ DM フォーマット（地形図データのみ）
- ・ T I F F フォーマット

なお、ESRI 社 SHAPE フォーマットは以下の 4 種類のファイルとする。

- .shp：図形情報を格納するメイン ファイル
- .shx：図形情報と属性情報との対応関係が保存されるインデックス ファイル
- .dbf：属性情報を格納する dBASE テーブル
- .prj：座標系情報を格納するファイル（ESRI 社 ArcGIS、ArcExploler で使用）

8. メタデータ

作成する空間データに関するメタデータは日本メタデータプロファイル（JMP2.0）に基づき作成する。

9. データ定義

9.1 DMデータ

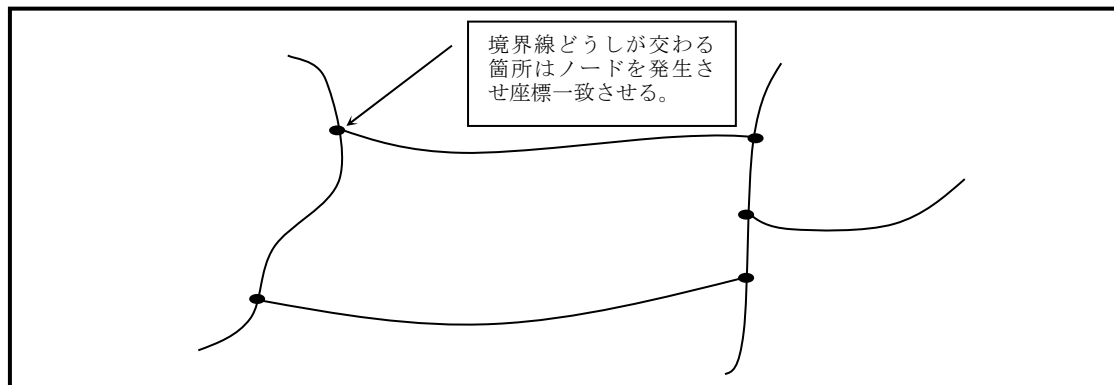
※2500DM データの定義は原則として『長野市公共測量作業規程 付録 7 公共測量標準図式』（公共測量作業規程の準則に準拠）に準拠し、特記事項のみ以下に記載する。

※10000DM データの定義は原則として 2500DM データに準拠し、特記事項のみ以下に記載する。

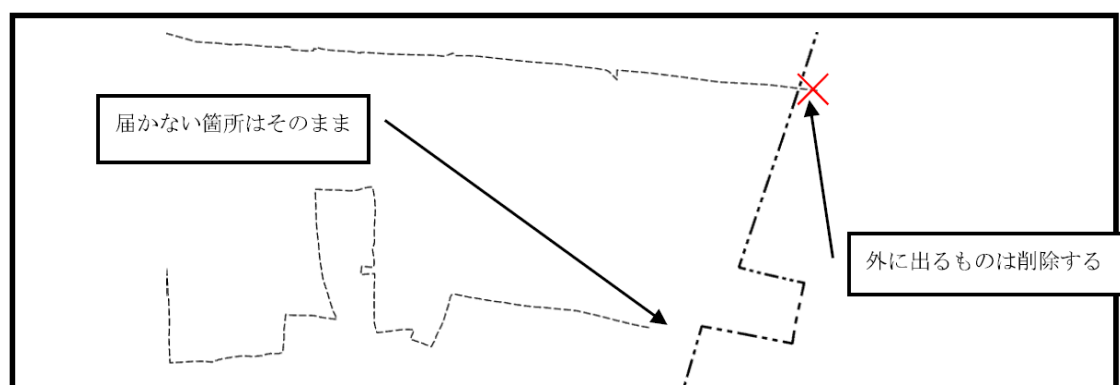
※撮影画像データは長野市公共測量作業規程（公共測量作業規程の準則に準拠）に準拠する。

図式分類コード	名 称	位置精度	-	取得基準	-
1101	県界	図式			
1103	郡・市界				
1104	町・村界				
1106	大字・町丁目界				

- 異なる境界記号が重複する部分の優先順位は、図式分類コードの小さい順とする。
- 境界記号は、原則として境界の真位置と記号の中心線とが一致するように表示する。
- 境界記号上には、注記、建物記号、小物体記号及び場地記号は原則として表示しない。ただし、表現上やむを得ない場合は境界記号を間断して表示することができる。
- データの連続性を保ち、境界線どうしが交わる箇所はノードを発生させ、座標一致させる。
- 表示しない境界データには、間断フラグを設定し陰線入力する。



- 境界のうち市界は国土地理院・基盤地図情報の「行政区画の境界線」を利用する。
- 境界のうち大字界は資産税課の境界データを利用する。その際市域より外に出るものについては削除し、市域まで届かないものについてはそのままにしておく。微小な飛地は表示しない。

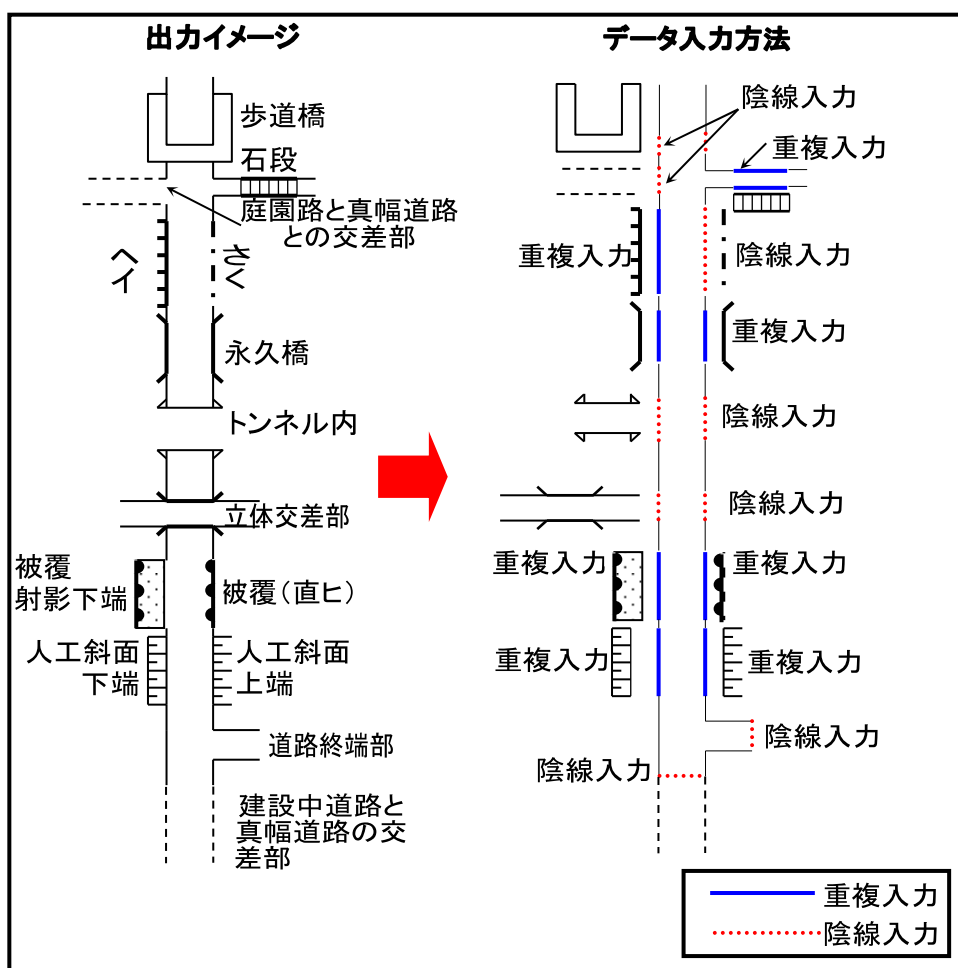


- 小字界は取得しない。

DM 道路 1/3

図式分類コード	名 称	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
2 1 0 1	その他の道路	図式			
2 1 1 1	高速自動車国道				
2 1 2 1	国道				
2 1 3 1	主要地方道				
2 1 4 1	県道				
2 1 5 1	市道				
2 1 5 2	農道				
2 1 5 3	林道				
1. 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。 2. 取得する全ての道路は幅員（路肩から路肩まで）を縮尺化して表示する。（真幅取得する） 3. 徒歩道（2103）は、真幅道路として取得する。 4. データの連続性を保ち、他の地物と重複する部分は、次頁図に準じて実線（重複）または陰線（間断区分）で取得する。 5. 重複する地物は、道路の端点と座標一致させる。 6. 真幅道路は、高速自動車国道（2111）、国道（2121）、主要地方道（2131）、県道（2141）、市道（2151）、農道（2152）、林道（2153）、その他の道路（2101）に細分化する。 7. 広域農道、農免道路、大規模林道はその他の道路（2101）に分類する。 8. 高速自動車国道（2111）は上信越自動車道及び長野自動車道に適用する。 9. 国道（2121）は一般国道に適用する。 10. 主要地方道（2131）は主要地方道に適用する。 11. 県道（2141）は一般県道に適用する。 12. 市道（2151）、農道（2152）、林道（2153）はそれぞれ市が管理する市道、農道、林道に適用する。 13. 徒歩道はレベル 500 もしくは 1000 で取得するため、真幅取得し市道（2151）、農道（2152）、林道（2153）、その他の道路（2101）に細分化する。 14. その他の道路（2101）は幅員 0.8m、延長 25m 以上を取得する。 15. 国道、主要地方道、県道、市道、農道、林道は幅員 0.8m 未満であっても、真幅で表示する。 16. 国道、主要地方道、県道、市道、農道、林道及びその他の道路は、以下の資料から区分することを原則とする。 「長野建設事務所管内図」、「道路台帳網図」					

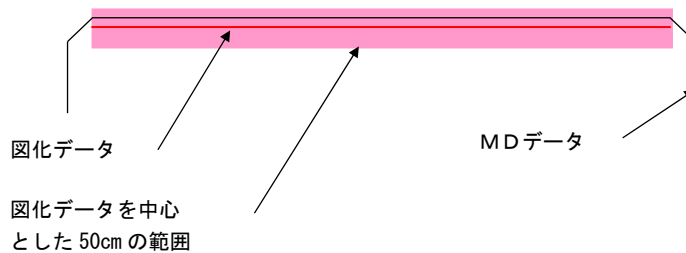
図式分類コード	名 称	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
2 1 0 1	その他の道路	図式			
2 1 1 1	高速自動車国道				
2 1 2 1	国道				
2 1 3 1	主要地方道				
2 1 4 1	県道				
2 1 5 1	市道				
2 1 5 2	農道				
2 1 5 3	林道				



図式分類コード	名 称	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
2 1 0 1	その他の道路	図式			
2 1 1 1	高速自動車国道				
2 1 2 1	国道				
2 1 3 1	主要地方道				
2 1 4 1	県道				
2 1 5 1	市道				
2 1 5 2	農道				
2 1 5 3	林道				

17. 国道、主要地方道、県道、市道は道路台帳図のMDデータを利用する。MDデータを利用する際には、レベル 500 もしくは 1000 の位置精度検証を行い、必要精度を満たさない場合は新たにレベル 500 もしくは 1000 で図化取得を行う。
18. 道路台帳図MDデータの図化による位置精度検証は、レベル 500 では 50cm、レベル 1000 では 1m の精度を基準に行い、MDデータの採用の可否は基本的には街区辺単位で行う。

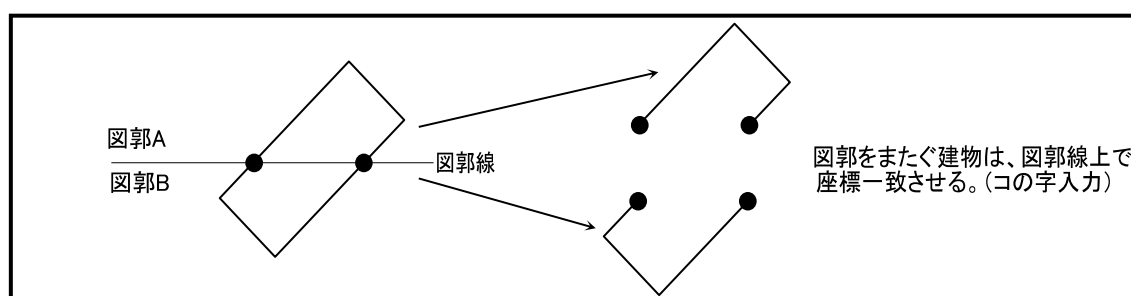
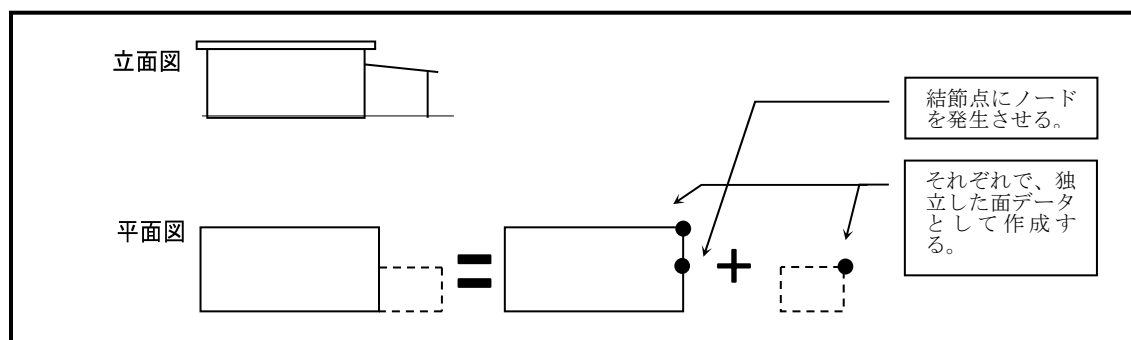
レベル 500 での位置精度検証例



道路台帳MDデータが図化データを中心に 50cm（レベル 1000 の場合は 1m）の範囲にあれば、MDデータを道路データとして採用する。MDデータが精度範囲外の場合は、図化データを道路データとして採用する。

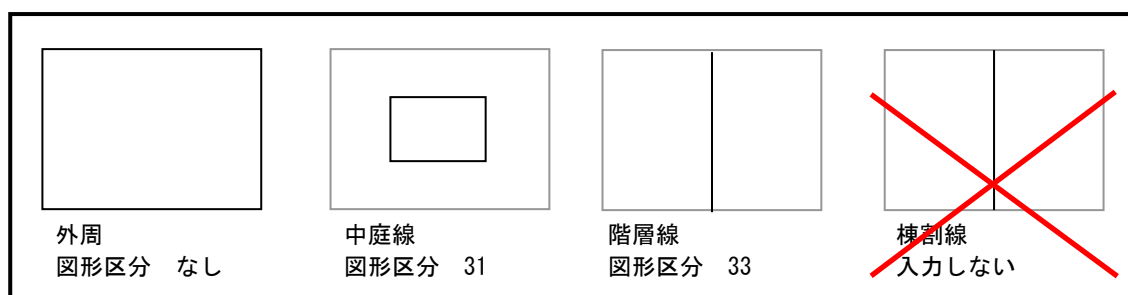
図式分類コード	名 称	位置精度	1000	取得基準	1000
3 0 0 1	普通建物	図式			
3 0 0 2	堅ろう建物				
3 0 0 3	普通無壁舎				
3 0 0 4	堅ろう無壁舎				

1. 位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
2. 建物は、射影の短辺が実長 1m 以上のものについて、その外周の正射影を取得する。
3. 普通建物とは、3 階未満の建物及び 3 階以上の木造等で建築された建物をいう。
4. 堅ろう建物とは、鉄筋コンクリート等で建築された建物で、地上 3 階以上または 3 階相当以上の高さのものをいう。
5. 普通無壁舎とは、側壁のない建物、温室及び工場内の建物類似の建築物で、3 階未満のものをいう。
6. 堅ろう無壁舎とは、鉄筋コンクリート等で建築された側壁のない建物及び建物類似の建築物で、地上 3 階以上又は 3 階相当以上の高さのものをいう。
7. 図郭線で分割される建物、間断部を含む建物以外は面で定義する。
8. 建物が密集していても総描はせず、個々の建物を独立して取得する。
9. 付属建物も独立した建物として取得し、結節点にはノードを発生させ、座標一致させる。

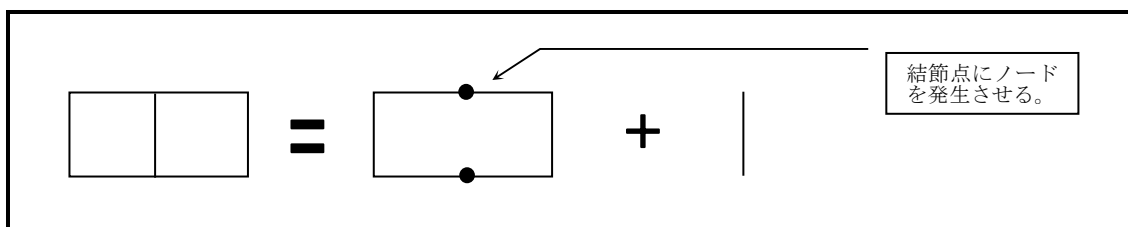


図式分類コード	名 称	位置精度	1000	取得基準	1000
3001	普通建物	図式			
3002	堅ろう建物				
3003	普通無壁舎				
3004	堅ろう無壁舎				

10. 中庭線を取得し、中庭の区分を行う。
11. 堅ろう建物、堅ろう無壁舎は階層線を取得し、階層の区分を行う。
12. 棟割の区分はせず、それぞれの建物を独立して取得する。
13. 外付階段、ポーチ・ひさしの区分はせず、建物としてその外周を取得するが、道路上に大きくはみだすなどの地図表現上問題が生じる場合は適宜省略する。



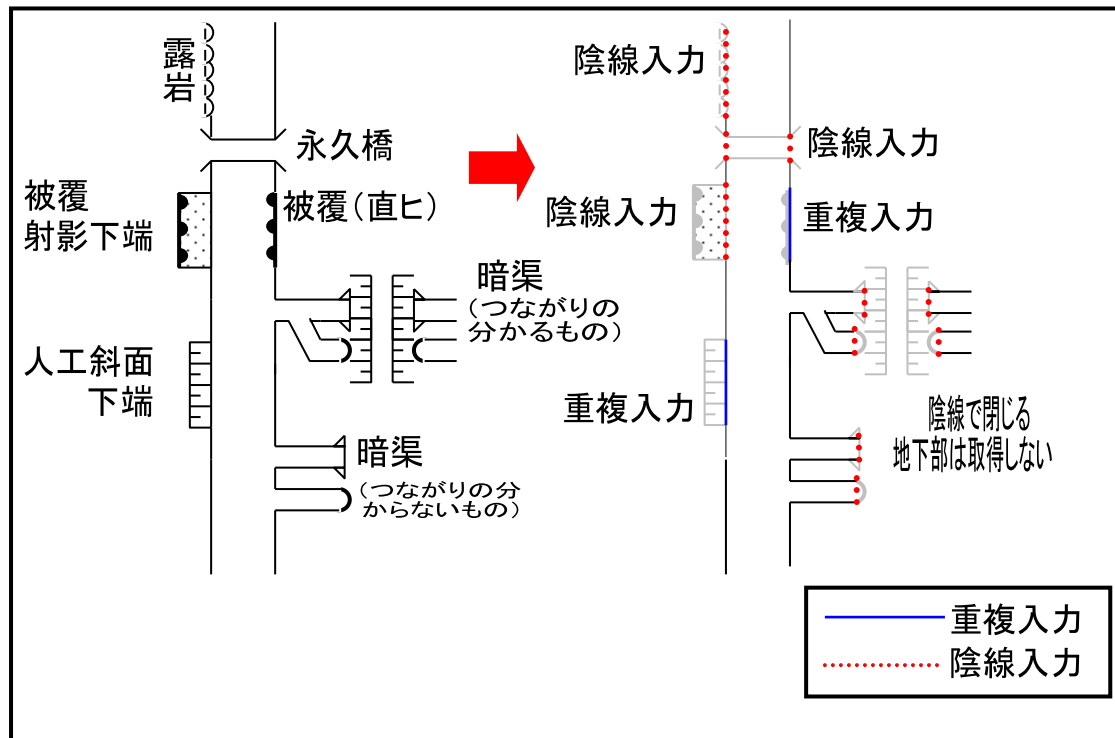
14. 階層線を取得する場合は、外周建物の結節点にノードを発生させ、座標一致させる。



15. 原則として建物の軒先を取得するが、道路敷地内に軒先がかかるものは軒先の転位を行い宅地内におさめる。
16. 仮設のプレハブ、基礎のない物置、住宅の簡易車庫（カーポート）、簡易なビニールハウス等は取得しない。
17. 建物の高架下部分等については、陰線で取得する。また、半地下の建物については取得しない。

図式分類コード	名 称	位置精度	2500	取得基準	2500
5101	水がいがい線	図式			

- データの連続性を保ち、他の地物と重複する部分は、下図に準じて実線（重複）または陰線（間断区分）で取得する。
- 重複する地物は、水がいがい線の端点と座標一致させる。



DM 等高線 1/1

図式分類コード	名 称	位置精度	2500 10000	取得基準	2500 10000
7 1 0 1	等高線（計曲線）	図式			
7 1 0 2	等高線（主曲線）				

- データの連続性を保ち、図面表示しない部分は陰線（間断区分）で取得する。
- 各データ間で交差、重複させない。
（直被覆に数本の等高線が入る場合は、等高線を図面表現に影響のない程度の白部（実長 10cm 程度）をおいて取得する。）

実長 10cm 程度の白部をおいて、
データを取得し、重複させない

— 実線入力
... 陰線入力

- 2次元座標レコードに標高値を属性として入力する。

DM 基準点 1/1

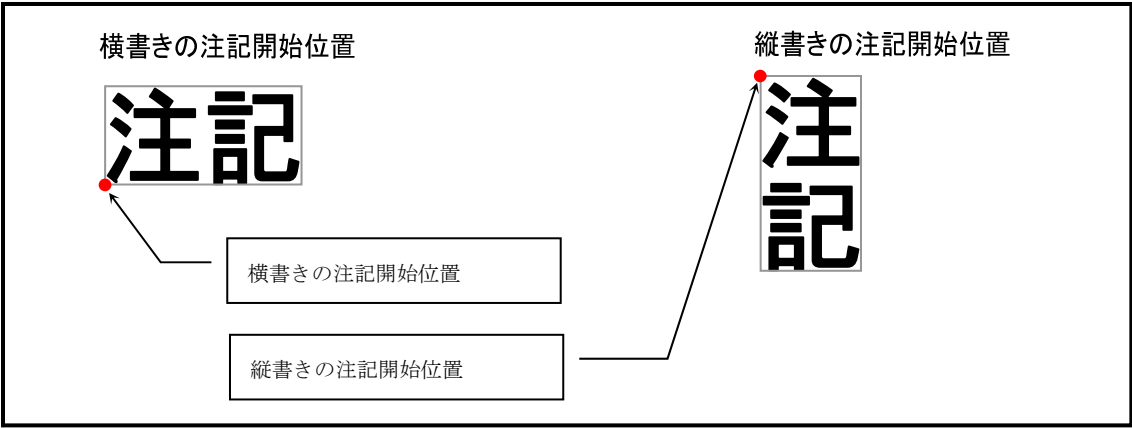
図式分類コード	名 称	位置精度	-	取得基準	-
7 3 0 6	長野市 1 級基準点	図式			
7 3 0 7	長野市 2 級基準点				
7 3 0 5	長野県水準点				
1. 長野市基準点は 1 級（7306）と 2 級（7307）に細分化する。 2. 基準点成果、水準点成果から入力する。 3. 2 次元座標レコードに標高値を属性として入力する。					

DM ランダムポイント 1/1

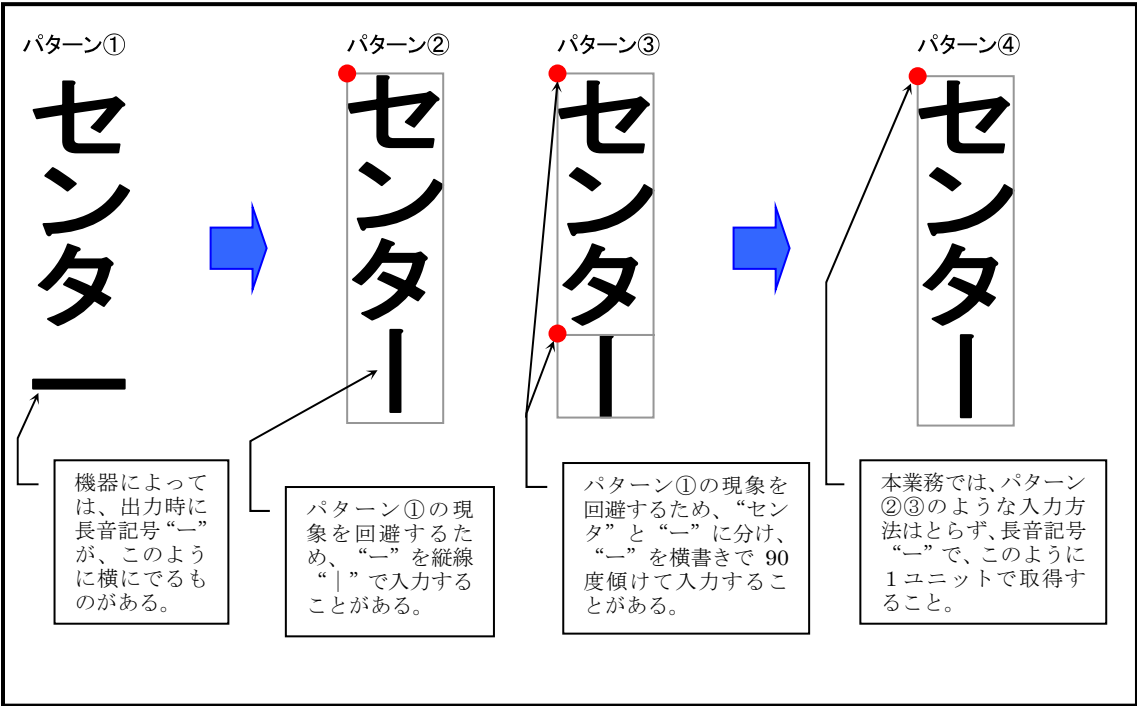
図式分類コード	名 称	位置精度	-	取得基準	-
7 5 1 1	道路標高点	図式			
7 5 1 2	建物標高点				
1. 道路標高点（7511）は道路中心付近の標高を取得する。 2. 原則、全ての交差点と道路の末端付近で取得し、交差点間が長い場合は、実長 75m 間隔を基準に取得する。実長 75m 間で比高差が 2m 以上ある場合は、中間点もしくは実長 25m 間隔で取得する。道路の末端付近では必ず道路内で取得する。 3. 道路上の図化単点（7312）は作業規程どおり（図上 10cm×10cm の範囲内に 10 点）の取得とし、不足する箇所について道路標高点（7511）を取得する。 4. 建物標高点（7512）は全ての建物の代表標高を取得する。 5. 代表標高は原則として、建物の最上部の高さとする。 6. 代表標高は、階層線で区分される建物は階層ごとに取得する。 7. 道路標高点（7511）、建物標高点（7512）とも都市計画基本図には表示しない。 8. 2 次元座標レコードに標高値を属性として入力する。					

図式分類コード	名 称	位置精度	-	取得基準	-
7 1 ??	等高線数値	図式			
7 3 ??	基準点数値				
8 1 ??	注記				
8 2 ??	建物注記				

1. 横書きを優先する。
2. 横書きと縦書きの注記開始位置は以下のとおりとする。



3. 長音記号“ー”は、負符合“－”や、ダッシュ（全角）“—”、及びハイフン（四分）“-”を用いないようにし、必ず長音記号“ー”を用いる。



図式分類コード	名 称	位置精度	-	取得基準	-
8 1 1 0	市・東京都の区	図式			
8 1 1 1	町・村・指定都市の区				
8 1 1 2	市町村の飛地				
8 1 1 4	大字・町丁目				
8 1 1 5	小字				
4. 以下の資料から入力することを原則とする。					
大字コード表（小字は旧図を参照する）					
5. 市・東京都の区（8110）では、「長野市」と隣接市町村名を表示する。					
6. 大字・町丁目（8114）では、「〇丁目」は漢数字で表示する。					

図式分類コード	名 称	位置精度	-	取得基準	-
8 1 2 1	道路の路線名	図式			
8 1 2 2	坂・峠・道路施設・ インターチェンジ等				

7. 国道、高速自動車道、主要地方道、県道の路線名は以下の資料から入力することを原則とする。

「長野建設事務所管内図」

8. 高速道路のインターチェンジ等は以下の例に準じて略称を注記する。

- 長野インターチェンジ ⇒ 長野 I C
- 更埴ジャンクション ⇒ 更埴 J C T
- 松代パーキングエリア ⇒ 松代 P A

図式分類コード	名 称	位置精度	-	取得基準	-
8 1 2 3	鉄道の路線名	図式			
9. 以下の資料から入力することを原則とする。					
「2万5千分1地形図」（国土地理院）					
＜入力例＞					
北陸新幹線、長野電鉄長野線					

図式分類コード	名 称	位置精度	-	取得基準	-
8 1 5 1	水部・河川名	図式			
10. 以下の資料から入力することを原則とする。					
「河川水路図」					

図式分類コード	名 称	位置精度	-	取得基準	-
8 1 6 2	場 地 ・ 公 園 名	図式			
11. 以下の資料から入力することを原則とする。 「公園配置図」 12. 都市公園、子供広場、児童遊園等を注記し、団地、市営住宅、県営住宅内にあり、資料に名称のない公園は注記しない。 13. 資料の名称を優先し、「公園」のように省略表示はしない。 14. 名称の「〇丁目」はアラビア数字の全角文字で表示する。					

図式分類コード	名 称	位置精度	-	取得基準	-
8 1 7 3	基準点	図式			
15. 等高線数値（71??）、基準点数値（73??）を使用し、基準点（8173）は使用しない。					
16. 基準点名称は取得しない。					

図式分類コード	名 称	位置精度	-	取得基準	-
8 1 8 1	説明注記	図式			
17. 場地に説明的な注記を付する場合は、以下の例に準じて注記する。 ・ 道路、鉄道の建設中 ⇒ （建設中） ・ 大規模な住宅造成及び土地改良事業 ⇒ （宅地造成中）、（整地中）、（土地改良事業中） ・ 河川改修工事等 ⇒ （工事中） ・ 大規模な工場敷地用地 ⇒ （工場予定地） ・ 大規模な建物の建設中 ⇒ （建設中）					
18. 湖池等を示す「W」は記号（5105）を使用し、注記（8181）は使用しない。					
19. 土がけを示す（土）は記号（7201）を使用し、注記（8181）は使用しない。					
20. 岩がけを示す（岩）は記号（7211）を使用し、注記（8181）は使用しない。					

図式分類コード	名 称	位置精度	-	取得基準	-
8 2 ? ?	建物注記	図式			

21. 建物の種別ごとに公共測量作業規程・大縮尺地形図図式で定める建物記号の分類 41 項目とそれ以外の建物（種別なし）の合計 42 項目に細分化する。

（官公署、裁判所、検察庁、税務署、税関、郵便局、森林管理署、測候所、地方整備局事務所、出張所、警察署、交番、消防署、職業安定所、土木事務所、役場支所及び出張所、神社、寺院、キリスト教会、学校、幼稚園・保育園、公会堂・公民館、博物館、図書館、美術館、保健所、病院、銀行、協同組合、デパート、倉庫、火薬庫、工場、発電所、変電所、浄水場、揚水機場、揚・排水機場、排水機場、公衆便所、ガソリンスタンド、種別なし）

22. 建物注記はコード（82??）とし、コードの下 2 桁に建物記号コードの下 2 桁を適用し設定する。種別なしはコード（8200）を使用する。

<例：建物注記：郵便局（8209）>

23. 各種注記の出所（資料名）と現地確認の結果をまとめた注記資料図を別途作成する。

図式分類コード	名 称	位置精度	-	取得基準	-
8 2 ? ?	建物注記	図式			
24. 以下の基準に準じて注記する。					
官公署（8203）	全て注記する。				
裁判所（8204）	全て注記する。 ＜長野地方裁判所＞				
検察庁（8205）	全て注記する。				
税務署（8207）	全て注記する。				
税関（8208）	該当なし。				
郵便局（8209）	注記を原則とするが、建物の一隅にあるものは記号表示する。				
森林管理署（8210）	全注記する。				
測候所（8211）	該当なし。				
工事事務所（8212）	全て注記する。 ＜国土交通省関東地方整備局長野国道事務所＞				
出張所（8213）	全て注記する。				
警察署（8214）	全て注記する。 ＜長野中央警察署＞				
交番・駐在所（8215）	注記を原則とするが、建物の一隅にあるものは記号表示とする。				
消防署（8216）	注記を原則とするが、消防分団、消防器具置場等は記号表示とする。				
職業安定所（8217）	全て注記する。				
土木事務所（8218）	全て注記する。 ＜長野建設事務所＞				
役場支所及び出張所（8219）	全て注記する。				
神社（8221）	目標となるものを地図表現に無理がない範囲で注記し、それ以外は記号表示とする。				
寺院（8222）	目標となるものを地図表現に無理がない範囲で注記し、それ以外は記号表示とする。				
キリスト教会（8223）	目標となるものを地図表現に無理がない範囲で注記し、それ以外は記号表示とする。				

図式分類コード	名 称	位置精度	-	取得基準	-
8 2 ? ?	建物注記	図式			
学校（8224）	全て注記する。高校のみ県立、市立を注記する。				
幼稚園（8225）	全て注記する。				
保育園（8220）	市の保育所と民間保育所のみ注記する。家庭保育所と簡易保育所については注記も記号も表示しない。				
公会堂・公民館 （8226）	全て注記する。 自治会館、集会所、児童センターも注記する。				
博物館（8227）	全て注記する。				
図書館（8228）	全て注記する。				
美術館（8229）	全て注記する。				
保健所（8231）	全て注記する。				
病院（8232）	注記を原則とするが、針灸院、接骨院等については注記も記号も表示しな。				
銀行（8234）	注記を原則とする。出張所やキャッシュカード専用の建物は記号表示する。				
協同組合（8236）	注記を原則とする。				

図式分類コード	名 称	位置精度	-	取得基準	-
8 2 ? ?	建物注記	図式			

デパート（8239）	目標となるものを地図表現に無理がない範囲で注記し、それ以外は記号表示とする。 くながの東急百貨店＞
倉庫（8245）	目標となるものを地表現に無理がない範囲で注記し、それ以外は記号表示とする。
火薬庫（8246）	目標となるもの地図表現に無理ない範囲で注記し、それ以外は記号表示とする。
工場（8248）	目標となるものを地図表現に無理がない範囲で注記し、それ以外は記号表示とする。
発電所（8249）	全て注記する。
変電所（8250）	全て注記する。
浄水場（8252）	全て注記する。
揚水機場（8253）	目標となるものを地図表現に無理がない範囲で注記しそれ以外は記号表示とる。
揚・排水機場（8256）	目標となるものを地図表現に無理がない範囲で注記し、それ以外は記号表示とする。
排水機場（8257）	目標となるものを地図表現に無理がない範囲で注記し、それ以外は記号表示とする。
公衆便所（8259）	全て記号表示する。
ガソリンスタンド （8260）	全て記号表示する。

※但し、10000DM については、注記することで重要な地形地物が表現されない場合等は、周辺地形及び地物の状況に応じて適宜記号化、省略を行う。

図式分類コード	名 称	位置精度	-	取得基準	-
8 2 0 0	建物注記・種別なし	図式			
25. 前述の分類 41 項目にあてはまらない建物は、目標となるものを地図表現に無理がない範囲で注記する。					
26. 長野県立～、長野市立～の表示について					
・ “長野県立～”、“県立～”は“県立～”の表記を標準とする。 ・ “長野市立～”、“市立～”は“市立～”の表記を標準とする。					
27. 公営住宅、団地等の表示について					
・ 全て注記する。					
28. 共同住宅、宿舎					
・ 公共、民間のものとも目標となるものを地図表現に無理がない範囲で注記する。					
29. ビル名の表示について					
・ 目標となるものを地図表現に無理がない範囲で注記する。					
30. マンション名の表示について					
・ 目標となるものを地図表現に無理がない範囲で注記する。					
31. 民間会社等の表示について					
・ 目標となるものを地図表現に無理がない範囲で注記する。 ・ （株）や（有）は省略して注記する。 ・ パチンコ店は注記しない。					

DM 表現補助データ 1/1

図式分類コード	名 称	位置精度	-	取得基準	-
—	表現補助データ	図式			
1. 以下の表現補助データは全て線で取得し、図形区分「99」でDM データに格納する。					
・ 道路橋（2203）の被開部 ・ 徒橋（2205）の被開部 ・ 高塔（4235）の脚部 ・ 透過水制（5232）の内部記号 ・ 人口斜面（6101）の内部記号 ・ 被覆（6110）の内部記号 ・ 土がけ（7201）の内部記号 ・ 岩がけ（7211）の内部記号 ・ 露岩（7212）の作図記号 ・ 散岩（7213）の作図記号 ・ さんご礁（7214）の作図記号					

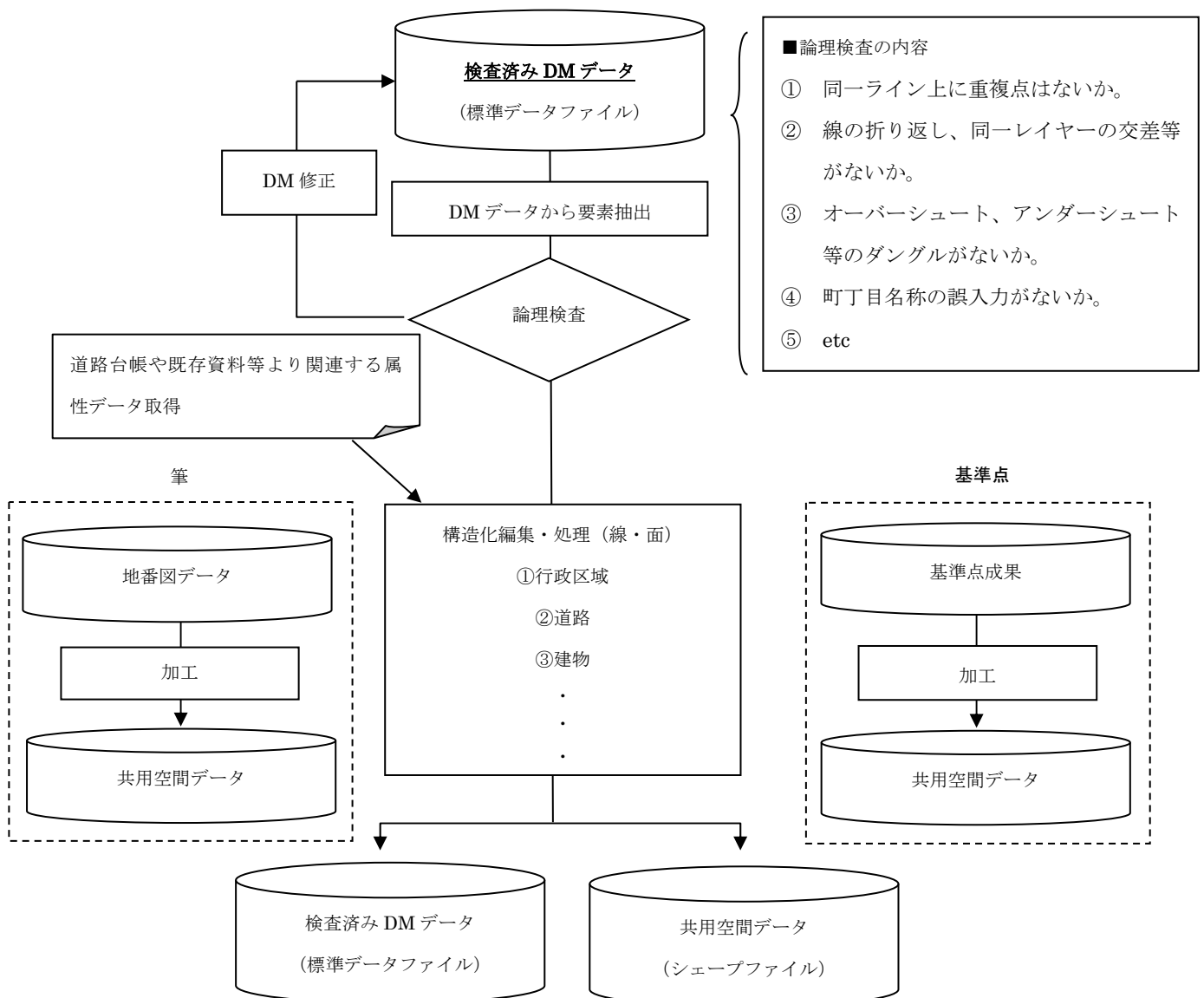
9.2 共用空間データ

共用空間データは、筆、基準点を除き、原則としてDMデータから必要な情報を抽出し、GISデータとして利活用可能な形式に加工し、定義に基づいた属性情報を付与して作成する。また、DMデータが更新された場合は、共用空間データも図形接合や属性に絡む部分を除き、その大部分がコンピュータ処理によって更新されるような仕組みを前提としている。

従って、共用空間データの品質は、DMデータの品質に大きく依存していると言え、予めDMデータの品質検査が十分にクリアされていることが求められる。

例えば、①面構造とする項目でダングル（オーバーシュート、アンダーシュート）が存在しないか、②座標値は抽出元のDMデータと一致している、などが挙げられる。

以上の考え方を基本に、以下に「共用空間データ作成フロー」の概略を示す。



9.2.1 共用空間データファイル一覧

N0	分類	名称	レイヤー名 (ShapeFile)	元 データ	整備範囲	属性取得項目
1	行政区域	行政区域（面）	Gyousei_Poly	2,500DM	市全域	・所在地コード ・大字町丁目名称 ・非表示フラグ
2		行政区域（線）	Gyousei_Line	2,500DM		・DM表現分類 ・非表示フラグ
3	筆	筆（面）	Hude_Poly	地番図	地番図区域	・所在地番 ・登記地目 ・登記地積 ・義務者氏名 ・義務者住所
4		地番（線）	Chiban_Line	地番図	地番図区域	・所在地番
5	基準点	基準点（点）	Kijyun_Pnt	監理課所管の 基準点データ	市全域	・種別、等級 ・電算番号 ・名称 ・X座標、Y座標、標高 ・最新の現況調査年月 ・標識の現況 ・所管
6	街区	街区（面）	Gaiku_Poly	道路骨格	住居表示 実施区域	・所在地コード、 ・大字町丁目名称
7	共用道路中心線	共用道路中心（線）	Road_Center	道路骨格	市全域	
8	道路	道路（面）	Road_Poly	道路骨格	市全域	・高速自動車国道・国道・ 主要地方道・県道・市道・ 農道・林道・その他の道路 の8分類 ・県道以上の路線名称 ・県道以上の路線番号
		道路（線）	Road_Line	道路骨格	市全域	・道路の8分類 ・間断区分
9	車歩道境界	歩道（面）	Hodo_Poly	道路骨格	市全域	・なし
10	建物	共用建物（面）	Tatemo_Poly	建物	市全域	・建物ID ・家屋マスタ項目（抜粋） ・所在地番文字列 ・種類コード ・構造コード ・異動年月 ・家屋更新 ・更新年月日 ・課税区分 ・眼鏡家屋 ・二重番号 ・家屋台帳
		基本図建物（面）	House_Poly	建物	市全域	・建物標高 ・建物高 ・DM取得分類

11	軌道	軌道（線）	Kido_Line	2,500 DM	市全域	・ 間断区分 ・ 区分（新幹線・JR 在来線・私鉄・その他） ・ 供用
12		軌道（線）	Kido_Line10000	10,000 DM	市全域	・ 鉄道名称 ・ 区分 ・ 地上地下区分 ・ 供用
13		駅舎（面）	Eki_Poly	2,500 DM	市全域	・ 駅名 ・ 地上地下コード ・ 供用
14	河川水涯線	河川水涯線（線）	Kasen_Line	2,500 DM	2500 区域	・ 間断区分
15		河川水涯線（面）	Kasen_Poly	2,500 DM	2500 区域	・ なし
16		河川水涯線（線）	Kasen_Line10000	10,000 DM	市全域	・ 間断区分
17		河川水涯線（面）	Kasen_Poly10000	10,000 DM	市全域	・ なし
18	湖池	湖池（面）	Kochi_Poly	2,500 DM	2500 区域	・ なし
19		湖池（面）	Kochi_Poly10000	10,000 DM	市全域	・ なし
20	標高	標高点（点）	Hyoko_Pnt	2,500 DM	2500 区域	・ 標高値
21		標高点（点）	Hyoko_Pnt10000	10,000 DM	市全域	・ 標高値
22		等高線（線）	Toko_Line	2,500 DM	2500 区域	・ DM表現分類 ・ 標高 ・ 間断区分
23		等高線（線）	Toko_Line10000	10,000 DM	市全域	・ DM表現分類 ・ 標高 ・ 間断区分
24	その他の 地形・地物	線地物（線）	DM_Line	2,500 DM	2500 区域	・ DM表現分類 ・ 間断区分 ・ 図形区分 ・ 標高値
25		点地物（点）	DM_Pnt	2,500 DM	2500 区域	・ DM表現分類 ・ 表示角度
26		注記（点）	Cyuki_Pnt	2,500 DM	2500 区域	・ DM表現分類 ・ テキスト ・ 文字表示方向 ・ 字の大きさ ・ 字の間隔 ・ 縦横
27		線地物（線）	DM_Line10000	10,000 DM	市全域	・ DM表現分類 ・ 間断区分 ・ 図形区分 ・ 標高値
28		点地物（点）	DM_Pnt10000	10,000 DM	市全域	・ DM表現分類 ・ 表示角度
29		注記（点）	Cyuki_Pnt10000	10,000 DM	市全域	・ DM表現分類 ・ テキスト ・ 文字表示方向 ・ 字の大きさ ・ 字の間隔 ・ 縦横

30	画像	空中写真	※画像	-	市全域	・ 平均地上解像度 10cm
		高解像度デジタルオルソ	※画像	空中写真	市全域	・ 地上解像度 10 c m
		中解像度デジタルオルソ	※画像	空中写真	市全域	・ 地上解像度 1m
		低解像度デジタルオルソ	※画像	空中写真	市全域	・ 地上解像度 10m
31	外部標定要素	外部標定要素	※テキストデータ	空中写真	市全域	・ 地図情報レベル 1000
32	カメラデータ	カメラデータ	※PDF 及びテキストデータ	-	使用カメラ	

9.2.2 属性項目

行政区域

名称	属性項目	項目名称	データ型	桁数	備考
行政区域（面）	所在地コード	所在地	テキスト	4	例：0101 例：4405
	町丁目・大字名称	名称	テキスト	20	例：青木島町 例：青木島一丁目
	非表示フラグ	非表示	数値	10	0：表示 1：非表示
行政区域（線）	表現分類コード	表現分類 CD	数値	10	1101：県界 1103：郡・市界 1104：町・村界 1106：大字・町丁目界
	表現分類 （DM表現分類）	表現分類	テキスト	20	県界 郡・市界 町・村界 大字・町丁目界
	非表示フラグ	非表示	数値	10	0：表示 1：非表示

筆

名称	属性項目	項目名称	データ型	桁数	備考
筆（面）	所在地コード	所在地	テキスト	4	例：0101 例：4405
	大字名	所在地名	テキスト	20	全角文字列 例：大字鶴賀
	地番	地番	テキスト	20	本番と枝番をハイフンでつな げた文字列 例：1-1, 道
	登記地目	登記地目	テキスト	10	全角文字列 例：宅地
	課税地目	課税地目	テキスト	10	全角文字列 例：宅地
	登記地積	登記地積	数値	10.2	
	義務者宛名番号	義務者番号	テキスト	11	コードのまま
	義務者氏名	義務者氏名	テキスト	100	全角文字列 先頭から 50 文字まで有効
	義務者住所	義務者住所	テキスト	150	住所と方書を全角スペースで つなげた全角文字列 先頭から 75 文字まで有効
	図上分離の有無	分離有無	テキスト	2	1：課税分割されている 2：課税分割されていない
地番（線）	所在地コード	所在地	テキスト	4	筆界（面）の同属性項目と同じ
	地番（兼図面表示用）	地番	テキスト	20	筆界（面）の同属性項目と同じ 図面表示用の地番としても用 いる

基準点

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
基準点（点）	点の種別	大分類	数値	10	1：公共基準点, 2：街区基準点 3：地籍図根点
	点の等級	小分類	数値	10	1:1 級基準点, 2:2 級基準点 ワシヨ (3:3 級基準点, 4:4 級 基準点) 5:街区三角点, 6:街区多角点, 7:地籍図根三角点, 8:地籍図根多角点
	点の電算番号	ID	数値	10	1～99999 基準点の固有番号
	点の名称	点名	テキスト	50	基準点の固有名称 (全角文字)
	点のX座標	X座標	数値	6.3	-99999.999～+99999.999 単位をmとしたⅧ系のX座標値
	点のY座標	Y座標	数値	6.3	-99999.999～+99999.999 単位をmとしたⅧ系のY座標値
	点の標高	標高	数値	6.3	0.000～+3000.000 単位をmとする。
	最新の現況調査年月	調査年月	テキスト	8	共用空間データ作成直前の調 査年月。未調査の場合は設置年 月。
	標識の現況	現況	数値	10	1：正常, 2：使用禁止 3：亡失
	所管	所管	テキスト	50	例：監理課

街区

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
街区（面）	所在地コード	所在地	テキスト	4	例：0101 例：4405
	町丁目・大字名称	大字町丁目	テキスト	50	例：青木島一丁目
	街区番号	街区番号	テキスト	4	半角数字

共用道路中心線

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
共用道路中心 線（線）	なし	—	—	—	

道路

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
道路（面） 1/2	道路種別コード	種別 CD	数値	10	・ 2111：高速自動車国道 ・ 2121：国道 ・ 2131：主要地方道 ・ 2141：県道 ・ 2151：市道 ・ 2152：農道 ・ 2153：林道 ・ 2101：その他の道路

道路（面） 2 / 2	道路種別	道路種別	テキスト	20	・ 高速自動車国道 ・ 国道 ・ 主要地方道 ・ 県道 ・ 市道 ・ 農道 ・ 林道 ・ その他の道路
	路線番号	路線番号	テキスト	10	県道以上の路線番号 例： 372
	路線名称	路線名称	テキスト	50	県道以上の路線名称 例： 県道三才大豆島中御所線
道路（線）	道路種別コード	種別 CD	数値	10	・ 2111：高速自動車国道 ・ 2121：国道 ・ 2131：主要地方道 ・ 2141：県道 ・ 2151：市道 ・ 2152：農道 ・ 2153：林道 ・ 2101：その他の道路
	間断区分（DM間断区分）	間断区分	数値	10	0：間断しない 1：間断する

歩車道境界

名称	属性項目	項目名称	データ型	桁数	備考
歩道（面）	なし	—	—	—	ファイル構造上、空の「ID」フィールドを追加

建物

名称	属性項目	項目名称	データ型	桁数	備考
共用建物（面） 1 / 2	建物 I D	建物 I D	数値	10	建物の形状を一意に識別する一連番号
	図上の所在地番文字列	地番文字列	テキスト	30	「所在地」＋「/」＋「本番」＋「-」＋「枝番」＋「-」＋「合併」＋「-」＋「棟番（前0なし）」 合併あり：例：0101/6-1-1-1 合併なし：例：4401/7579-1-2
	種類コード	種類コード	数値	10	市職員のみが任意に入力 コードは家屋マスタの種類コードと同じ
	構造コード	構造コード	数値	10	市職員のみが任意に入力 1) 木造（家屋マスタの主体構造コード⇒01～04） 2) 非木造（家屋マスタの主体構造コード⇒11～37） 3) 複合・その他
	異動年月	異動年月	テキスト	6	市職員が任意に入力 6文字固定入力（例：H24.08）

共用建物（面） 2 / 2	調査情報	調査情報	テキスト	200	資産税課のみ利用できる家屋調査の付記情報 メモ欄として利用可能
	家屋更新フラグ	家屋更新	数値	10	0：未更新、1：新築 2：滅失、3：その他 9：滅失（受託業者のみ入力）
	更新年月日	更新年月日	日付		図形または内部属性の更新年月日、賦課期日（1/1）をセット
	課税区分フラグ	課税区分	数値	4	1：課税されている 2：課税されていない又は不明
	眼鏡家屋フラグ	眼鏡家屋	数値	10	1：眼鏡家屋 2：眼鏡家屋でない （連続しない複数領域が同じ評価用家屋であり登記上1個の家屋として扱われるもの）
	二重番号フラグ	二重番号	数値	10	1：二重家屋 2：二重家屋でない （連続しない複数領域が同じ評価用家屋をもち眼鏡家屋とは明らかに異なるもの）
	家屋台帳照合フラグ	家屋台帳	数値	10	1：家屋台帳と一致 2：家屋台帳と一致しない
	図化フラグ	図化フラグ	数値	10	図化により更新した年度 例 2009 年：「09」
基本図建物 （面）	建物標高	建物標高	数値	4.1	例：10.5（10.5mの場合）
	建物高	建物高	数値	4.1	建物標高から DTM 等の地面の高さを引いた建物の高さを入れる。 市外等で正確な地面の高さが取得できないものは-999を入れる。
	表現分類コード （DM取得分類コード）	表現分類 CD	数値	4	3001：普通建物 3002：堅牢建物 3003：普通無壁 3004：堅牢無壁
	表現分類 （DM取得分類）	表現分類	テキスト	20	普通建物 堅ろう建物 普通無壁舎 堅ろう無壁舎

軌道

名称	属性項目	項目名称	データ型	桁数	備考
軌道（線） 1/2, 500	表現分類コード （DM表現分類コード）	表現分類 CD	数値	4	DM表現分類に従う
	鉄道区分コード	鉄道区分 CD	数値	1	1：新幹線、2：JR 在来線、 3：私鉄、4：その他
	鉄道区分	鉄道区分	テキスト	50	新幹線・JR 在来線・私鉄・その他
	間断区分（DM間断区分）	間断区分	数値	1	0：間断しない、1：間断する
	供用	供用	数値	2	0：供用、1：廃止、2：未供用
軌道（線） 1/10, 000	鉄道名称	鉄道名称	テキスト	50	例：JR 信越本線
	鉄道区分コード	鉄道区分 CD	数値	1	1：新幹線、2：JR 在来線、 3：私鉄、4：その他
	鉄道区分	鉄道区分	テキスト	50	新幹線・JR 在来線・私鉄・その他
	地上地下コード	地上地下 CD	数値	1	1：地上又は高架部 2：トンネル又は地下部
	供用	供用	数値	2	0：供用、1：廃止、2：未供用
駅舎（面）	駅名	駅名	テキスト	50	
	地上地下コード	地上地下 CD	数値	1	1：地上又は高架部 2：トンネル又は地下部
	供用	供用	数値	2	0：供用、1：廃止、2：未供用

河川水涯線

名称	属性項目	項目名称	データ型	桁数	備考
河川水涯線 （面） 1/2, 500	なし	—	—	—	ファイル構造上、空の「ID」フィールドを追加
河川水涯線 （線） 1/2, 500	間断区分（DM間断区分）	間断区分	数値	10	0：間断しない 1：間断する
河川水涯線 （面） 1/10, 000	なし	—	—	—	ファイル構造上、空の「ID」フィールドを追加
河川水涯線 （線） 1/10, 000	間断区分（DM間断区分）	間断区分	数値	10	0：間断しない 1：間断する

湖池

名称	属性項目	項目名称	データ型	桁数	備考
湖池（面） 1/2, 500	なし	—	—	—	ファイル構造上、空の「ID」フィールドを追加
湖池（面） 1/10, 000	なし	—	—	—	ファイル構造上、空の「ID」フィールドを追加

標高

名称	属性項目	項目名称	データ型	桁数	備考
標高点（点） 1/2, 500	標高値	標高値	数値	6. 2	単位：m
標高点（点） 1/10, 000	標高値	標高値	数値	6. 2	単位：m
等高線（線） 1/2, 500	DM表現分類コード	表現分類 CD	数値	10	7101：等高線（計曲線） 7102：等高線（主曲線）
	DM表現分類	表現分類	テキスト	8	計曲線 主曲線
	標高値	標高値	数値	10	
	間断区分（DM間断区分）	間断区分	数値	10	0：間断しない 1：間断する
等高線（線） 1/10, 000	DM表現分類コード	表現分類 CD	数値	10	7101：等高線（計曲線） 7102：等高線（主曲線）
	DM表現分類	表現分類	テキスト	8	計曲線 主曲線
	標高値	標高値	数値	10	
	間断区分（DM間断区分）	間断区分	数値	10	0：間断しない 1：間断する

その他の地形・地物

名称	属性項目	項目名称	データ型	桁数	備考
線地物（線） 1/2, 500	表現分類コード（DM表現分類）	表現分類 CD	数値	10	DMの表現分類に従う
	間断区分（DM間断区分）	間断区分	数値	10	0：間断しない 1：間断する
	図形区分（DM図形区分）	図形区分	数値	10	DMの図形区分に従う
	標高値	標高値	数値	10	単位：m
点地物（点） 1/2, 500	表現分類コード（DM表現分類）	表現分類 CD	数値	10	DMの表現分類に従う
	表示角度	角度	数値	4. 2	単位は度 -360° ～360°
注記（点） 1/2, 500	表現分類コード（DM表現分類）	表現分類 CD	数値	10	DMの表現分類に従う
	文字の表示方向	角度	数値	4. 2	単位は度 -360° ～360°
	縦書、横書の区分	縦横	数値	10	0：横 1：縦
	字の大きさ	字大	数値	10	単位は 1/10mm
	字の間隔	字隔	数値	10	単位は 1/10mm
	注記のテキスト	テキスト	テキスト	100	DMの注記文字 全角・半角混在

線地物（線） 1/10,000	表現分類コード（DM表現分類）	表現分類 CD	数値	10	DMの表現分類に従う
	間断区分（DM間断区分）	間断区分	数値	10	0：間断しない 1：間断する
	図形区分（DM図形区分）	図形区分	数値	10	DMの図形区分に従う
	標高値	標高値	数値	10	単位：m
点地物（点） 1/10,000	表現分類コード（DM表現分類）	表現分類 CD	数値	10	DMの表現分類に従う
	表示角度	角度	数値	4.2	単位は度 -360° ～360°
注記（点） 1/10,000	表現分類コード（DM表現分類）	表現分類 CD	数値	10	DMの表現分類に従う
	文字の表示方向	角度	数値	4.2	単位は度 -360° ～360°
	縦書、横書の区分	縦横	数値	10	0：横 1：縦
	字の大きさ	字大	数値	10	単位は 1/10mm
	字の間隔	字隔	数値	10	単位は 1/10mm
	注記のテキスト	テキスト	テキスト	100	DMの注記文字 全角・半角混在

画像

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
オルソ画像	オルソ画像	画像	画像	0	
	オルソ画像の画素配列	ピクセル	数値	0	ピクセル数整数
数値写真	数値写真の画像	画像	画像	0	
	数値写真の画素配列	ピクセル	数値	0	ピクセル数整数
外部標定要素	撮影時の主点位置座標	座標	数値	2	座標は m 単位小数点以下 2 桁
	撮影時のカメラの傾き	角度	数値	4	角度単位は度（degree） -360° ～360° 小数点以下 4 桁
カメラデータ	焦点距離	焦点距離、	数値	3	mm 単位小数点以下 3 桁まで。
	ピクセルサイズ	ピクセルサイズ	数値	0	取得画像の画素個数。整数
	レンズのゆがみ	レンズのゆがみ	数値	1	μm 単位、小数点以下 1 桁まで。

9.2.3 データ定義

共用空間データ 行政区域

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
Gyousei_Poly. Shp	行政区域（面）	ポリゴン ライン			
Gyousei_Line. Shp	行政区域（線）				

○行政区域（面）と行政区域（線）

- 行政区域（面）は、固定資産要素の固定資産筆（面）から作成する。なお、鬼無里地区の市境はDM（平成18年度作成）の行政界（1103：郡・市界、1104：町・村界）から作成する。
- 行政区域（線）は、固定資産要素の固定資産筆（線）から大字界を抽出して作成する。なお、行政区域（面）とは位置の整合を図る。
- 境界線を分類するため行政区域（線）には各境界の表現分類コード及びそのテキストを属性として付与する。

1101：県界

1103：郡・市界

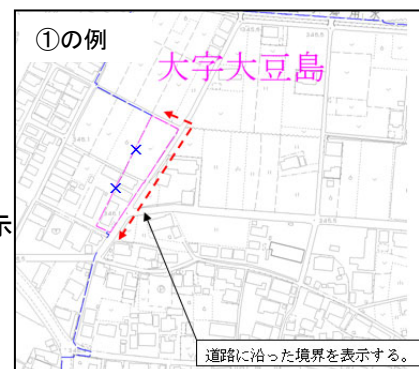
1104：町・村界

1106：大字・町丁目界

また、以下の基本仕様に基づき非表示フラグを付与する。（0：表示 1：非表示（陰線））

- ・大字（飛地も含む）のうち、面積が10,000㎡以上のものは表示する。
- ・各大字のうち面積が最大のものは、面積が10,000㎡以下のものも表示する。
- ・面積が10,000㎡未満の飛地で島状のものは表示しない。
※差出南二丁目の飛地に例外がある。
- ・面積が10,000㎡未満の飛地で他の境界に接しているものは、以下のルールに従って表示する線を決定、またはそのための協議を行い定める。

- ①地物の境界、中心に沿っている境界線を表示
- ②河川に沿った境界を表示。
- ③地物や地物間の関係を分断しない境界線を表示
- ④街区や集落を分断しない境界を表示
- ⑤地名のつながりを考慮し表示する境界を選択
- ⑥接合点の角度が鈍角な（自然につながる）境界線を表示
- ⑦長さが短い境界線を表示



- 行政区域（面）の面属性は、以下の項目を付与する。

- ・所在地コード
- ・大字・町丁目名称（○丁目の○は漢字）

また、行政区域（線）に非表示フラグが付与されている飛地について、行政区域（面）にも非表示コードを付与する。

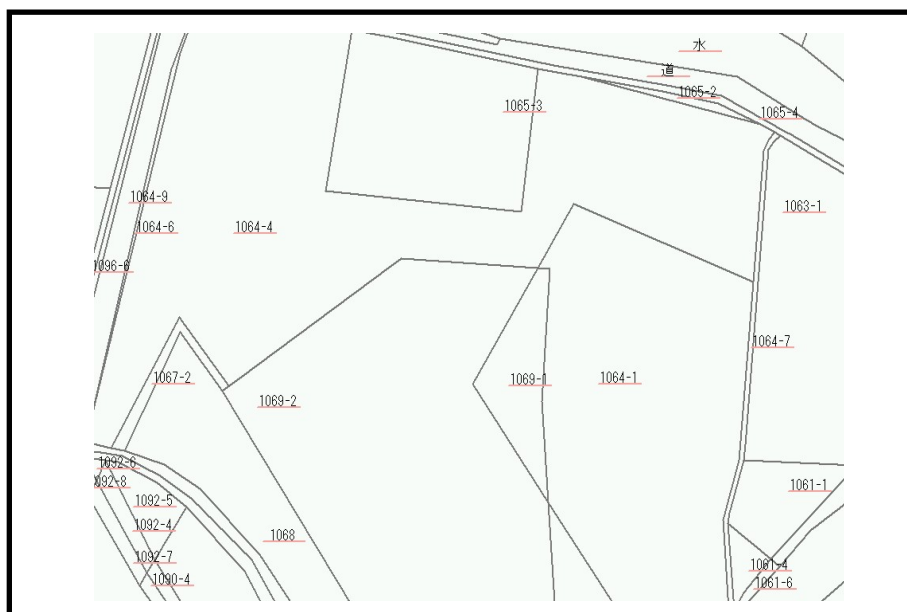
- ・非表示コード（0：表示、1：非表示（陰線））

共用空間データ 筆

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
hude_Poly. Shp	筆 (面)	ポリゴン ライン			
Chiban_Line. Shp	地番 (線)				

○筆 (面) と筆界 (線)

1. 筆 (面) は、固定資産要素の固定資産境界 (線) の線種コード (110120 : 課税分割線) を除き、データ処理 (ポリゴン化) を行い作成する。
2. 地番 (線) は、固定資産要素の固定資産地番 (線) の課税分割フラグ (1 : 課税分割地番) を除き、作成する。
3. 属性は、所在地コード、地番、土地課税台帳の指定項目とする。
4. 地番 (線) の属性は、所在地コードと地番とする。



共用空間データ 基準点

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
Ki jyun_Pnt. Shp	基準点（点）	ポイント			
○基準点（点）					
1. 監理課所管の基準点データから作成する。					
2. 属性項目は、点の種別、等級、電算番号、名称、X 座標、Y 座標、標高、最新の現況調査年月、標識の現況、所管とする。					
3. 基準点（点）は以下の 3 つの種別から成る。					
「1：公共基準点」					
長野市公共測量作業規程に準拠して設置された公共基準点データである。1 級基準点，2 級基準点（オプション：3 級基準点，4 級基準点）を対象とする。					
「2：街区基準点」					
街区基準点測量作業規程に準拠して設置された街区基準点データである。街区三角点，街区多角点を対象とする。					
「3：地籍図根点」					
地籍調査作業規程に準拠して設置された地籍図根点データである。地籍図根三角点，地籍図根多角点を対象とする。					

共用空間データ 街区

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
Gaiku_Poly. Shp	街区（面）	ポリゴン			

- 街区（面）
1. 住居表示実施区域内を作成対象とし、街区界線は住居表示案内図と住居表示台帳図をもとに作成する。
 2. 道路や水路が境界になっている箇所は1/2,500DMの取得データ（真幅道路・水路）の概ね中心を街区界として街区の面を作成する。
 3. 属性は大字・町丁目と住居表示番号とする。住居表示番号は住居表示台帳図を基に入力する。
 4. 街区界と町丁目界を兼ねる界線についても、住居表示案内図及び住居表示台帳図を基に入力する。



共用空間データ 共用道路中心線

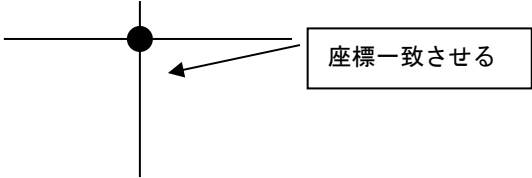
ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
Road_Center. Shp	共用道路中心線（線）	ライン			

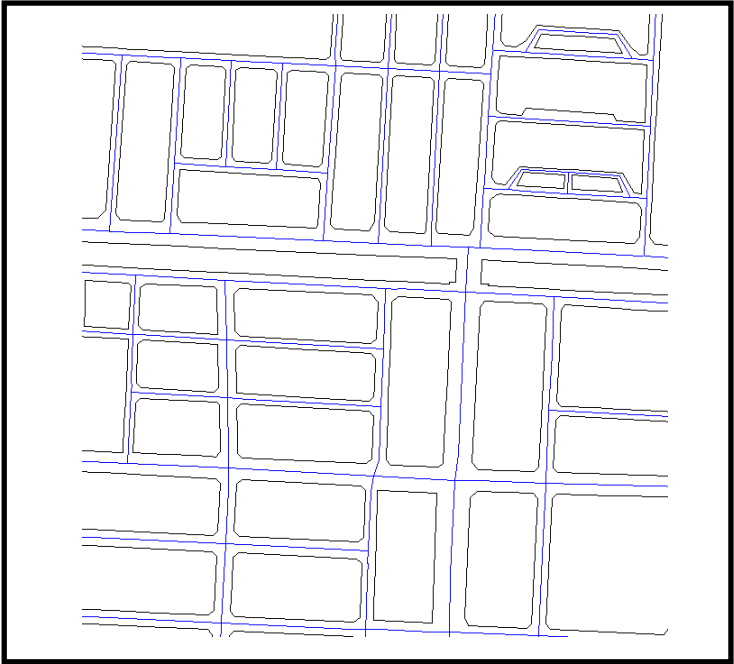
○共用道路中心線（線）

1. 共用道路中心線は 1/2, 500DM の道路縁の中心位置に交差点で区切られた線情報を作成する

2. 中心線の方角については問わない。

3. 交差点部ではラインを区切り、座標を一致させる。



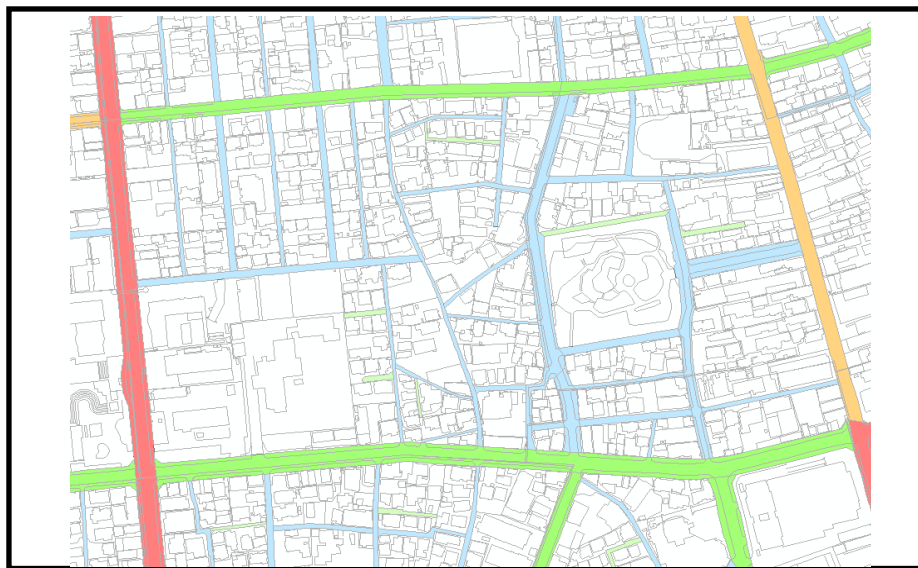


共用空間データ 道路

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
Road_Poly. Shp	道路（面）	ポリゴン ポリライン			
Road_Line. Shp	道路（線）				

○道路（面）、道路（線）

- 1/2, 500DM の取得データを抽出して作成する
- 道路面を構成する線は以下の DM 取得要素を用いて面構成を行う。
 - 2101：その他の道路
 - 2111：高速自動車国道
 - 2121：国道
 - 2131：主要地方道
 - 2141：県道
 - 2151：市道
 - 2152：農道
 - 2153：林道
- 道路（面）の面属性は道路分類と高速、国道、主要道、県道の路線番号、路線名称とする。属性が異なる箇所では面を区切るものとする。路線番号、名称は「**長野建設事務所管内図**」から入力する。
- 立体交差部では上下に関係なく、高速→国道→主要道→県道→市道→農道→林道→その他道路の優先順位で種別を付与する。
- 道路（線）は、道路分類と DM 間断区分を属性項目とする。

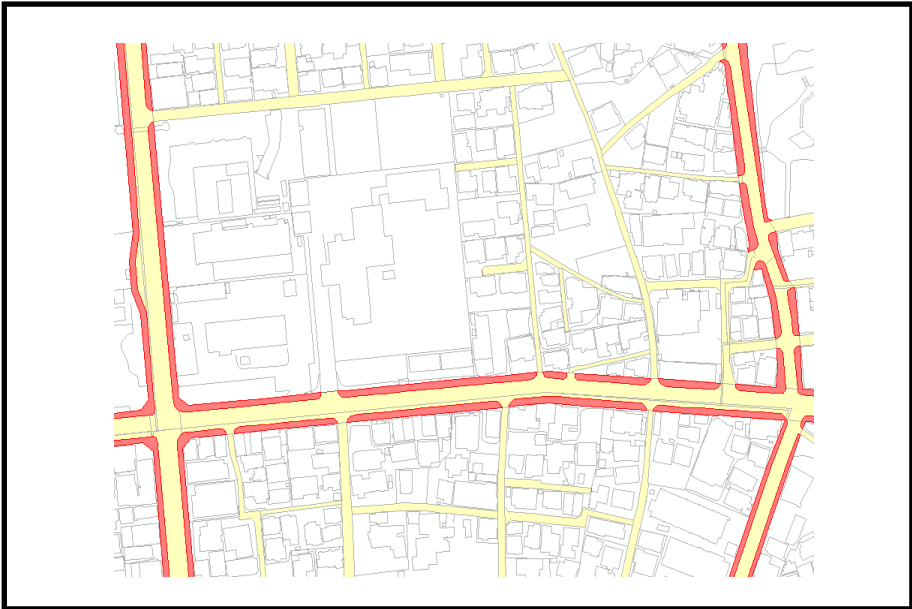
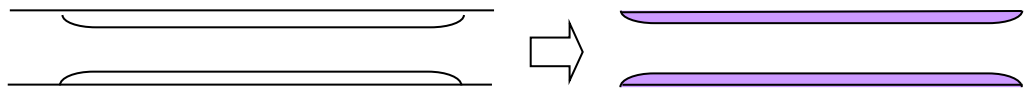


共用空間データ 車歩道境界

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
Hodo_Poly. Shp	歩道（面）	ポリゴン			

○歩道（面）と歩道（線）

1. 歩道（面）は道路縁と 2213：歩道の DM 取得要素を用いて歩道部のみの面構成とする。



共用空間データ 共用建物

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
Tatemo_Poly. Shp	共用建物（面）	ポリゴン			

○共用建物（面）

2. 1/2,500DM の取得データと固定資産評価基準で家屋として認定した建物の領域データが混在するものを基本単位とする。

3. 建物を一意に識別できる I D を付番する。

最上位（億の位）でデータの諸元を区分（＝諸元コード）する。

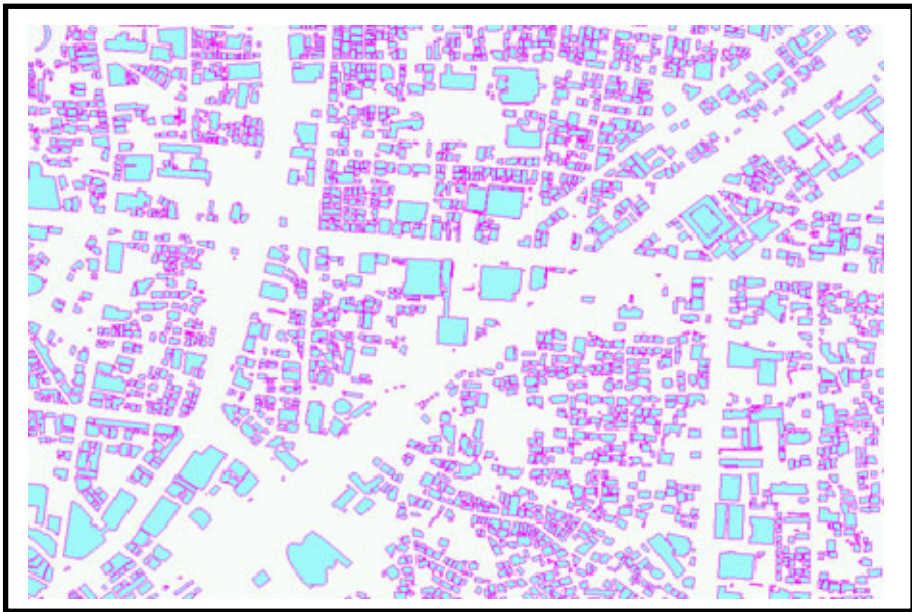
0：欠番、1：共用空間建物として当初から登録された建物【1/1,000 図化精度】2：建築確認審査済み建物として登録された建物、3：共用空間建物に資産税課が追加登録した建物、6：家屋異動判読等、業務委託で追加登録した建物）、9：試験的に登録された実在しない建物

中位（千万の位～十の位）は当該諸元の中での通し番号（諸元あたり999万棟まで）とする。

最下位（一の位）は「諸元と通し番号」を整数値としたモジュラス11計算式によるチェックデジットとする。

4. 家屋台帳データとのKEYになる情報は、家屋所在番号とする。

5. 更新事由を建物更新フラグとし、滅失した建物についてもデータを残す形とする。



共用空間データ 基本図建物

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
House_Poly. Shp	基本図建物（面）	ポリゴン			

○建物（面）

1. 建物（面）は 1/2, 500DM の取得データを抽出して作成する。

2. 建物（面）を構成する線は以下の DM 取得要素を用いて面構成を行う。

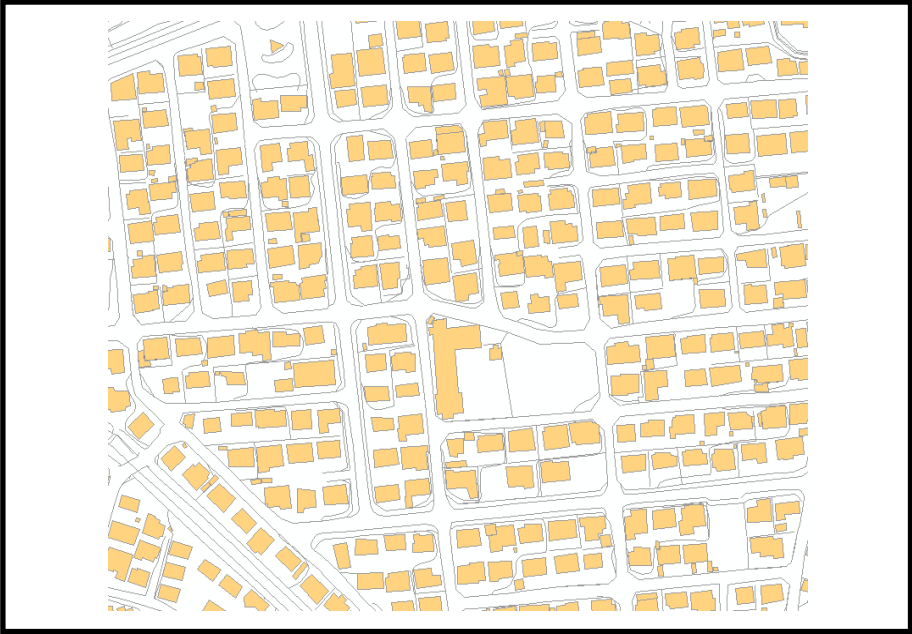
3001：普通建物

3002：堅牢建物

3003：普通無壁

3004：堅牢無壁

3. 建物（面）の面属性は、DM 表現分類及び図化で取得した建物標高、また、建物標高から DTM 等で取得した地面の高さを引いた建物の高さを入れる。市外等で正確な地面の高さが取得できないものは-999を入れる。



共用空間データ 軌道

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
Kido_Line. Shp	軌道（線） 1/2, 500	ライン ライン ポリゴン			
Kido_Line10000. Shp	軌道（線） 1/10, 000				
Eki_Poly. Shp	駅（面）				

○鉄道（線）

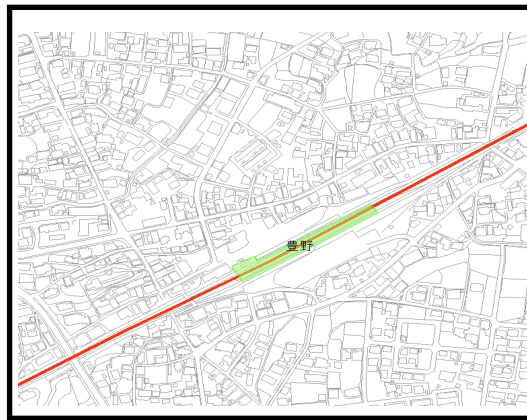
1. 軌道（線） 1/2, 500 は 1/2, 500DM から鉄道の要素を抽出して作成する。
2. 軌道（線） 1/10, 000 は DM 取得データをもとに路線ごとに路線中央に 1 本のラインで新たに作成する。
3. 軌道（線） 1/2, 500 の属性項目は以下のものとする。
 - ・ 鉄道区分コード（1：新幹線、2：JR 在来線、3：私鉄、4：その他）
 - ・ DM 間断区分
 - ・ 供用（0：供用、1：廃止、2：未供用）
4. 軌道（線） 1/10, 000 の属性項目は以下のものとする。
 - ・ 鉄道区分コード（1：新幹線、2：JR 在来線、3：私鉄、4：その他）
 - ・ 地上地下コード（1：地上又は高架部、2：トンネル又は地下部）
 - ・ 路線名称（例：JR 信越本線）
 - ・ 供用（0：供用、1：廃止、2：未供用）

○駅（面）

1. 駅は小縮尺にしたときに見栄えがするようにデフォルメした外形を作成する。
2. 駅の属性として駅名称を持つ。
3. 地下の駅についても作成する。
4. 供用（0：供用、1：廃止、2：未供用）

1/2,500

1/10,000

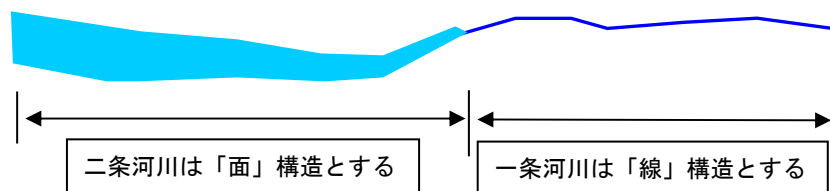


共用空間データ 河川・水涯線

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
Kasen_Line. Shp	河川水涯線（線） 1/2, 500	ライン ポリゴン ライン ポリゴン			
Kasen_Poly. Shp	河川水涯線（面） 1/2, 500				
Kasen_Line10000. Shp	河川水涯線（線） 1/10, 000				
Kasen_Poly10000. Shp	河川水涯線（面） 1/10, 000				

○河川水涯線（面）、河川水涯線（線）

1. 河川水涯線（線）はDM取得データの水涯線 5101 のうち一条河川を抽出し作成する。
2. 河川水涯線（面）は面構造とするため、DM取得データの水涯線 5101 のうち二条河川を対象としてポリゴン化する。
3. 1/2, 500 と 1/10, 000 の2種類作成する。
4. 河川水涯線（線）の属性項目はDM間断区分とする。



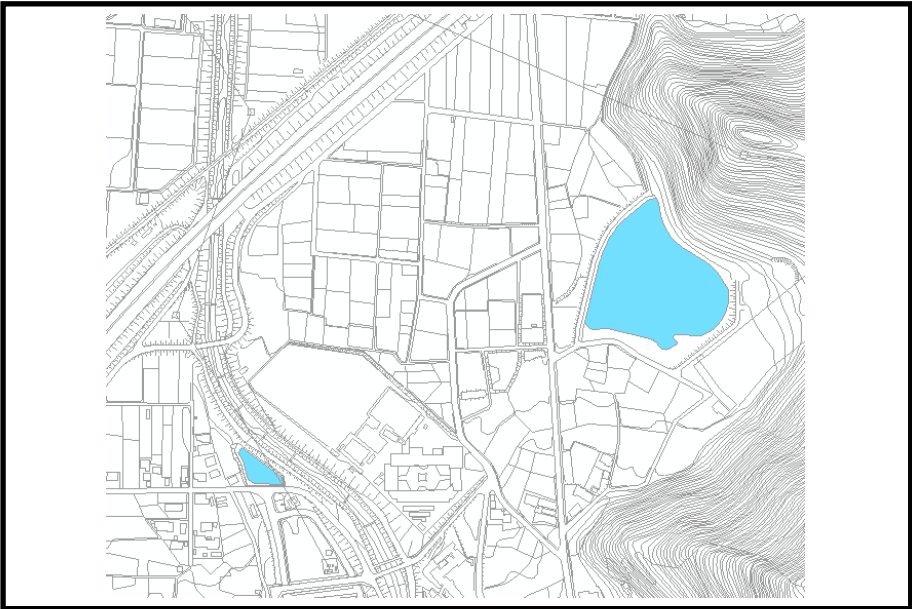
共用空間データ 湖池

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
Kochi_Poly. Shp	湖池（面） 1/2, 500	ポリゴン ポリゴン			
Kochi_Poly10000. Shp	湖池（面） 1/10, 000				

○湖池（面）

1. 湖池（面）は水涯線 5101 の湖池部分を抽出しポリゴン化する。

2. 1/2, 500 と 1/10, 000 の 2 種類作成する。

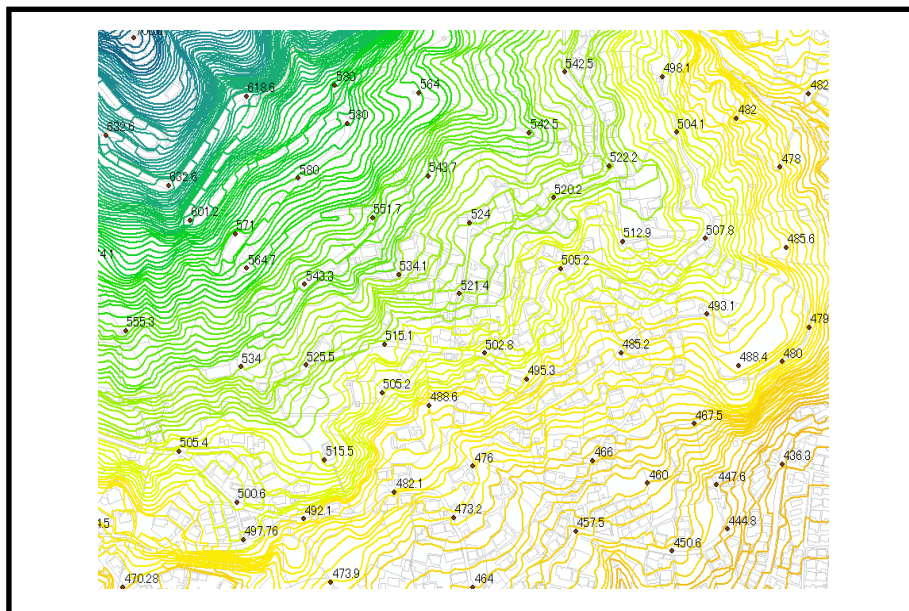


共用空間データ 標高

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
Hyoko_Pnt. Shp	標高（点）1/2500	ポイント ポイント ライン ライン			
Hyoko_Pnt10000. Shp	標高（点）1/10000				
Toko_Line. Shp	等高線（線）1/2500				
Toko_Line10000. Shp	等高線（線）1/10000				

○標高（点）、等高線（線）

1. 標高（点）はDM要素から図化単点（7312）及び道路標高（7511）を抽出し作成する。
2. 等高線（線）は以下のDM取得要素を抽出し作成する。
 - 7101：等高線（計曲線）
 - 7102：等高線（主曲線）
3. 標高（点）の属性項目は標高値とする。等高線（線）は標高値の他、DM表現分類コードや間断区分も入れる。

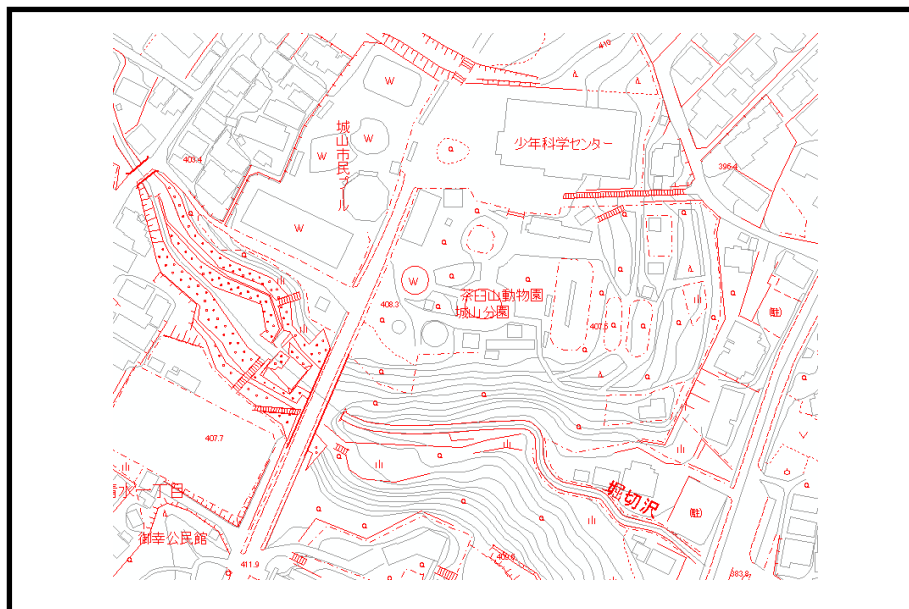


共用空間データ その他の地形・地物

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
DM_Line. Shp	線地物（線） 1/2, 500	ライン ポイント ポイント ライン ポイント ポイント			
DM_Pnt. Shp	点地物（点） 1/2, 500				
Cyuki_Pnt. Shp	注記（点） 1/2, 500				
DM_Line10000. Shp	線地物（線） 1/10, 000				
DM_Pnt10000. Shp	点地物（点） 1/10, 000				
Cyuki_Pnt10000. Shp	注記（点） 1/10, 000				

○線地物（線）、点地物（点）、注記（点）

1. 共用空間データ以外のDM地形要素を線、点、注記に分類し、DM データから抽出する。
2. 線地物（線）の属性項目は DM 表現分類、間断区分、図形区分、標高値とする。
3. 点地物（点）の属性項目は DM 表現分類と表示角度とする。表示角度の考え方はDMの製品仕様に順ずる。
4. 注記（点）の属性項目は DM 表現分類、文字表示方向、字大、字隔、縦横、テキストとする。起点位置および文字表示方向の考え方はDMの製品仕様に順ずる。
5. 1/2, 500 と 1/10, 000 の 2 種類作成する。

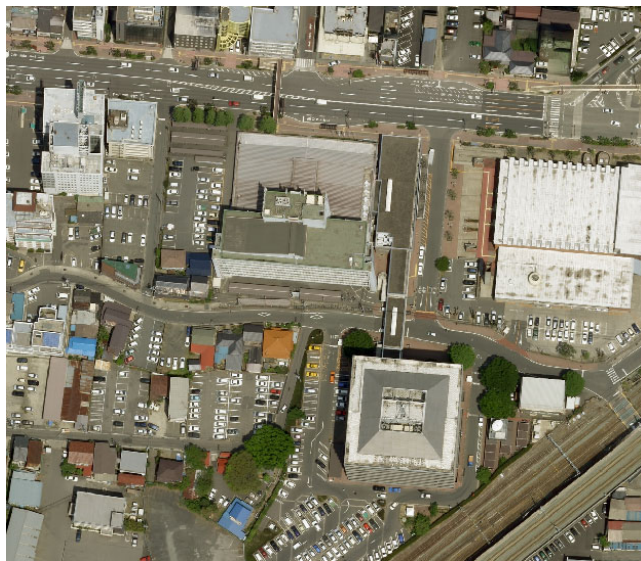


共用空間データ 画像

分類	名称	位置精度	-	取得基準	-
画像	高解像度デジタルオルソ	画像			
画像	中解像度デジタルオルソ				
画像	低解像度デジタルオルソ				

○画像

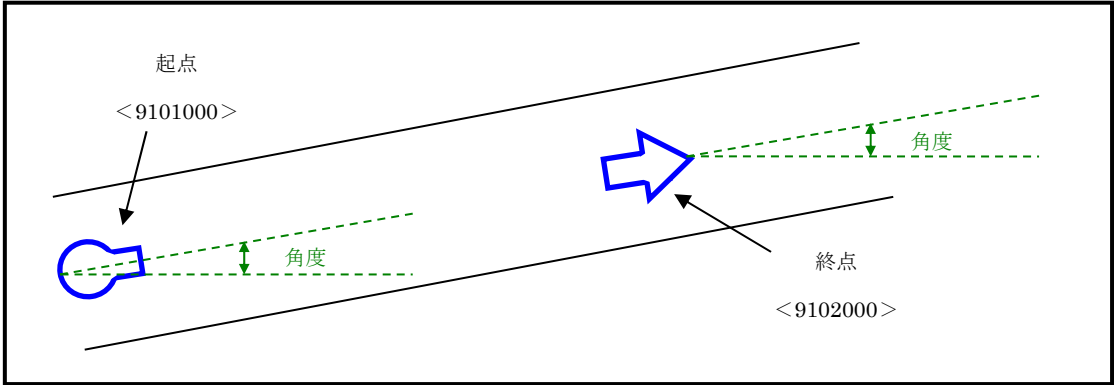
1. 高解像度デジタルオルソは地上解像度 10 c mで作成する。
2. 中解像度デジタルオルソは地上解像度 1mで作成する。
3. 低解像度デジタルオルソは地上解像度 10mで作成する。
4. デジタルオルソのファイル形式は、非圧縮の T I F F形式、24 ビットカラーとする。
5. 空中写真画像データと、D T Mを用いてデジタルオルソを作成する。
6. デジタルオルソ画像ファイルの切り出しは、1/2500 都市計画基本図の図郭を 4 分割した単位とし、位置情報ファイル（ワールドファイル）を作成する。



1) 起終点

図式分類コード	名 称 <図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
9 1 0 1 0 0 0	起点<記号>	◆起終点の位置の点情報と向きを取得 			
9 1 0 2 0 0 0	終点<記号>				

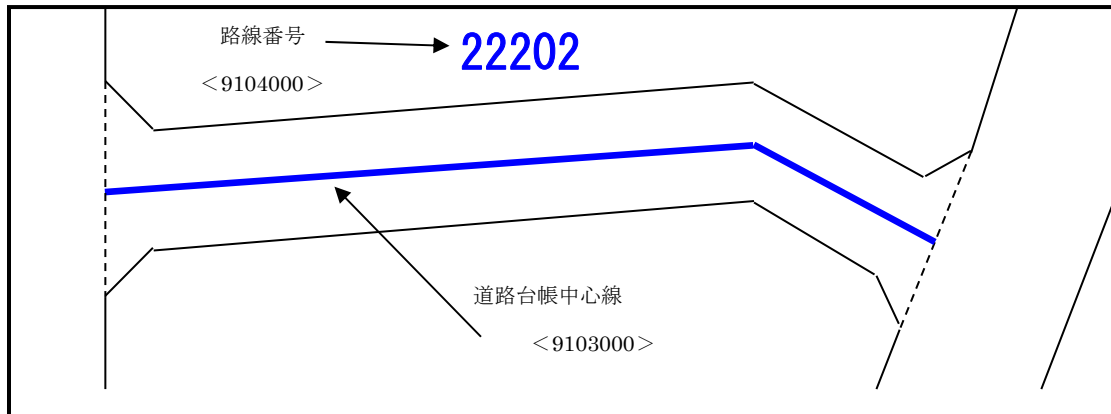
1. 道路台帳中心線と区間線の交点で取得する。
2. 長野市道及び農林道の起点・終点を取得する。
3. 補正資料及び現場調査結果から起点・終点の位置データを取得する。
4. 表示角度の情報を取得する。
5. 属性として路線番号を取得する。



2) 道路台帳中心線・路線番号

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
9103000	道路台帳中心線<線>				
9104000	路線番号(市道・農林道)<注記>				

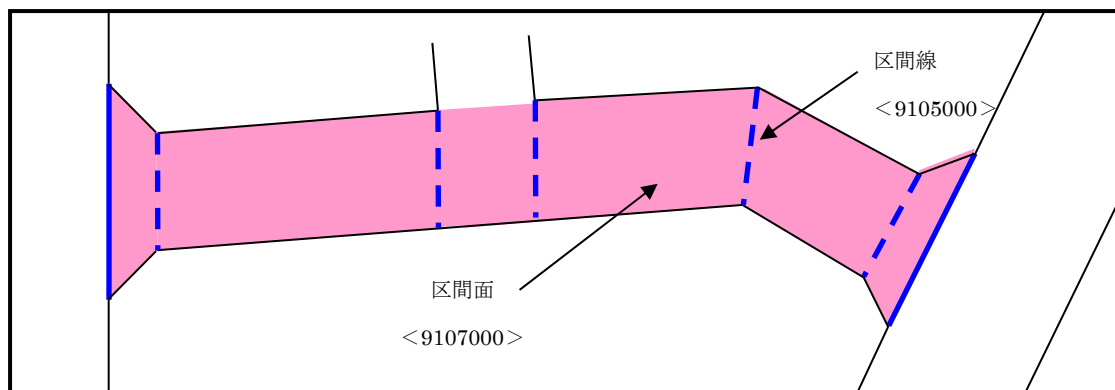
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の中心線・路線番号を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から中心線・路線番号データを取得する。
- 道路台帳中心線<9103000>の属性として路線番号及び路線名称を取得する。
- 路線番号<9104000>は路線番号を表示する。



3) 区間

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
9105000	区間線<線>				
9107000	区間面<面>				

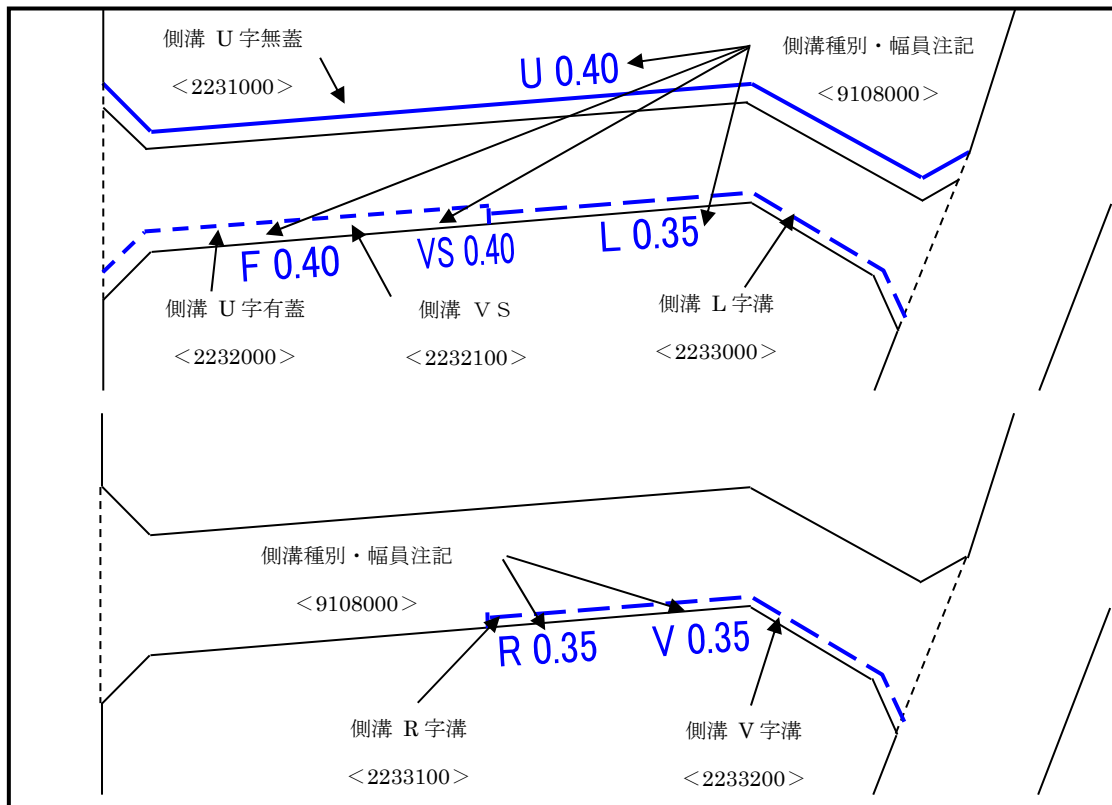
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の区間線・区間面を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から区間線・区間面データを取得する。
- 区間面は共用空間データの道路（線）及び道路台帳図と区間線データより作成する。
- 区間面<9107000>の属性として路線番号、堤防道路等の兼用工作物情報、および改良・未改良、自動車交通可能・不能情報を取得する。
- 重用区間には区間面を重ねて入力する。



4) 側溝

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
2 2 3 1 0 0 0	側溝 U字無蓋<線>				
2 2 3 2 0 0 0	側溝 U字有蓋<線>				
2 2 3 2 1 0 0	側溝 VS<線>				
2 2 3 3 0 0 0	側溝 L字溝<線>				
2 2 3 3 1 0 0	側溝 R型溝<線>				
2 2 3 3 2 0 0	側溝 V型溝<線>				
9 1 0 8 0 0 0	側溝種別・幅員注記<注記>				

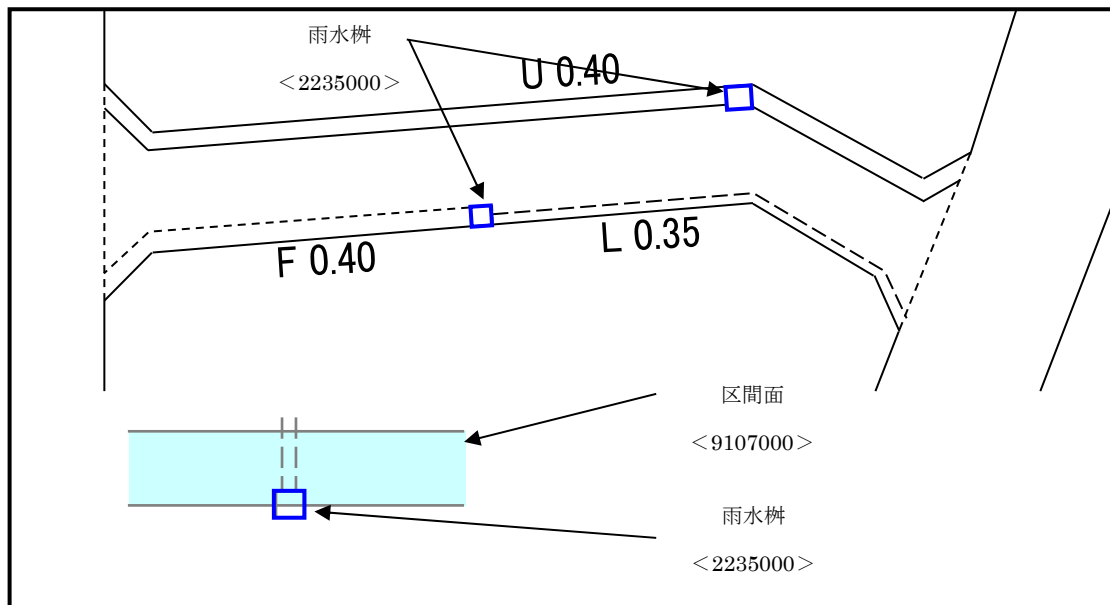
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の側溝（外寸）を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から側溝の種別・幅員データを取得する。
- 道路縁からのオフセット入力を行う。
- 道路縁と重ねて入力する必要はない
- 基本的には道路縁に接続させて取得する。
- 横断側溝については、明確な場合のみ取得し、注記は入力しない。
- 内寸 1m 未満を側溝とし、1m 以上は水路として扱う。



5) 雨水枡

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
2 2 3 5 0 0 0	雨水枡<線>				

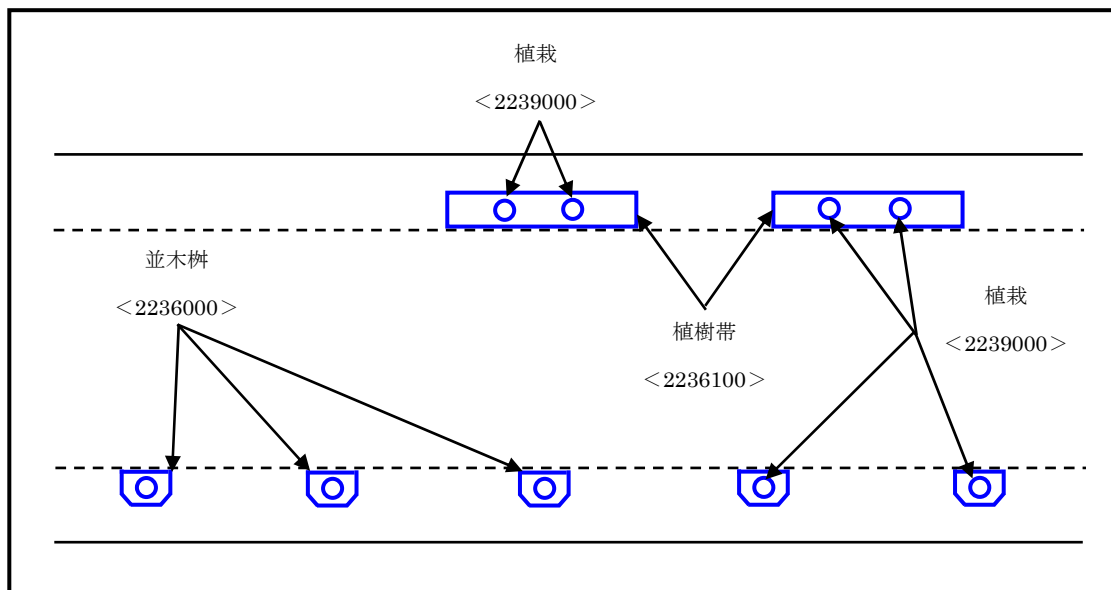
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の雨水枡を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から雨水枡位置データを取得する。
- 原則として閉じたラインで入力する。
- 雨水枡は独立したものとして扱う。区間面を作成する際に雨水枡は考慮しない。



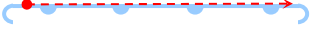
6) 並木樹・植栽

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
2 2 3 6 0 0 0	並木樹<線>				
2 2 3 6 1 0 0	植樹帯<線>				
2 2 3 9 0 0 0	植栽<記号>				

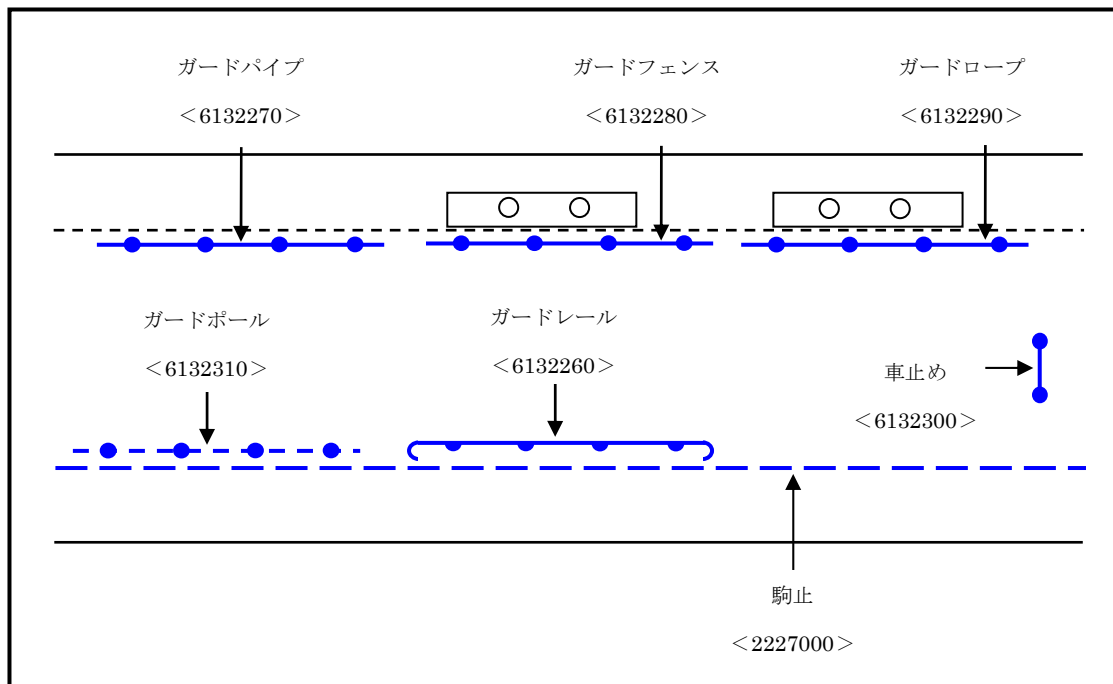
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の並木樹・植樹帯・植栽を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から並木樹・植樹帯・植栽の位置データを取得する。
- 原則として閉じたラインで入力する。



7) 安全施設

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
6 1 3 2 2 6 0	ガードレール<線>	◆ガードレール 車道を左に取得 			
6 1 3 2 2 7 0	ガードパイプ<線>				
6 1 3 2 2 8 0	ガードフェンス<線>				
6 1 3 2 2 9 0	ガードロープ<線>				
6 1 3 2 3 0 0	車止め<線>				
6 1 3 2 3 1 0	ガードポール<線>				
2 2 2 7 0 0 0	駒止<線>				

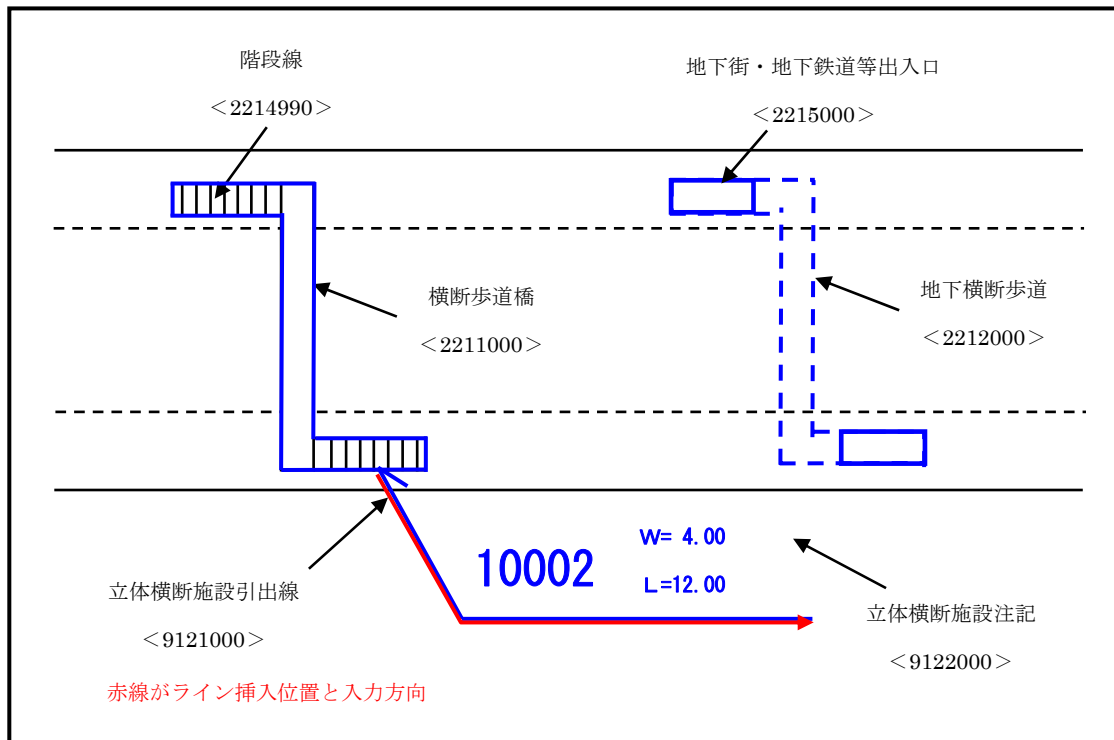
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の防護柵を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から防護柵位置データを取得する。
- ガードレール、ガードパイプなどの種別については、図式分類コードで区別する。
- 安全施設が歩車道境界となる場合は、歩道<線>を重ねて入力する。
- 駒止は車道側境界を入力する。
- ラバーポール、デリネータ、キングポスト等、強度が弱く、運転者の視認を目的とするポールは安全施設の対象外とする。
- 車止めは調書上の計上対象外とする。



8) 横断歩道橋・地下横断歩道

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
2 2 1 1 0 0 0	横断歩道橋<面>				
2 2 1 2 0 0 0	地下横断歩道<面>				
9 1 2 1 0 0 0	立体横断施設引出線<線>				
9 1 2 2 0 0 0	立体横断施設注記<注記>				
2 2 1 5 0 0 0	地下街・地下鉄道等出入口<線>				

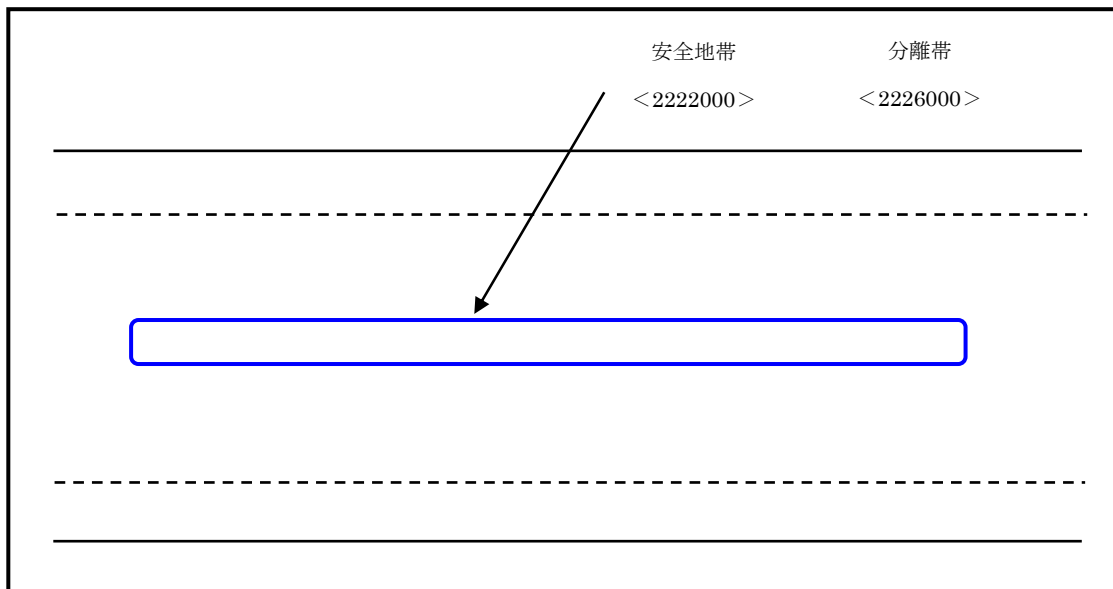
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の横断歩道橋・地下横断歩道を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から横断歩道橋・地下横断歩道位置データを取得する。
- 横断歩道橋の階段部分は、23) 石段の「階段線<2214990>」で表示する。
- 地下横断歩道の階段部は、「地下街・地下鉄道等出入口<2215000>」で表示する。
- 横断歩道橋面<2211000>・地下横断歩道面<2212000>の属性として施設番号及び施設名称を取得する。
- 横断歩道橋、もしくは地下横断歩道自体が市道（農道・林道）認定されている場合は、橋梁、もしくは道路交差（立体）を取得し、横断歩道橋・地下横断歩道の対象外とする。
- 原則的には、立体横断施設注記が水平に表示されるように角度を 0° とする。
- 引出線は、立体横断施設に近い方から 3 点で入力する。



9) 安全地帯

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
2 2 2 2 0 0 0	安全地帯<面>				
2 2 2 6 0 0 0	分離帯<面>				

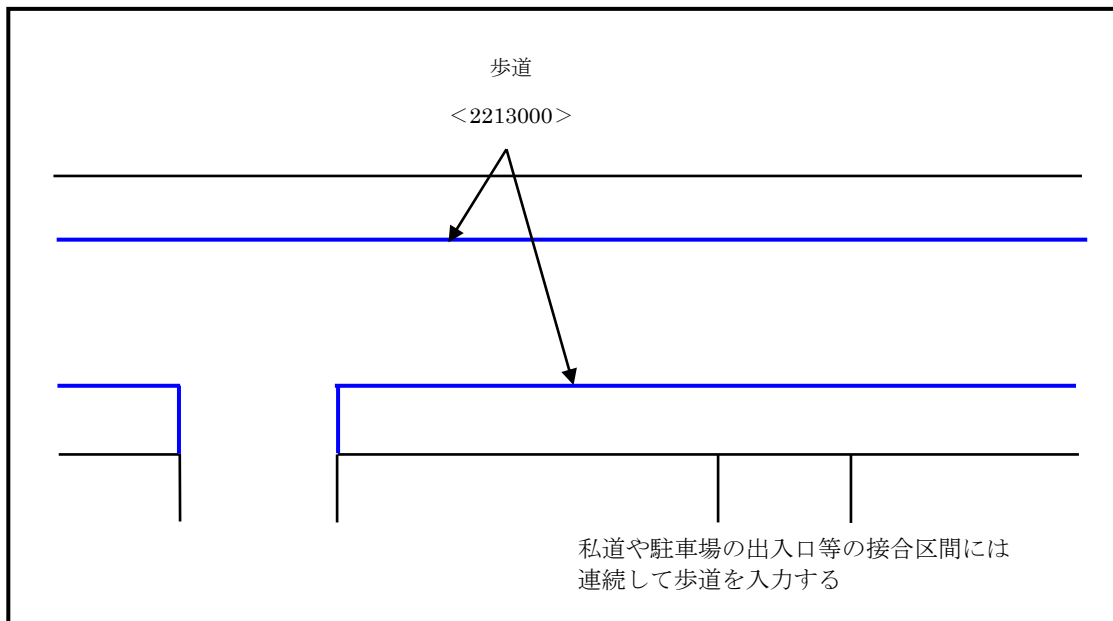
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の安全地帯を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から安全地帯位置データを取得する。
- 図形は、区間面に完全に含まれる。
- 植栽、駒止、側溝等がある箇所は併せて入力する。幅員も入力する。



10) 歩車道境界

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
2213000	歩道<線>				

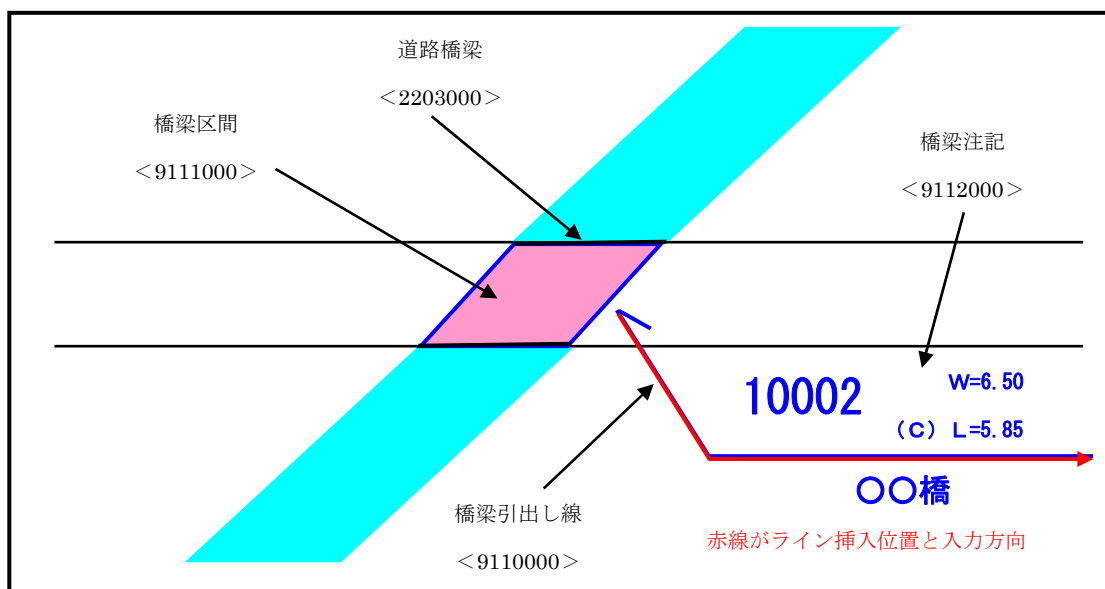
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の歩車道境界を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から歩車道境界データを取得する。
- 歩車道境界がマウンドアップ、安全施設、舗装種別境界、側溝以外で決められている場合は、境界区分属性に「その他」と入力する。
- 防護柵や駒止めが歩車道境界となる場合は、歩車道境界線を重ねて入力する。
- 幅員が 75cm 以上を歩道とする。また、マーキング等により歩行者道と自転車道を区分している場合は自転車歩行者道とする。
- 自転車道が構造物で分離されている場合は歩道＋自転車道とする。
ただし車道と分離していない自転車レーンは歩道に含めない。
- 以下の場合は歩道とみなして歩車道境界を入力する。
 - ①幅員が狭い市道・農道・林道と接合する区間は歩車道境界を切らずに入力する。ただし、互いが広い幅員の市道・農道・林道との接合区間は歩車道境界線を入力しない。
 - ②車庫出入口・私道の出入口は歩車道境界を切らずに入力する。



11) 橋梁

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
2203000	道路橋梁<線>				
9110000	橋梁引出し線<線>				
9111000	橋梁区間<面>				
9112000	橋梁注記<注記>				

- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の橋梁を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から橋梁位置データを取得する。
- 橋梁区間面の図形は区間面と同じにし、重ねて入力する。
- 橋梁区間面<9111000>の属性として橋梁番号及び橋梁名称を取得する。分割橋の場合は、橋梁番号及び分割番号を付与して各区間を管理する。
- 橋長 2m 以上の橋梁を入力する。外寸 2m 以上かつ土被り 1m 未満のカルバートも橋梁として扱う。
- 注記には以下の橋梁上部工（使用材料）コードを入力する。
鋼橋：(F)、RC・PC 橋：(C)、石橋：(S)、木橋：(W)、混合橋：(CF)
- 原則的には、橋梁注記が水平に表示されるように角度を 0° とする。
- 引き出し線は、橋梁区間に近い方から 3 点で入力する。
- 橋梁に設置される落下防止のための柵を高欄として道路橋梁線で入力する。
- 道路面より一段高くなっている場合を高欄とし、高さが同じ場合は安全施設として扱う。
- 高欄は、閉じたラインとして真形で入力する。

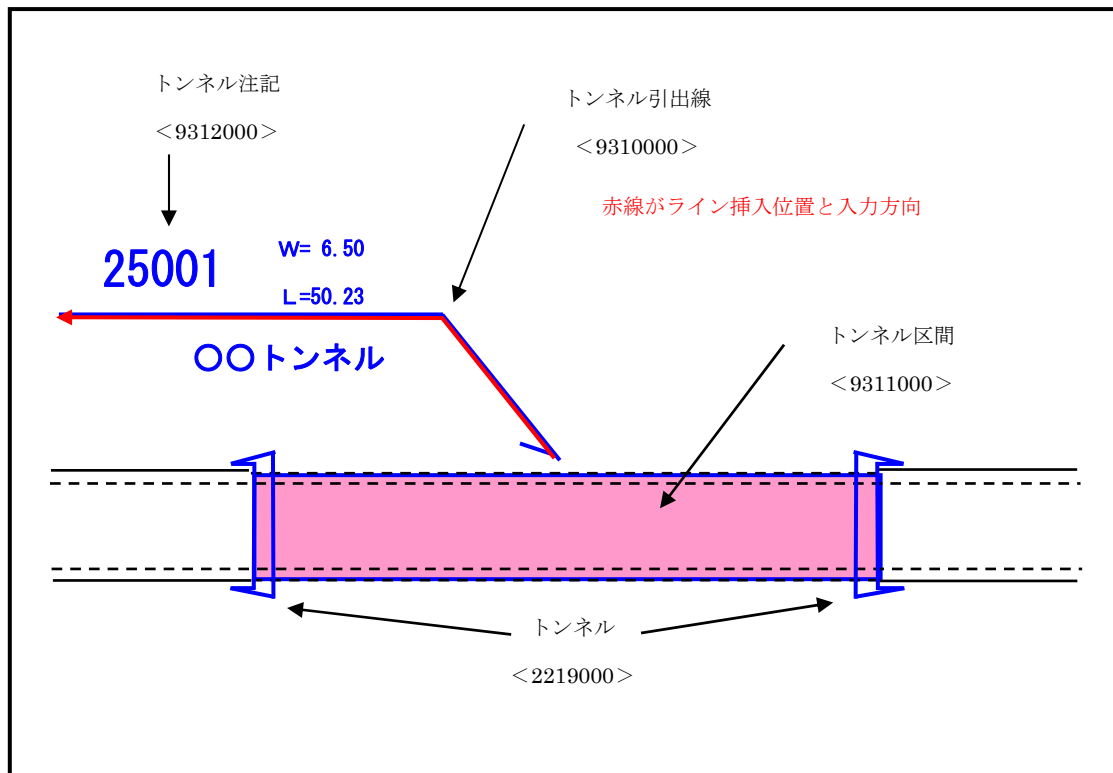


※道路橋梁(木)・道路橋梁(徒橋)削除

12) トンネル

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
2219000	道路のトンネル<線>				
9310000	トンネル引出線<線>				
9311000	トンネル区間<面>				
9312000	トンネル注記<注記>				

- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道のトンネルを取得する。
- 補正資料及び現場調査結果からトンネル位置データを取得する。
- トンネル区間面は区間面に重ねて入力する。
- トンネル区間面<9311000>の属性として施設番号及び施設名称を取得する。
- 原則的には、トンネル注記が水平に表示されるように角度を 0° とする。
- 引き出し線は、トンネル区間に近い方から 3 点で入力する。

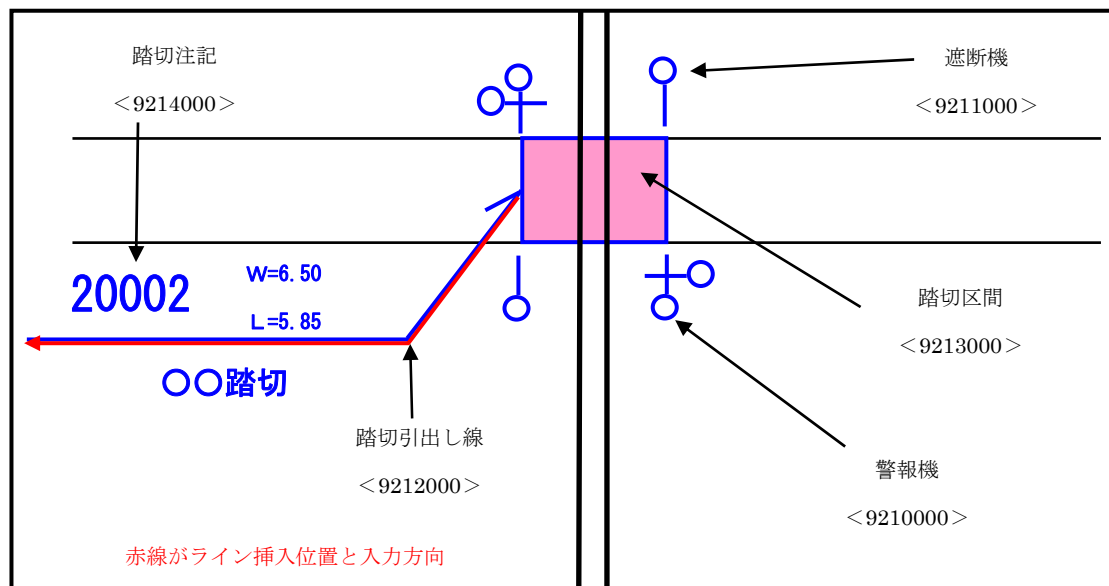


※トンネル（極小）削除

1 3) 踏切 (鉄道交差)

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
9 2 1 0 0 0 0	警報機<記号>	◆脚の位置と向きを取得			
9 2 1 1 0 0 0	遮断機<記号>				
9 2 1 2 0 0 0	踏切引出し線<線>				
9 2 1 3 0 0 0	踏切区間<面>				
9 2 1 4 0 0 0	踏切注記<注記>				

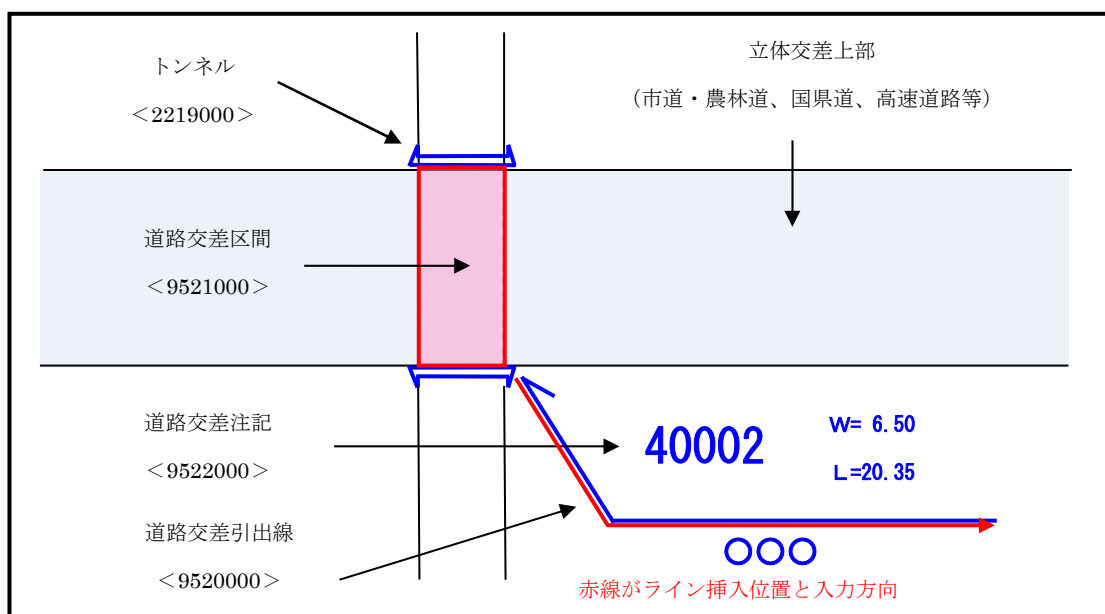
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の踏切を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から踏切位置データを取得する。
- 踏切区間面の図形は区間面と同じにし、重ねて入力する。ただし、複数の路線・区間に掛かる場合や、平面踏切・橋梁等と重なる場合は、高架下に限り図形と区間面の不一致を許容する。その際、施設台帳における延長は施設と一致させるが、調書の区間延長は他の施設を優先し、高架下の施設延長から重複部の延長を除く。
- 鉄道を跨ぐ場合やくぐる場合（高架下含む）も踏切区間面を入力する。
- 踏切区間面<9213000>の属性として踏切番号及び踏切名称を取得する。
- 原則的には、踏切注記が水平に表示されるように角度を 0° とする。
- 引き出し線は、踏切区間に近い方から 3 点で入力する。



14) 道路交差（立体）

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
9520000	道路交差引出線<線>				
9521000	道路交差区間<面>				
9522000	道路交差注記<注記>				

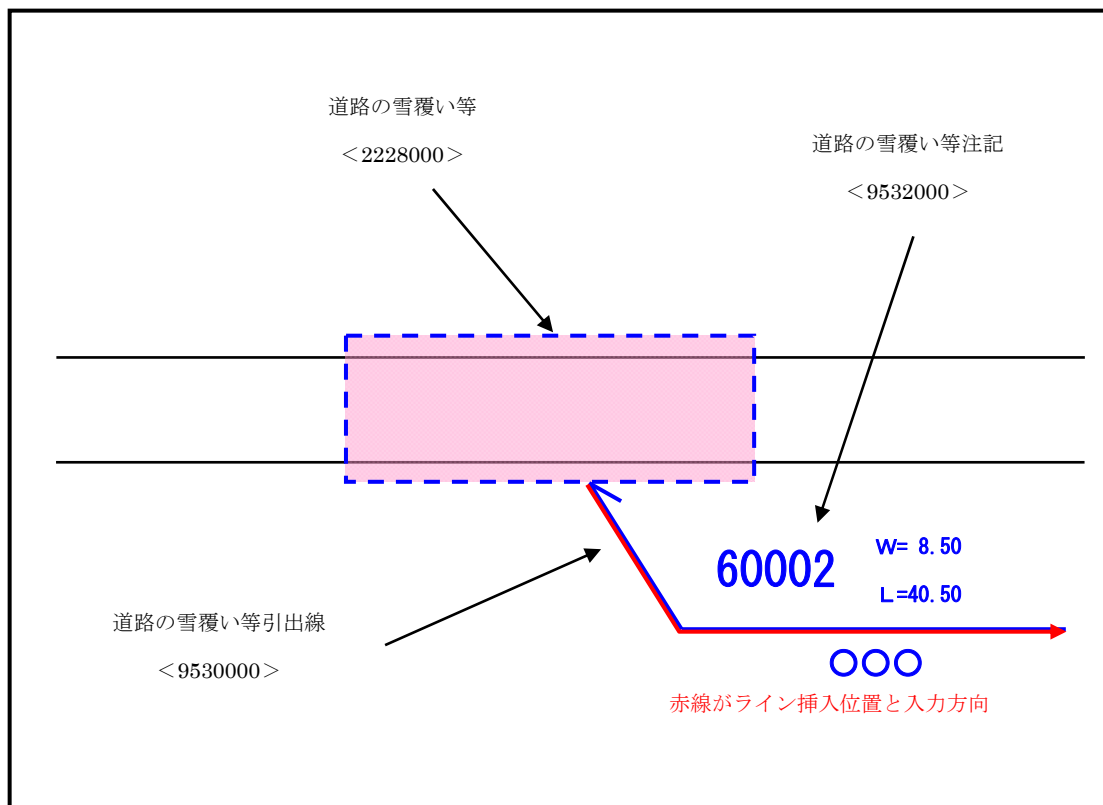
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の道路交差区間を取得する。
- 図形は、区間面と同じにする。ただし、複数の路線・区間に掛かる場合や、平面踏切・橋梁等と重なる場合は、高架下に限り図形と区間面の不一致を許容する。その際、施設台帳における延長は施設と一致させるが、調書の区間延長は他の施設を優先し、高架下の施設延長から重複部の延長を除く。
- 道路交差区間面<9521000>の属性として施設番号及び施設名称を取得する。
- 原則的には、道路交差注記が水平に表示されるように角度を 0° とする。
- 引出線は、道路交差区間に近い方から 3 点で入力する。
- 市道（農道・林道）を横断する歩行者・自転車用地下道は「横断地下道」、同じく歩行者・自転車用歩道橋は「横断歩道橋」で入力する。ただし、それらの通路が市道（農道・林道）認定されている場合は、道路交差を入力する。
- 国県道や高速道路をくぐる市道（農道・林道）は、道路交差を入力する。
- 市道（農道・林道）同士が交差する箇所は、交差上部路線を橋梁、交差下部路線を道路交差で取得する（高架下含む）。土被り 1m 以上等で橋梁条件に該当しない場合は、交差下部路線を道路交差で取得するのみとする。



15) 道路の雪覆い等

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
9 5 3 0 0 0 0	道路の雪覆い等引き出し線<線>				
2 2 2 8 0 0 0	道路の雪覆い等<面>				
9 5 3 2 0 0 0	道路の雪覆い等注記<注記>				

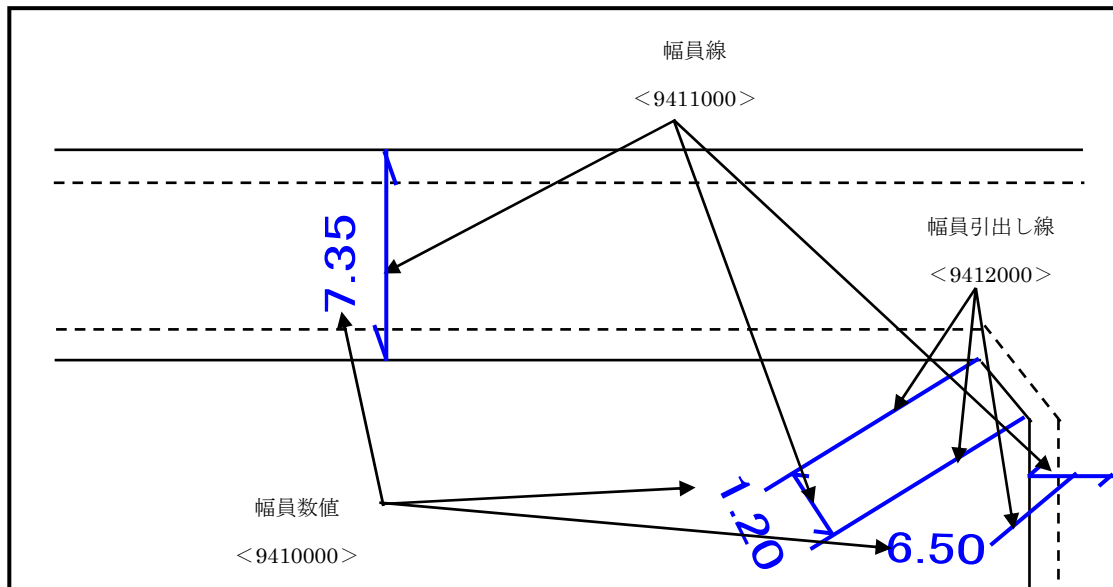
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の雪覆い等を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から雪覆い等位置データを取得する。
- 雪覆い等面は区間面に重ねて入力する。
- 原則的には、雪覆い等注記が水平に表示されるように角度を 0° とする。
- 引き出し線は、雪覆い等に近い方から 3 点で入力する。
- 道路の雪覆い等面<2228000>の属性として施設番号及び施設名称を取得する。



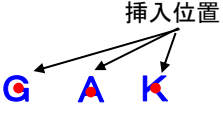
16) 幅員数値・幅員線・幅員引出し線

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
9 4 1 0 0 0 0	幅員数値<注記>				
9 4 1 1 0 0 0	幅員線<線>				
9 4 1 2 0 0 0	幅員引出し線<線>				

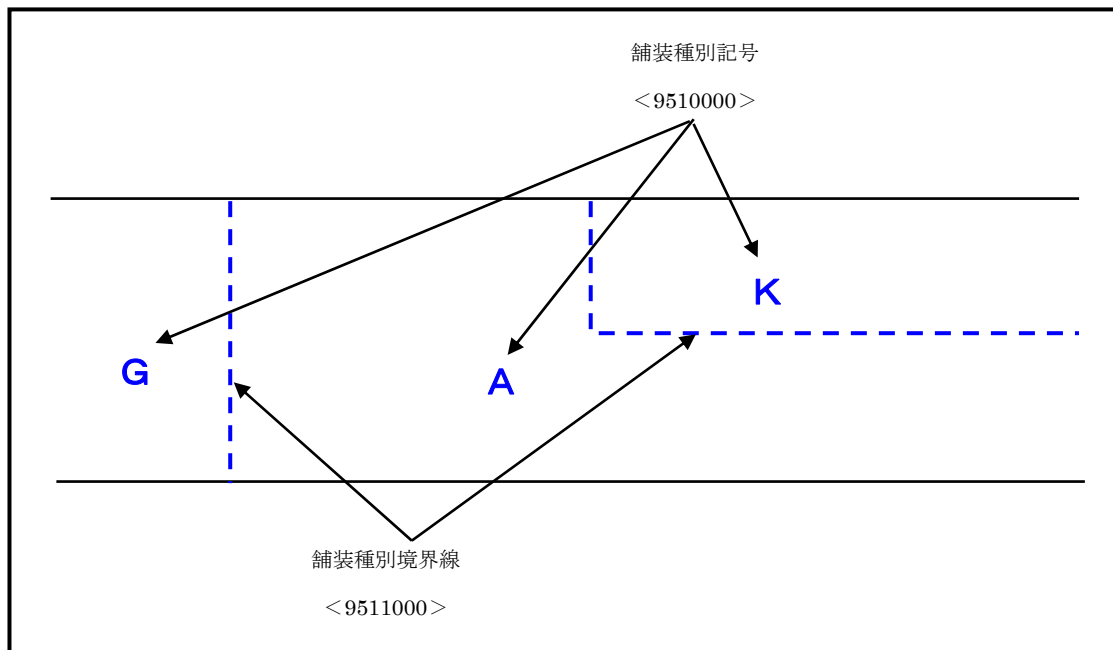
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の幅員数値・幅員線・幅員引出し線を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から幅員数値・幅員線・幅員引出し線位置データを取得する。
- 幅員数値が、幅員線と平行に表示されるように角度を調整する。



17) 舗装種別

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
9510000	舗装種別<記号>	位置の点情報を取得 			
9511000	舗装種別境界<線>				

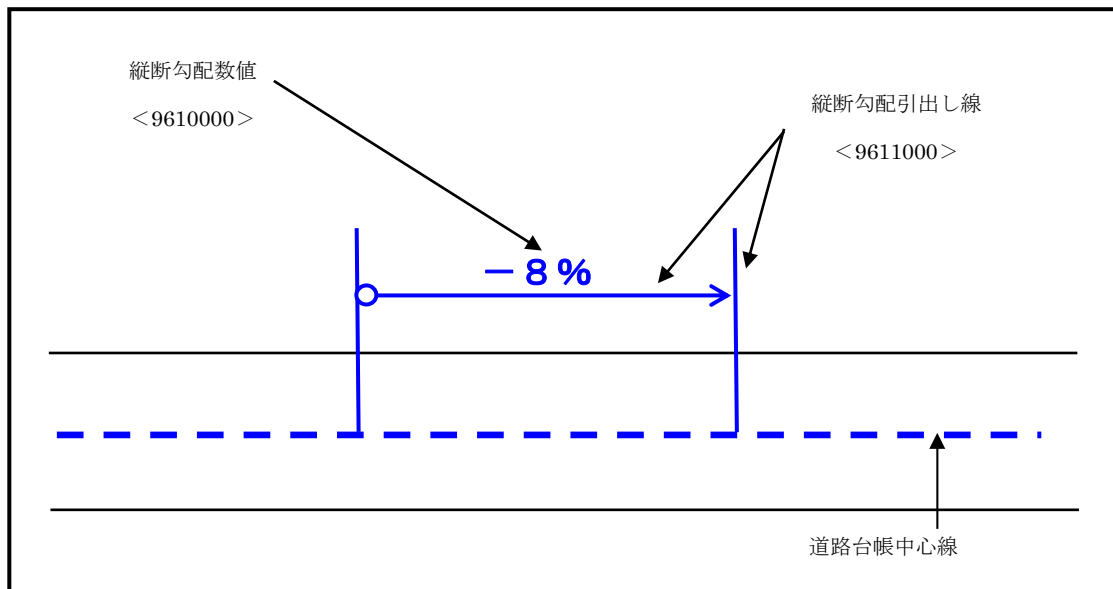
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の舗装種別記号、舗装種別境界線を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から舗装種別記号、舗装種別境界線位置データを取得する。
- 区間線で舗装種別が変わる場合は、区間線と重ねて入力する。
- 区間面を分割する線として入力する。
- 舗装種別境界が歩車道境界となる場合は、歩道<線>を重ねて入力する。
- 塗料を塗ったカラー舗装は E (その他) で入力する。



18) 縦断勾配

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
9 6 1 0 0 0 0	縦断勾配数値<注記>				
9 6 1 1 0 0 0	縦断勾配引出し線<線>				

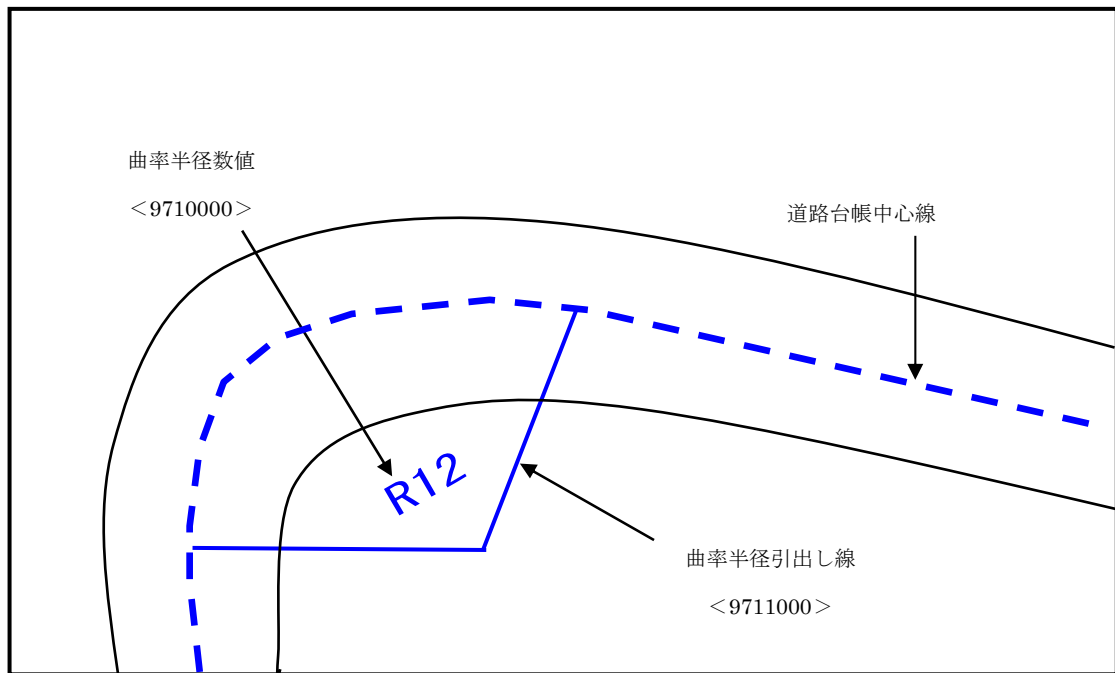
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の縦断勾配数値・縦断勾配引出し線を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から縦断勾配数値・縦断勾配引出し線位置データを取得する。
- 勾配が 8% 以上の場合に入力を行う。
- 矢印の向きは起点から終点方向とし、登りは＋、下りは－で表現する。



19) 曲率半径

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
9710000	曲率半径数値<注記>				
9711000	曲率半径引出し線<線>				

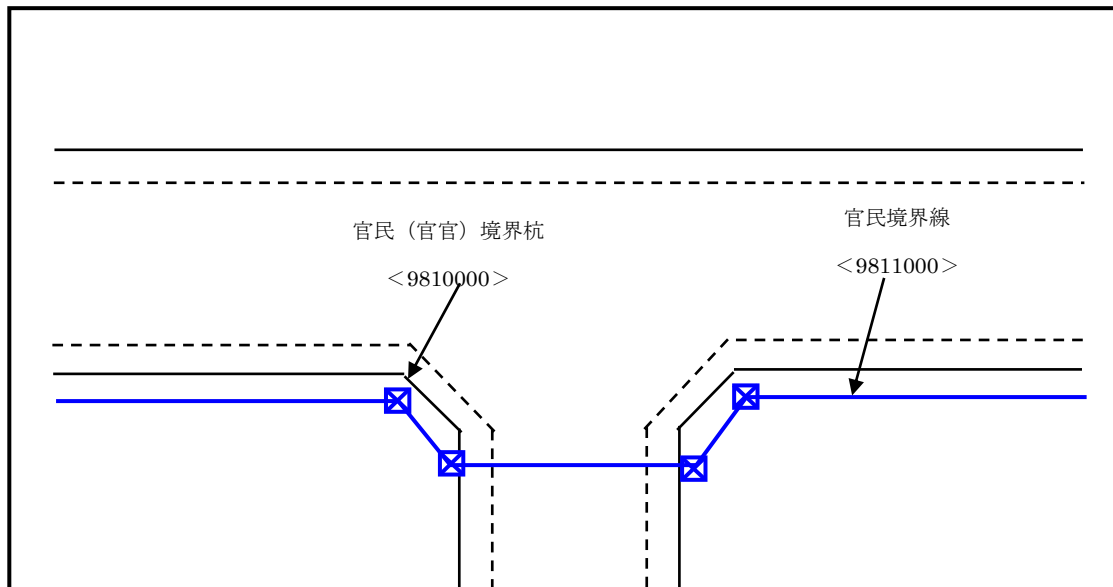
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の曲率半径数値・曲率半径引出し線を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から曲率半径数値・曲率半径引出し線位置データを取得する。
- 曲率半径引出し線は、道路中心線にスナップさせて、3点で入力する。
- 曲率半径引出し線は、可能な限り道路中心線に垂直になるように入力する。
- 曲率半径引出し線は、可能な限り曲率半径の数値と線の距離が一致するように入力する。
- 曲率半径が 30m 未満の場合に入力を行う。
- 曲率半径数値は、中心線と平行になるように入力する。



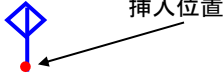
20) 官民（官官）境界

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
9810000	官民境界杭<記号>	位置の点情報を取得 			
9811000	官民境界<線>				

- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の官民境界杭・官民境界線を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から官民境界杭・官民境界線位置データを取得する。
- 官民境界線は官民境界杭にスナップさせて入力する。

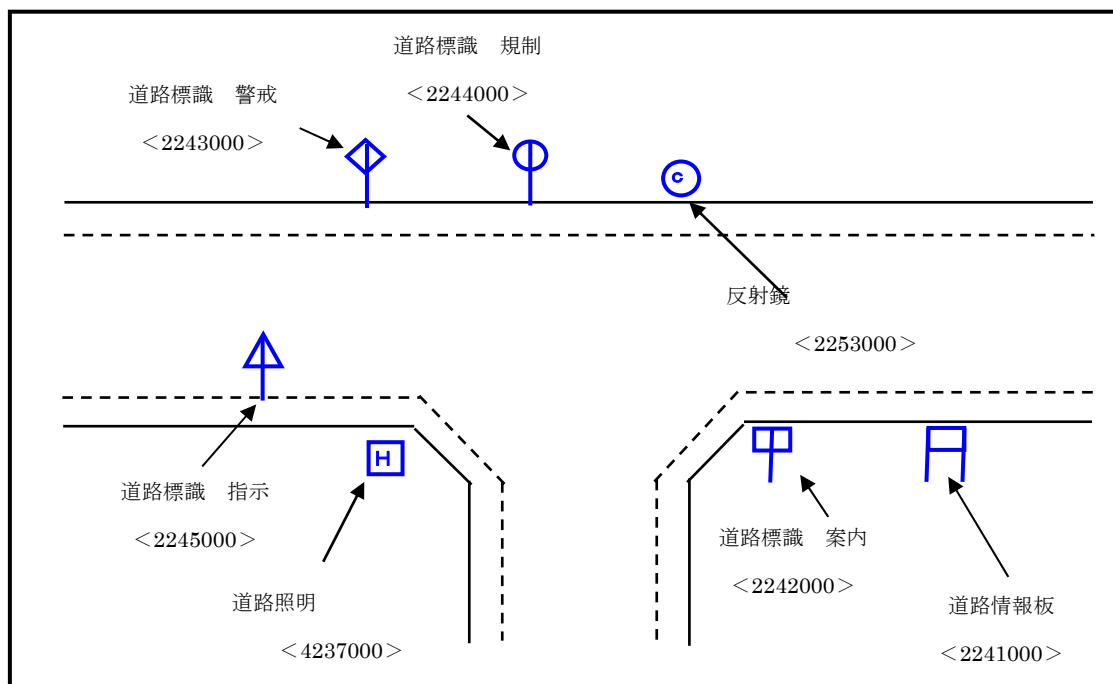


2 1) 道路標識・反射鏡・道路照明

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
2 2 4 1 0 0 0	道路情報板<記号>	道路情報版及び道路標識の記号の基点は 標識のポールの下とする			
2 2 4 2 0 0 0	道路標識 案内<記号>				
2 2 4 3 0 0 0	道路標識 警戒<記号>				
2 2 4 4 0 0 0	道路標識 規制<記号>				
2 2 4 5 0 0 0	道路標識 指示<記号>				
2 2 5 3 0 0 0	反射鏡<記号>				
4 2 3 7 0 0 0	道路照明<記号>				

- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 農林道の市が設置した道路標識・反射鏡・道路照明の位置データを取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から、市道に設置した道路標識・反射鏡・道路照明の位置データを取得する。
- 市道の管理対象物は建設 GIS データ（随時更新される。長野市より借用）を参考にする。
- 1本のポールに2つ以上の道路標識がある場合は、優先順位を案内、警戒、規制、指示とし、1つだけを入力する。
- 道路標識が電柱、信号柱、照明灯等に共架されている場合は、入力対象としない。

※市道（農道・林道）の道路標識・反射鏡・道路照明については、初期整備時のみ維持課の道路施設データを使用

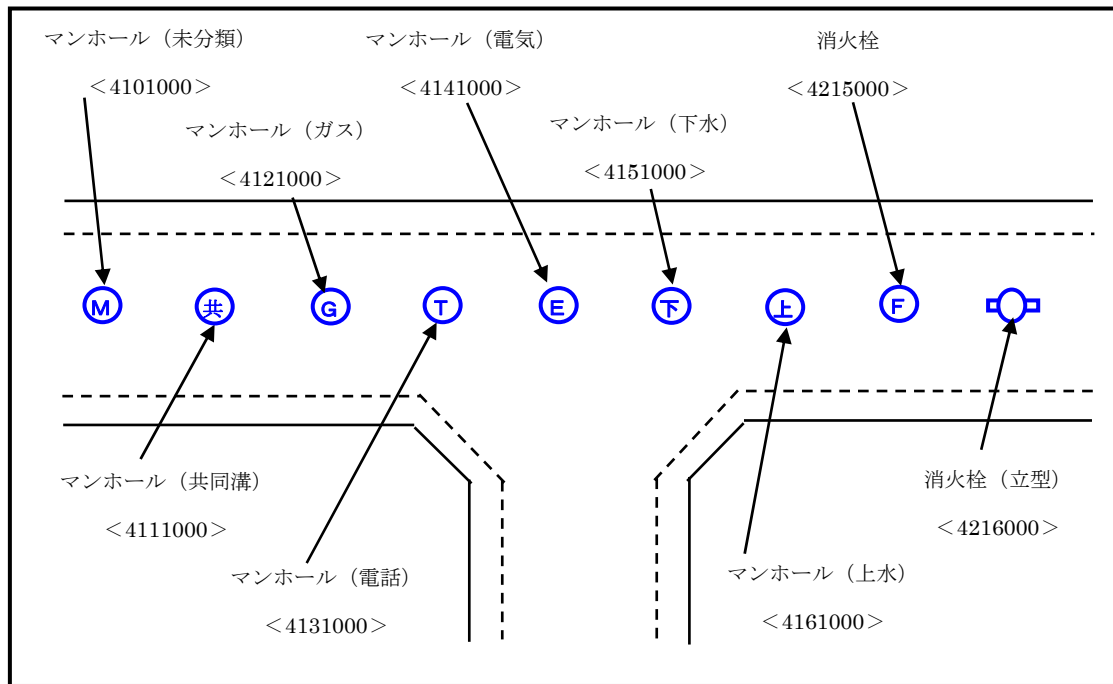


※防犯灯削除

22) 道路台帳要素 マンホール

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
4101000	マンホール（未分類）<記号>				
4111000	マンホール（共同溝）<記号>				
4121000	マンホール（ガス）<記号>				
4131000	マンホール（電話）<記号>				
4141000	マンホール（電気）<記号>				
4151000	マンホール（下水）<記号>				
4161000	マンホール（上水）<記号>				
4215000	消火栓<記号>				
4216000	消火栓（立型）<記号>				

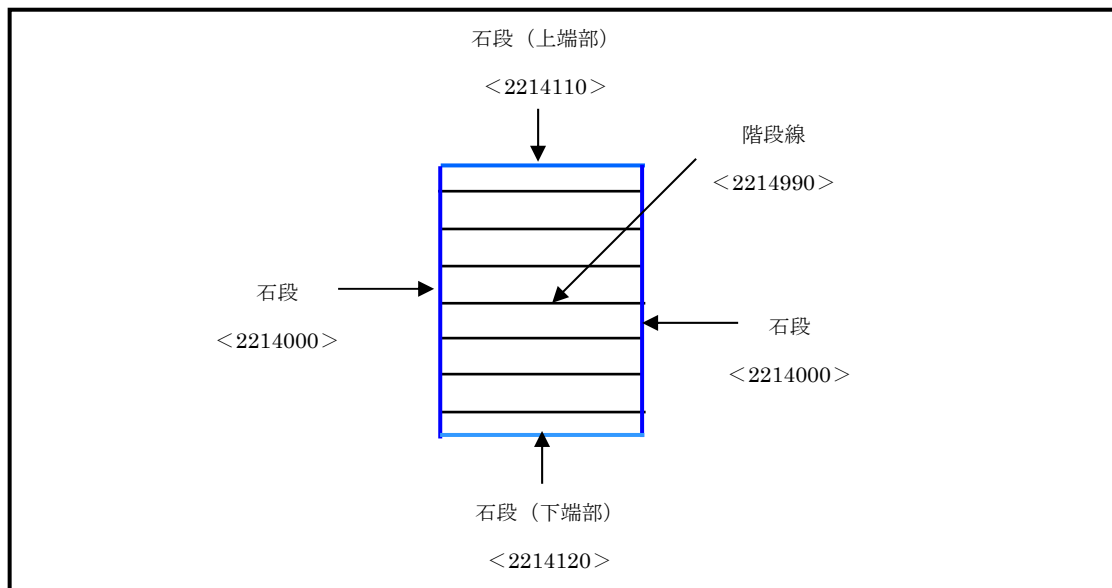
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- マンホール種別が不明なものや、判読が難しい（文字潰れ）場合は「4101000：マンホール（未分類）」で取得する。
- 直径 45cm 以上のものを入力する。



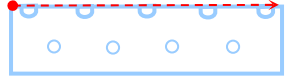
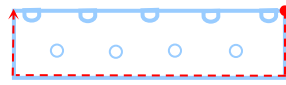
2 3) 石段

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
2 2 1 4 0 0 0	石段<線>				
2 2 1 4 1 1 0	石段（上端部）<線>				
2 2 1 4 1 2 0	石段（下端部）<線>				
2 2 1 4 9 9 0	階段線<線>				

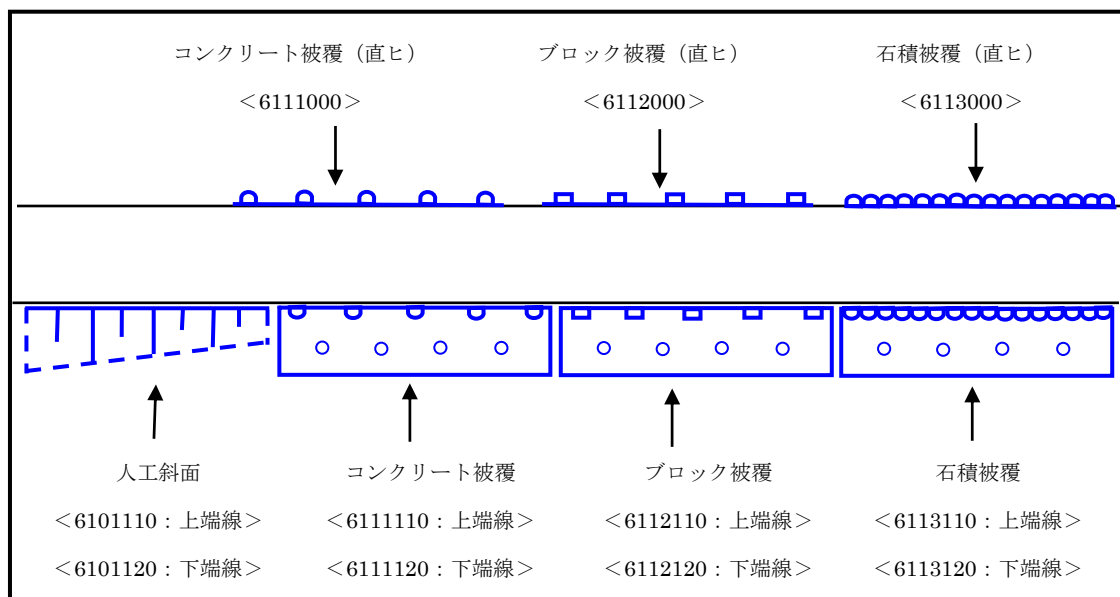
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の石段を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から石段位置データを取得する。
- 道路縁にスナップさせて入力する。
- 市道外にある石段は入力しない。地形図に該当する。



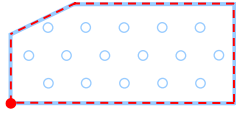
24) 人工斜面・コンクリート被覆・ブロック被覆・石積被覆

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
6101110	人工斜面（上端線）<線>	◆直ヒ 低い方を右に取得  ◆射影部（上端線）低い方を右に取得  ◆射影部（下端線）高い方を右に取得 			
6101120	人工斜面（下端線）<線>				
6101990	人工斜面（作図）<線>				
6111000	コンクリート被覆（直ヒ）<線>				
6111110	コンクリート被覆（上端線）<線>				
6111120	コンクリート被覆（下端線）<線>				
6111990	コンクリート被覆（作図）<線>				
6112000	ブロック被覆（直ヒ）<線>				
6112110	ブロック被覆（上端線）<線>				
6112120	ブロック被覆（下端線）<線>				
6112990	ブロック被覆（作図）<線>				
6113000	石積被覆（直ヒ）<線>				
6113110	石積被覆（上端線）<線>				
6113120	石積被覆（下端線）<線>				
6113990	石積被覆（作図）<線>				

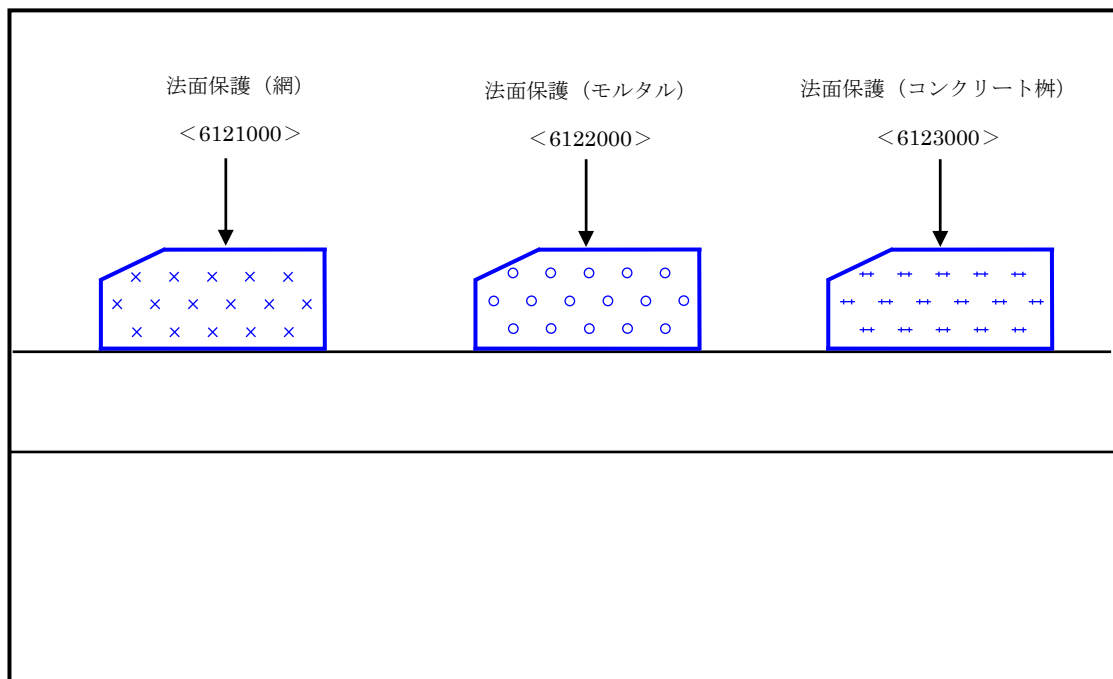
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の、高低差 50cm 以上の人工斜面等を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から人工斜面等位置データを取得する。
- 被覆の幅が図上約 0.4mm 未満のものは直被とし、図上 0.6mm 以上 1.0mm までのものは円点を表示しない。



25) 法面保護

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	500 1000	取得基準	500 1000
6121000	法面保護 網<面>	◆真形 外周を取得（始終点座標一致）  ◆内部りん形点は自動発生して表示			
6121990	法面保護 網（作図）<線>				
6122000	法面保護 モルタル<面>				
6122990	法面保護 モルタル（作図）<線>				
6123000	法面保護 コンクリート柵<面>				
6123990	法面保護 コンクリート柵（作図）<線>				

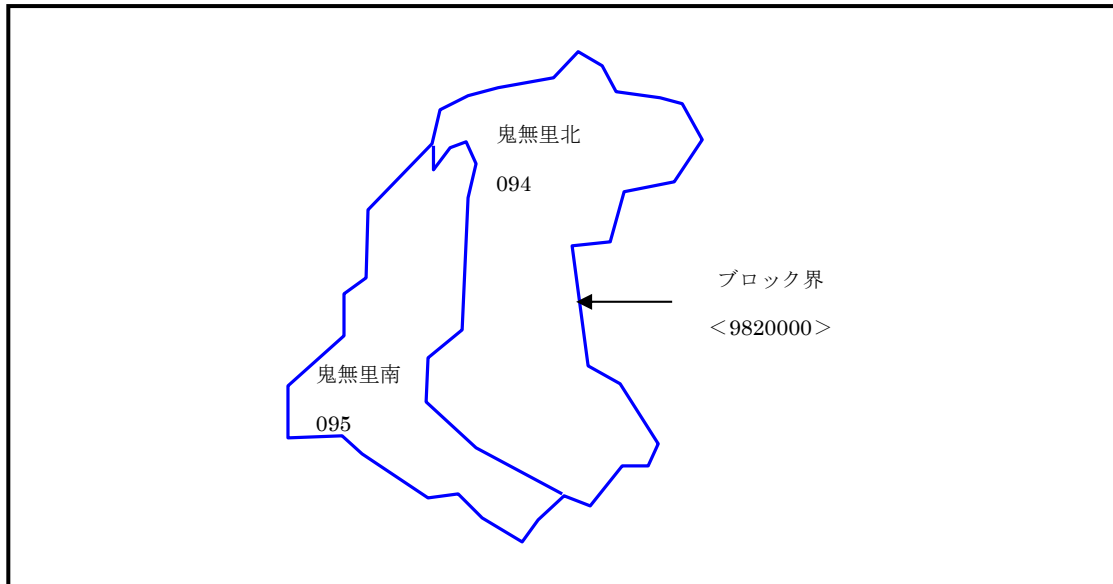
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の、高低差 50cm 以上の法面保護を取得する。
- 補正資料及び現場調査結果から法面保護等位置データを取得する。



26) ブロック界

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	5000	取得基準	5000
9820000	ブロック界<面>				

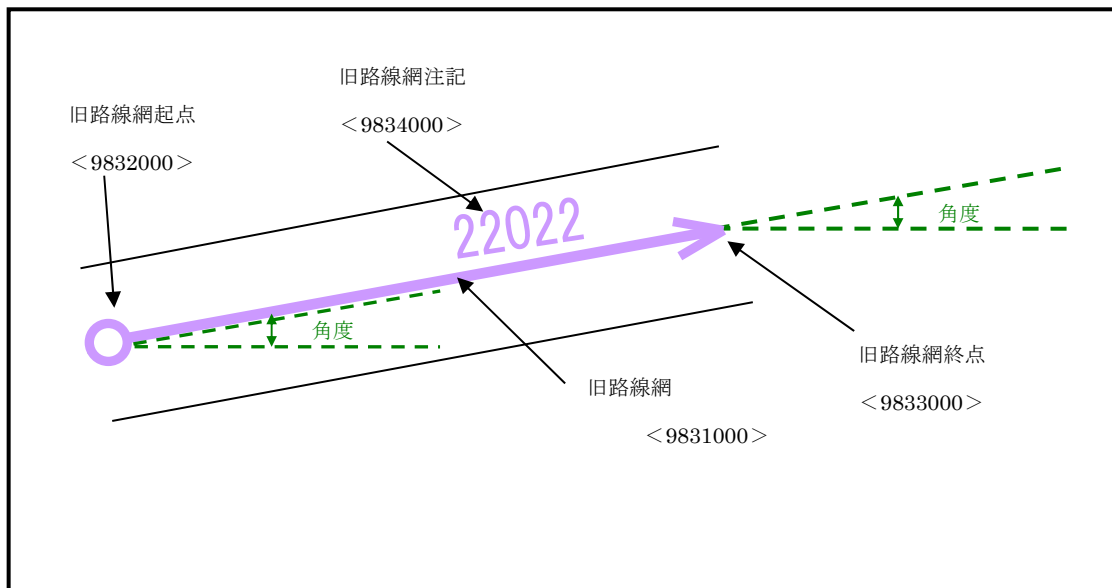
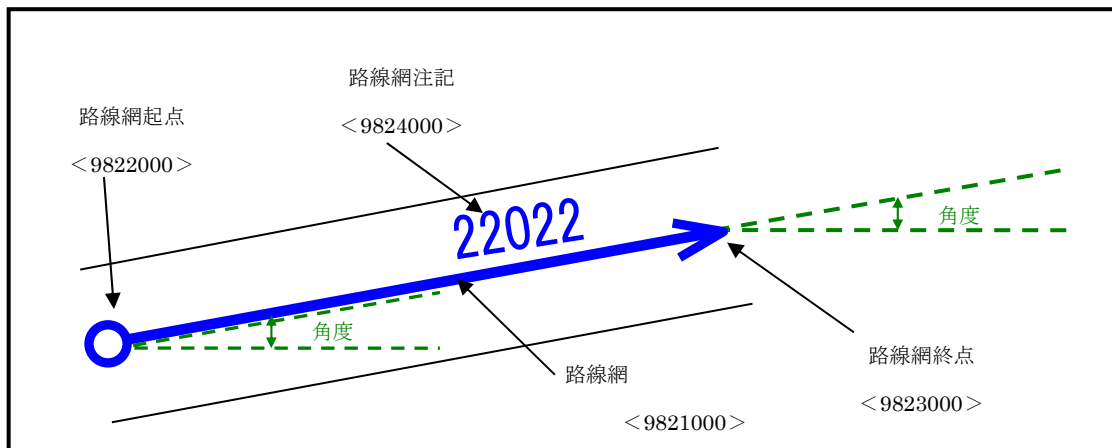
1. 位置精度、取得基準とも概ねレベル 5000 で取得する。
2. 長野市道及び農林道のブロック界を取得する。
3. 既存ブロック界データ及び大字界データ（共用空間）より取得する。



27) 路線網

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	5000	取得基準	5000
9821000	路線網<線>				
9822000	路線網起点<記号>				
9823000	路線網終点<記号>				
9824000	路線網注記<注記>				
9831000	旧路線網<線>				
9832000	旧路線網起点<記号>				
9833000	旧路線網終点<記号>				
9834000	旧路線網注記<注記>				

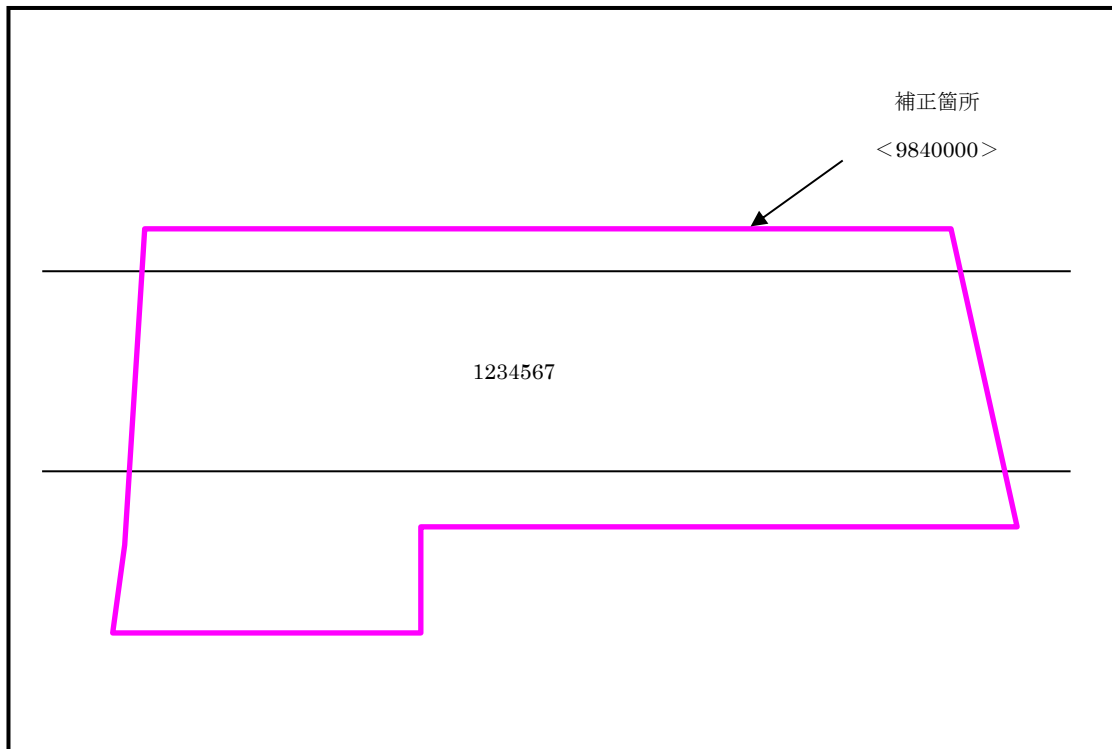
1. 位置精度、取得基準とも概ねレベル 5000 で取得する。
2. 長野市道及び農林道の路線網（路線網起終点・注記含む）を取得する。



28) 補正箇所

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	-	取得基準	-
9840000	補正箇所<面>				

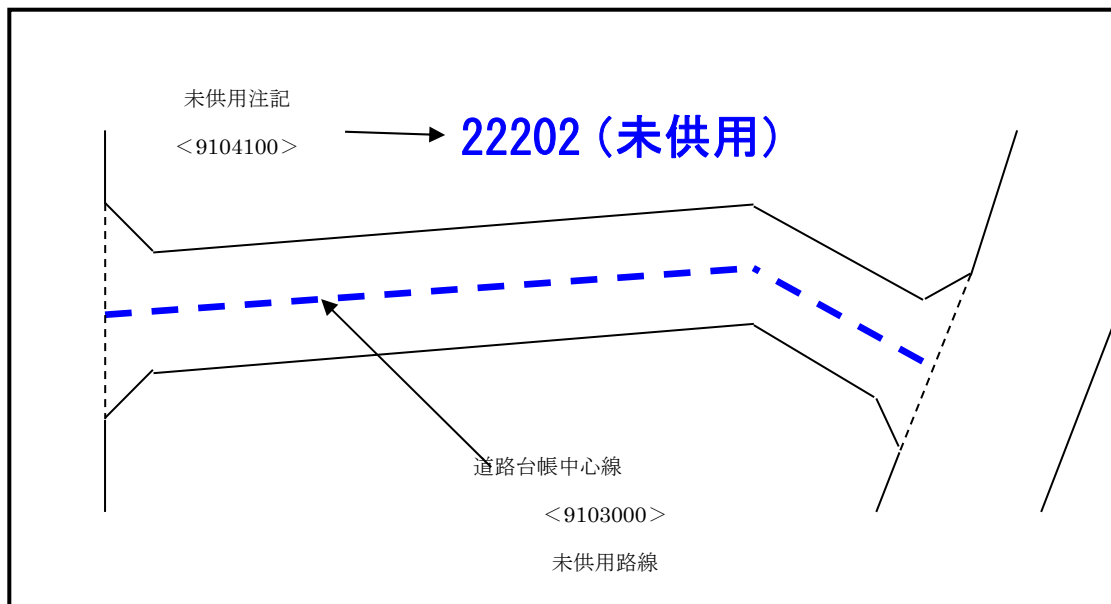
1. 補正によって要素データが変化する箇所を囲む。
2. 補正リストの整理番号ごとに図形を入力する。
整理番号は、課コード(2桁)+回数(2桁)+連番(3桁)で構成される。
補正内容が細分化される際は、枝整理番号(A,B,C...)に値を入れる。
3. 補正年度ごとに作成する。



29) 未供用注記

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	-	取得基準	-
9104100	未供用注記<注記>				

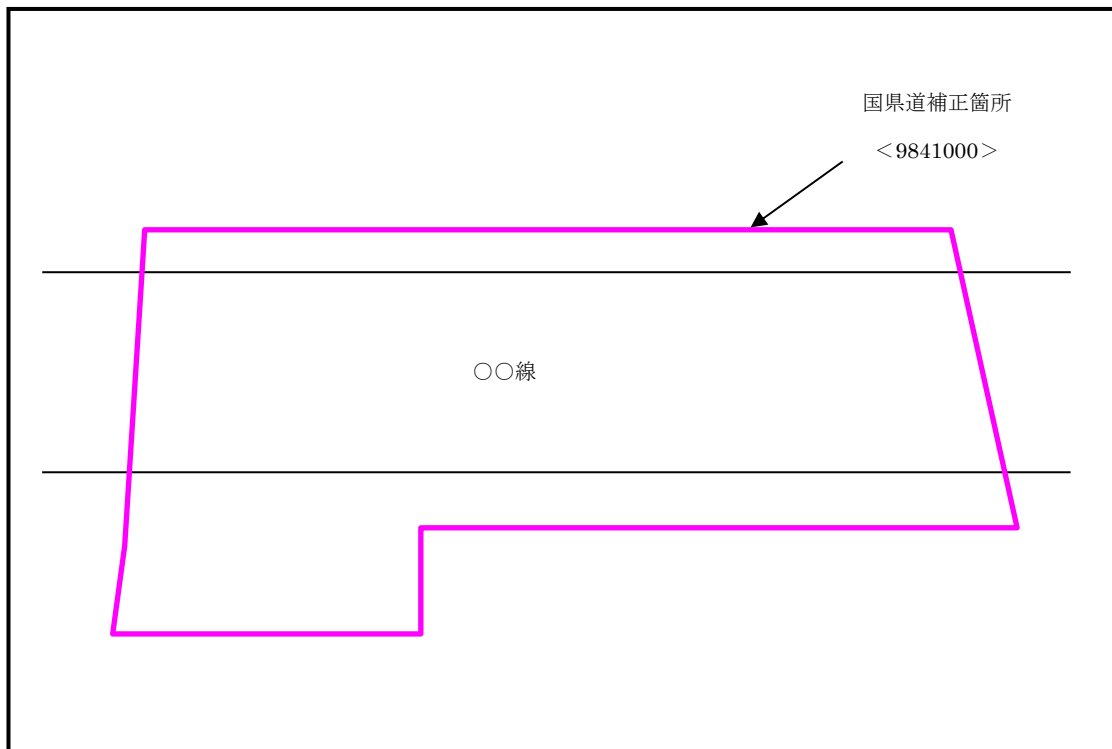
- 1/500 道路台帳図区域は位置精度、取得基準ともレベル 500 で取得、その他の区域は位置精度、取得基準ともレベル 1000 で取得する。
- 長野市道及び農林道の未供用路線及び区間の路線番号・未供用注記を取得する。
- 道路台帳図より未供用路線及び区間の路線番号・未供用注記データを取得する。
- 道路台帳中心線<9103000>の未供用部分の属性として路線番号と未供用注記を取得する。
- 未供用注記<9104100>は路線番号と未供用注記を表示する。



30) 国道補正箇所

図式分類コード	名 称<図形区分>	位置精度	-	取得基準	-
9841000	国道補正箇所<面>				

1. 長野市の国道の補正箇所を囲む。
2. 図形及び属性は、平面図や補正一覧等の資料から入力する。
3. 補正年度ごとに作成する。



9.3.1 道路台帳要素データファイル一覧

元データ：道路台帳図、整備範囲：市全域

N0	分類	名称	レイヤー名 (ShapeFile)	図式分類コード	属性取得項目
1	起終点	起終点（点）	KiSyuten_Pnt	9 1 0 1 0 0 0 9 1 0 2 0 0 0	・ 路線番号 ・ 道路種別 ・ <起終点種別>
2	道路台帳中心線	道路台帳中心線（線）	DouroChushin_Line	9 1 0 3 0 0 0	・ 路線番号 ・ 路線名称 ・ 道路種別 ・ 未供用 ・ 分類
3	路線番号	路線番号（点）	Rosenbango_Pnt	9 1 0 4 0 0 0	
4	区間	区間線（線）	Kukan_Line	9 1 0 5 0 0 0	・ 分類
5		区間面（面）	Kukan_Poly	9 1 0 7 0 0 0	・ 路線番号 ・ 区間番号 ・ 道路種別 ・ 道路区分
6	側溝	側溝（線）	Sokou_Line	2 2 3 1 0 0 0 2 2 3 2 0 0 0 2 2 3 2 1 0 0 2 2 3 3 0 0 0 2 2 3 3 1 0 0 2 2 3 3 2 0 0	・ <側溝種別>
7		側溝注記（点）	SokouTyuki_Pnt	9 1 0 8 0 0 0	
8	雨水樹	雨水樹（線）	Usuimasu_Line	2 2 3 5 0 0 0	
9	並木樹 植栽	並木樹（線）	NamikiMasu_Line	2 2 3 6 0 0 0 2 2 3 6 1 0 0	・ <並木樹種別>
10		植栽（点）	Syokusai_Pnt	2 2 3 9 0 0 0	
11	安全施設	安全施設（線）	AnzenShisetu_Line	6 1 3 2 2 6 0 6 1 3 2 2 7 0 6 1 3 2 2 8 0 6 1 3 2 2 9 0 6 1 3 2 3 0 0 6 1 3 2 3 1 0 2 2 2 7 0 0 0	・ <安全施設種別>
12	横断歩道橋 地下横断歩道	横断歩道橋（面）	OdanHodokyo_Poly	2 2 1 1 0 0 0	・ 施設番号 ・ 施設名称 ・ キーコード

13		地下横断歩道（面）	ChikaOdanhodo_Poly	2 2 1 2 0 0 0	・ 施設番号 ・ 施設名称 ・ キーコード
14		立体横断施設引出線（線）	OudanShisetu_Line	9 1 2 1 0 0 0	
15		立体横断施設注記（点）	OudanShisetu_Pnt	9 1 2 2 0 0 0	
16		地下街・地下鉄等出入口（線）	ChikaIriguchi_Line	2 2 1 5 0 0 0	
17	安全地帯	安全地帯（面）	Anzenchitai_Poly	2 2 2 2 0 0 0	
18		分離帯（面）	Bunritai_Poly	2 2 2 6 0 0 0	
19	歩道	歩道（線）	Hodou_Line	2 2 1 3 0 0 0	・ 境界区分
20	橋梁	道路橋梁（線）	Kyoryo_Line	2 2 0 3 0 0 0	
21		橋梁引出線（線）	KyoryoHikidashi_Line	9 1 1 0 0 0 0	
22		橋梁区間（面）	KyoryoKukan_Poly	9 1 1 1 0 0 0	・ 路線番号 ・ 区間番号 ・ 道路種別 ・ 橋梁番号 ・ 分割番号 ・ 橋梁名称 ・ 非永久橋 ・ キーコード
23		橋梁注記（点）	KyoryoTyuki_Pnt	9 1 1 2 0 0 0	
24	トンネル	道路のトンネル（線）	Tunnel_Line	2 2 1 9 0 0 0	
25		トンネル引出線（線）	TunnelHikidashi_Line	9 3 1 0 0 0 0	
26		トンネル区間（面）	TunnelKukan_Poly	9 3 1 1 0 0 0	・ 路線番号 ・ 区間番号 ・ 道路種別 ・ 施設番号 ・ 施設名称 ・ キーコード
27		トンネル注記（点）	TunnelTyuki_Pnt	9 3 1 2 0 0 0	
28	踏切（鉄道交差）	警報機・遮断機（点）	KeihouSyadanki_Pnt	9 2 1 0 0 0 0 9 2 1 1 0 0 0	・ <警報機種別>
29		踏切引出線（線）	FumikiriHikidashi_Line	9 2 1 2 0 0 0	
30		踏切区間（面）	FumikiriKukan_Poly	9 2 1 3 0 0 0	・ 路線番号 ・ 区間番号 ・ 道路種別 ・ 踏切番号 ・ 踏切名称
31		踏切注記（点）	FumikiriTyuki_Pnt	9 2 1 4 0 0 0	
32	道路交差（立体）	道路交差引出線（線）	DouroKousa_Line	9 5 2 0 0 0 0	

33		道路交差区間（面）	DouroKousa_Poly	9 5 2 1 0 0 0	・ 路線番号 ・ 区間番号 ・ 道路種別 ・ 施設番号 ・ 施設名称
34		道路交差注記（点）	DouroKousa_Pnt	9 5 2 2 0 0 0	
35	道路の雪覆い	道路の雪覆い等引出線（線）	SnowShed_Line	9 5 3 0 0 0 0	
36		道路の雪覆い等（面）	SnowShed_Poly	2 2 2 8 0 0 0	・ 路線番号 ・ 区間番号 ・ 道路種別 ・ 施設番号 ・ 施設名称 ・ キーコード
37		道路の雪覆い等注記（点）	SnowShed_Pnt	9 5 3 2 0 0 0	
38	幅員	幅員数値（点）	FukuinSuchi_Pnt	9 4 1 0 0 0 0	・ 隅切
39		幅員線（線）	FukuinSen_Line	9 4 1 1 0 0 0	・ 隅切
40		幅員引出線（線）	FukuinHikidashi_Line	9 4 1 2 0 0 0	・ 隅切
41	舗装種別	舗装種別（点）	HosoSyubetu_Pnt	9 5 1 0 0 0 0	・ 舗装種別
42		舗装種別境界（線）	HosoKyokai_Line	9 5 1 1 0 0 0	
43	縦断勾配	縦断勾配数値（点）	JudanKobai_Pnt	9 6 1 0 0 0 0	
44		縦断勾配引出線（線）	KobaiHikidashi_Line	9 6 1 1 0 0 0	・ 矢印種別
45	曲率半径	曲率半径数値（点）	Kyokuri_tu_Pnt	9 7 1 0 0 0 0	
46		曲率半径引出線（線）	KyoHikidashi_Line	9 7 1 1 0 0 0	
47	官民境界	官民境界杭（点）	KanminKyoukaikui_Pnt	9 8 1 0 0 0 0	
48		官民境界（線）	KanminKyoukai_Line	9 8 1 1 0 0 0	
49	道路標識	道路標識（点）	DouroHyoshiki_Pnt	2 2 4 1 0 0 0 2 2 4 2 0 0 0 2 2 4 3 0 0 0 2 2 4 4 0 0 0 2 2 4 5 0 0 0	・ < 標識種別 > ・ キーコード
50	反射鏡	反射鏡（点）	Hansyakyo_Pnt	2 2 5 3 0 0 0	・ キーコード
51	道路照明	道路照明（点）	DouroSyomei_Pnt	4 2 3 7 0 0 0	・ キーコード

52	マンホール	マンホール（点）	Manhole_Pnt	4 1 0 1 0 0 0 4 1 1 1 0 0 0 4 1 2 1 0 0 0 4 1 3 1 0 0 0 4 1 4 1 0 0 0 4 1 5 1 0 0 0 4 1 6 1 0 0 0 4 2 1 5 0 0 0 4 2 1 6 0 0 0	・＜マンホール種別＞
53	石段	石段（線）	Ishidan_Line	2 2 1 4 0 0 0 2 2 1 4 1 1 0 2 2 1 4 1 2 0 2 2 1 4 9 9 0	・＜石段種別＞
54	法 面 （地 形）	人工斜面（線）	JinkoShamen_Line	6 1 0 1 1 1 0 6 1 0 1 1 2 0 6 1 0 1 9 9 0	・＜上端・下端＞ ・＜作図＞
55		被覆（線）	Hifuku_Line	6 1 1 1 0 0 0 6 1 1 1 1 1 0 6 1 1 1 1 2 0 6 1 1 1 9 9 0 6 1 1 2 0 0 0 6 1 1 2 1 1 0 6 1 1 2 1 2 0 6 1 1 2 9 9 0 6 1 1 3 0 0 0 6 1 1 3 1 1 0 6 1 1 3 1 2 0 6 1 1 3 9 9 0	・＜被覆種別＞ ・＜直ヒ・上端・下端＞ ・＜作図＞
56		法面保護（面）	Norimen_Poly	6 1 2 1 0 0 0 6 1 2 2 0 0 0 6 1 2 3 0 0 0	・＜法面保護種別＞
57		法面保護（線）	Norimen_Line	6 1 2 1 9 9 0 6 1 2 2 9 9 0 6 1 2 3 9 9 0	・＜法面保護種別＞
58		ブロック界	Block_Poly	9 8 2 0 0 0 0	・番号 ・名称

59	路線網	路線網（線）	Rosenmou_Line	9 8 2 1 0 0 0	・ 路線番号 ・ 路線名称 ・ 道路種別 ・ 未供用種別 ・ 路線幅員 ・ 廃止 ・ 廃止年月日
60		路線網起終点（点）	RosenKisyuten_Pnt	9 8 2 2 0 0 0 9 8 2 3 0 0 0	・ 路線番号 ・ 道路種別 ・ <起終点種別>
61		路線網注記（点）	RosenTyuki_Pnt	9 8 2 4 0 0 0	・ 路線番号
62	旧路線網	旧路線網（線）	KyuRosen_Line	9 8 3 1 0 0 0	・ 路線番号 ・ 路線名称 ・ 道路種別 ・ 未供用種別
63		旧路線網起終点（点）	KyuKisyuten_Pnt	9 8 3 2 0 0 0 9 8 3 3 0 0 0	・ 路線番号 ・ 道路種別 ・ <起終点種別>
64		旧路線網注記（点）	KyuBangou_Pnt	9 8 3 4 0 0 0	・ 路線番号
65	補正箇所	補正箇所（面）	●○○HoseiKasho_Poly	9 8 4 0 0 0 0	・ 整理番号 ・ 枝整理番号 ・ 地区 ・ 補正方針
66	未供用	未供用注記（点）	MiKyouyou_Pnt	9 1 0 4 1 0 0	
67	国県道補正箇所	国県道補正箇所（面）	●○○KokenHosei_Poly	9 8 4 1 0 0 0	・ 整理番号 ・ 路線番号 ・ 路線名称 ・ 道路種別 ・ 補正延長 ・ 補正年度

※<>で囲われた属性は、code フィールドの図式分類コードで区別する

※補正箇所(面)のレイヤー名の先頭には年度を入れる

9.3.2 属性項目

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
起終点（点）	路線番号	路線番号	テキスト	10	例：22002
	道路種別	道路種別	テキスト	20	市道 1 級 市道 2 級 市道その他 市道独立専用自歩道 農道 林道
	記号の表示方向	角度	数値	4. 2	単位は度 $-180 < \theta \leq 180$
道路台帳中心線（線）	路線番号	路線番号	テキスト	10	例：22002
	路線名称	路線名称	テキスト	40	例：篠ノ井南 5 1 2 号線
	道路種別	道路種別	テキスト	20	市道 1 級 市道 2 級 市道その他 市道独立専用自歩道 農道 林道
	未供用フラグ	未供用	数値	1	0：供用 1：未供用
	分類	分類	数値	1	1：起点のみ 2：終点のみ 3：起終点 4：中間
路線番号（点）	文字の表示方向	角度	数値	4. 2	単位は度 $-90 < \theta \leq 90$
	字の大きさ	字大	数値	5	単位は 1/10mm
	字の間隔	字隔	数値	3	単位は 1/10mm
	注記のテキスト	テキスト	テキスト	10	例：22002
区間線（線）	分類	分類	数値	1	0：起点 1：終点 2：起終点 3：中間
区間面（面）	路線番号	路線番号	テキスト	10	例：22002
	区間番号	区間番号	数値	5	例：10
	道路種別	道路種別	テキスト	20	市道 1 級 市道 2 級 市道その他 市道独立専用自歩道 農道 林道
	道路区分	道路区分	数値	1	0：供用 1：未供用 2：重用

	兼用工作物	兼用工作物	テキスト	20	例：堤防道路
	改良・未改良区分	改良未改良	数値	1	0：改良 1：未改良・自動車交通可能 2：未改良・自動車交通不能
側溝（線）	なし				
側溝注記（点）	文字の表示方向	角度	数値	4.2	単位は度 $-90 < \theta \leq 90$
	字の大きさ	字大	数値	5	単位は 1/10mm
	字の間隔	字隔	数値	3	単位は 1/10mm
	注記のテキスト	テキスト	テキスト	30	例：U0.30
雨水樹（線）	なし				
並木樹（線）	なし				
植栽（点）	なし				
安全施設（線）	なし				
横断歩道橋（面）	横断歩道橋番号	施設番号	テキスト	10	例：10002
	横断歩道橋名称	施設名称	テキスト	40	例：長野東157号線歩道橋
	キーコード	キーコード	テキスト	10	例：9020205
地下横断歩道（面）	地下横断歩道番号	施設番号	テキスト	10	例：10002
	地下横断歩道名称	施設名称	テキスト	40	例：川中島地下道
	キーコード	キーコード	テキスト	10	例：17170001
立体横断施設引出線（線）	なし				
立体横断施設注記（点）	文字の表示方向	角度	数値	4.2	単位は度 $-90 < \theta \leq 90$
	字の大きさ	字大	数値	5	単位は 1/10mm
	字の間隔	字隔	数値	3	単位は 1/10mm
	注記のテキスト	テキスト	テキスト	30	例：10002 W=4.00
地下街・地下鉄等出入口（線）	なし				
安全地帯（面）	なし				
分離帯（面）	なし				
歩道（線）	歩道の境界根拠	境界区分	テキスト	20	例：その他
道路橋梁（線）	なし				

橋梁引出線（線）	なし				
橋梁区間（面）	路線番号	路線番号	テキスト	10	例：22002
	区間番号	区間番号	数値	5	例：10
	道路種別	道路種別	テキスト	20	市道１級 市道２級 市道その他 市道独立専用自歩道 農道 林道
	橋梁番号	橋梁番号	テキスト	10	例：10002
	分割番号	分割番号	テキスト	2	例：1
	橋梁名称	橋梁名称	テキスト	40	例：稲田大橋
	永久橋か否か	非永久橋	数値	1	0：永久橋 1：非永久橋
	キーコード	キーコード	テキスト	10	例：9020205
橋梁注記（点）	文字の表示方向	角度	数値	4.2	単位は度 $-90 < \theta \leq 90$
	字の大きさ	字大	数値	5	単位は 1/10mm
	字の間隔	字隔	数値	3	単位は 1/10mm
	注記のテキスト	テキスト	テキスト	30	例：10002 W=4.55
道路のトンネル（線）	なし				
トンネル引出線（線）	なし				
トンネル区間（面）	路線番号	路線番号	テキスト	10	例：22002
	区間番号	区間番号	数値	5	例：10
	道路種別	道路種別	テキスト	20	市道１級 市道２級 市道その他 市道独立専用自歩道 農道 林道
	トンネル番号	施設番号	テキスト	10	例：10002
	トンネル名称	施設名称	テキスト	40	例：花上トンネル
	キーコード	キーコード	テキスト	10	例：9020205
トンネル注記（点）	文字の表示方向	角度	数値	4.2	単位は度 $-90 < \theta \leq 90$
	字の大きさ	字大	数値	5	単位は 1/10mm

	字の間隔	字隔	数値	3	単位は 1/10mm
	注記のテキスト	テキスト	テキスト	30	例：10002 W=4.55
警報機・遮断機（点）	記号の表示方向	角度	数値	4.2	単位は度 $-180 < \theta \leq 180$
踏切引出線（線）	なし				
踏切区間（面）	路線番号	路線番号	テキスト	10	例：22002
	区間番号	区間番号	数値	5	例：10
	道路種別	道路種別	テキスト	20	市道 1 級 市道 2 級 市道その他 市道独立専用自歩道 農道 林道
	踏切番号	踏切番号	テキスト	10	例：10002
	踏切名称	踏切名称	テキスト	40	例：桐原跨線橋
踏切注記（点）	文字の表示方向	角度	数値	4.2	単位は度 $-90 < \theta \leq 90$
	字の大きさ	字大	数値	5	単位は 1/10mm
	字の間隔	字隔	数値	3	単位は 1/10mm
	注記のテキスト	テキスト	テキスト	30	例：10002 W=4.55
道路交差引出線（線）	なし				
道路交差（面）	路線番号	路線番号	テキスト	10	例：22002
	区間番号	区間番号	数値	5	例：10
	道路種別	道路種別	テキスト	20	市道 1 級 市道 2 級 市道その他 市道独立専用自歩道 農道 林道
	道路交差番号	施設番号	テキスト	10	例：40002
	道路交差名称	施設名称	テキスト	40	例：
	キーコード	キーコード	テキスト	10	例：9020205
道路交差注記（点）	文字の表示方向	角度	数値	4.2	単位は度 $-90 < \theta \leq 90$
	字の大きさ	字大	数値	5	単位は 1/10mm
	字の間隔	字隔	数値	3	単位は 1/10mm
	注記のテキスト	テキスト	テキスト	30	例：10002 W=4.55

道路の雪覆い引出線 (線)	なし				
道路の雪覆い (面)	路線番号	路線番号	テキスト	10	例 : 22002
	区間番号	区間番号	数値	5	例 : 10
	道路種別	道路種別	テキスト	20	市道 1 級 市道 2 級 市道その他 市道独立専用自歩道 農道 林道
	道路の雪覆い番号	施設番号	テキスト	10	例 : 60002
	道路の雪覆い名称	施設名称	テキスト	40	例 : 荻久保スノーシェッド
	キーコード	キーコード	テキスト	10	例 : 9020205
道路の雪覆い注記 (点)	文字の表示方向	角度	数値	4. 2	単位は度 $-90 < \theta \leq 90$
	字の大きさ	字大	数値	5	単位は 1/10mm
	字の間隔	字隔	数値	3	単位は 1/10mm
	注記のテキスト	テキスト	テキスト	30	例 : 10002 W=4. 55
幅員数値 (点)	文字の表示方向	角度	数値	4. 2	単位は度 $-90 < \theta \leq 90$
	字の大きさ	字大	数値	5	単位は 1/10mm
	字の間隔	字隔	数値	3	単位は 1/10mm
	注記のテキスト	テキスト	テキスト	10	例 : 6. 58
	隅切か否か	隅切	数値	1	0 : 隅切でない 1 : 隅切
幅員線 (線)	幅員数値	幅員数値	数値	4. 2	例 : 6. 58
	隅切か否か	隅切	数値	1	0 : 隅切でない 1 : 隅切
幅員引出線 (線)	隅切か否か	隅切	数値	1	0 : 隅切でない 1 : 隅切
舗装種別 (点)	舗装種別	舗装種別	テキスト	2	A : 高級舗装 B : 簡易舗装 K : コンクリート舗装 P : コンクリート平板舗装 G : 砂利 C : カラーコンクリート IB : インターロッキング CA : カラーアスファルト E : その他
舗装種別境界 (線)	なし				
縦断勾配数値 (点)	文字の表示方向	角度	数値	4. 2	単位は度 $-90 < \theta \leq 90$

	字の大きさ	字大	数値	5	単位は 1/10mm
	字の間隔	字隔	数値	3	単位は 1/10mm
	注記のテキスト	テキスト	テキスト	10	例：6.58
縦断勾配引出線（線）	矢印の種別	矢印種別	数値	1	0：矢印なし 1：起点のみ 2：終点のみ 3：起終点
曲率半径数値（点）	文字の表示方向	角度	数値	4.2	単位は度 $-90 < \theta \leq 90$
	字の大きさ	字大	数値	5	単位は 1/10mm
	字の間隔	字隔	数値	3	単位は 1/10mm
	注記のテキスト	テキスト	テキスト	10	例：6.58
曲率半径引出線（線）	なし				
官民境界杭（点）	なし				
官民境界（線）	なし				
道路標識（点）	キーコード	キーコード	テキスト	10	例：9020205
反射鏡（点）	キーコード	キーコード	テキスト	10	例：9020205
照明灯（点）	キーコード	キーコード	テキスト	10	例：9020205
マンホール（点）	なし				
石段（線）	なし				
人工斜面（線）	なし				
被覆（線）	なし				
法面保護（面）	なし				
法面保護（線）	なし				
ブロック界（面）	番号	番号	テキスト	10	例：032
	名称	名称	テキスト	20	例：篠ノ井南
路線網（線）	路線番号	路線番号	テキスト	10	例：22002
	路線名称	路線名称	テキスト	40	例：篠ノ井南 5 1 2 号線

	道路種別	道路種別	テキスト	20	市道 1 級 市道 2 級 市道その他 市道独立専用自歩道 農道 林道
	未供用種別	未供用種別	数値	1	0 : 供用 1 : 未供用
路線網起終点（点）	路線番号	路線番号	テキスト	10	例 : 22002
	道路種別	道路種別	テキスト	20	市道 1 級 市道 2 級 市道その他 市道独立専用自歩道 農道 林道
	記号の表示方向	角度	数値	4. 2	単位は度 $-90 < \theta \leq 90$
路線網注記（点）	文字の表示方向	角度	数値	4. 2	単位は度 $-90 < \theta \leq 90$
	字の大きさ	字大	数値	5	単位は 1/10mm
	字の間隔	字隔	数値	3	単位は 1/10mm
	注記のテキスト	テキスト	テキスト	10	例 : 22002
旧路線網（線）	路線番号	路線番号	テキスト	10	例 : 22002
	路線名称	路線名称	テキスト	40	例 : 篠ノ井南 5 1 2 号線
	道路種別	道路種別	テキスト	20	市道 1 級 市道 2 級 市道その他 市道独立専用自歩道 農道 林道
	未供用種別	未供用種別	数値	1	0 : 供用 1 : 未供用
旧路線網起終点（点）	路線番号	路線番号	テキスト	10	例 : 22002
	道路種別	道路種別	テキスト	20	市道 1 級 市道 2 級 市道その他 市道独立専用自歩道 農道 林道
	記号の表示方向	角度	数値	4. 2	単位は度 $-90 < \theta \leq 90$
旧路線網注記（点）	文字の表示方向	角度	数値	4. 2	単位は度 $-90 < \theta \leq 90$
	字の大きさ	字大	数値	5	単位は 1/10mm
	字の間隔	字隔	数値	3	単位は 1/10mm
	注記のテキスト	テキスト	テキスト	10	例 : 22002

補正箇所（面）	整理番号	整理番号	テキスト	7	課 CODE (2) + 回数 (2) + 連番 (3)
	枝整理番号	枝番号	テキスト	2	A
	地区	地区	テキスト	10	例：長野南
	補正方針	補正方針	テキスト	50	例：新規認定
未供用注記（点）	文字の表示方向	角度	数値	4.2	単位は度 $-90 < \theta \leq 90$
	字の大きさ	字大	数値	5	単位は 1/10mm
	字の間隔	字隔	数値	3	単位は 1/10mm
	注記のテキスト	テキスト	テキスト	16	例：22202（未供用）
国県道補正箇所（面）	整理番号	整理番号	テキスト	10	例：001
	路線番号	路線番号	テキスト	10	例：034
	路線名称	路線名称	テキスト	30	例：長野菅平線
	道路種別	道路種別	テキスト	20	国道 主要地方道 県道
	補正延長	補正延長	数値	5.1	単位は m 例：134.5
	補正年度	補正年度	テキスト	3	例：H21

※全てのシェープにコードフィールド（code：テキスト型、7桁）が存在する

※注記の起点は左中

※注記はラスターの位置にそのまま入力する。但し図郭線を跨るものについては内側に移動させる

9.4 固定資産要素データ

※固定資産要素データの定義は、原則として『地番現況図・家屋現況図基準マニュアル』（平成16年3月、財団法人資産評価システム研究センター）を参考に、長野市共用空間データとして利用可能な書式とする。

9.4.1 固定資産要素データファイル一覧

N0	分類	名称	レイヤー名 (ShapeFile)	元 データ	整備範囲	属性取得項目
1	筆	固定資産 境界（線）	TochiKyokai _Line	国土調査成果 土地改良成果 区画整理成果 地籍測量図 公図	地番図区域	- 筆境界 - 地番区域 - 境界確定 - 線種 - 元資料 - 決定方法
2		固定資産 筆（面）	TochiHude_Poly	国土調査成果 土地改良成果 区画整理成果 地籍測量図 公図	地番図区域	- 所在地番文字列 - 旧農基用所在地番文字列 - 農基用所在地番文字列 - 特殊地番 - 眼鏡地番 - 二重地番 - 土地台帳 - 課税分割
3		固定資産 地番（線）	TochiChiban_Line	国土調査成果 土地改良成果 区画整理成果 地籍測量図 公図	地番図区域	- 所在地番文字列 - 図面表示用地番 - 特殊地番 - 眼鏡地番 - 二重地番 - 土地台帳 - 課税分割
4	家屋	固定資産 家屋番号（線）	KaokuNo_Line	家屋評価図	市全域	- 建物ID - 所在地番文字列 - 図面表示用棟番号 - 家屋更新 - 更新年月日 - 課税区分 - 眼鏡家屋 - 二重番号 - 家屋台帳

9.4.2 属性項目

筆

名称	属性項目	項目名称	データ型	桁数	備考
固定資産境界 (線)	筆レベルの境界フラグ	筆境界	数値	1	1: 使われる 2: 使われない
	地番区域レベルの境界フラグ	地番区域	数値	1	1: 使われる 2: 使われない
	境界確定フラグ	境界確定	数値	1	1: 使われる 2: 使われない
	線種	線種	数値	6	110010～190020 境界を分類した線種コード
	元資料	元資料	数値	2	11～99 位置を決定するにあたって参考にした資料の種類番号
	決定方法	決定方法	数値	2	10～30 元資料と、決定された位置の比較結果番号
固定資産筆 (面) 1 / 2	図上の所在地番文字列	地番文字列	テキスト	30	「所在地」+「/」+「本番」+「-」+「枝番」+「分離(前0あり)」 例: 0101/2-1 例: 4401/8402-1-01
	旧農地基本台帳用の所在地番文字列	地番農地用	テキスト	30	「所在地(前0なし)」+「/」+「本番」+「-」+「枝番」+「分離」 例: 101/2-1-0 (SEQなし:0) 例: 4401/8402-1-1 (SEQあり)
	農地基本台帳用の所在地番文字列	地番農基用	テキスト	30	「所在地(前0あり)」+「/」+「本番」+「-」+「枝番」 ※本番のみの場合、本番のみとし「-0-」を含めない。 例: 0101/2-1
	大字名	所在地名	テキスト	20	全角文字列 例: 大字鶴賀
	所在地コード	所在地	テキスト	4	例: 0101 例: 4405
	地番	地番	テキスト	13	本番と枝番をハイフンでつなげた文字列 例) 1-1, 道
	本番	本番	テキスト	5	前ゼロを外す 例) 1234
	枝番	枝番	テキスト	5	空白を詰める 例) 1□□□□
	物件所在地分離	分離	テキスト	2	評価上で区分した固有番号(半角英数字)
	義務者住所	義務者住所	テキスト	150	住所と方書を全角スペースでつなげた全角文字列 先頭から 75 文字まで有効
	義務者氏名	義務者氏名	テキスト	100	全角文字列 先頭から 50 文字まで有効
	登記地目	登記地目	テキスト	3	コードのまま
	課税地目	課税地目	テキスト	3	コードのまま
	登記地積	登記地積	数値	10.2	
	課税地積	課税地積	数値	10.2	

固定資産筆 (面) 2 / 2	特殊地番フラグ	特殊地番	数値	2	1: 特殊地番 2: 特殊地番でない (例) 道、水、無地番、etc
	眼鏡地番フラグ	眼鏡地番	数値	2	1: 眼鏡地番 2: 眼鏡地番でない (連続しない複数領域が同じ 評価用地番であり登記上1個 の土地として扱われるもの)
	二重地番フラグ	二重地番	数値	2	1: 二重地番 2: 二重地番でない (連続しない複数領域が同じ 評価用地番をもち眼鏡地とは 明らかに異なるもの)
	土地台帳照合フラグ	土地台帳	数値	2	1: 土地台帳と一致 2: 土地台帳と一致しない
	課税分割地番フラグ	課税分割	数値	2	1: 課税分割地番 2: 課税分割地番でない (課税分割に該当しない筆の 登記地番) 3: 課税分割地番でない (課税分割に該当する筆の登 記地番)
固定資産地番 (線)	図上の所在地番文字列	地番文字列	テキスト	30	固定資産筆(面)の同属性項目 と同じ
	図上の表示用地番 (兼図面表示用)	表示用地番	テキスト	20	図面表示用の地番としても用 いる 課税分割でない: 「本番」+「枝番」 (例) 2-1、1573-8 課税分割である: 「本番」+「枝番」+「分離(前 0あり)」 (例) 2-1-01、1573-8-02
	特殊地番フラグ	特殊地番	数値	2	固定資産筆(面)の同属性項目 と同じ
	眼鏡地番フラグ	眼鏡地番	数値	2	固定資産筆(面)の同属性項目 と同じ
	二重地番フラグ	二重地番	数値	2	固定資産筆(面)の同属性項目 と同じ
	土地台帳照合フラグ	土地台帳	数値	2	固定資産筆(面)の同属性項目 と同じ
	課税分割地番フラグ	課税分割	数値	2	固定資産筆(面)の同属性項目 と同じ

家屋（建物）

名称	属性項目	項目名称	データ型	桁数	備考
固定資産 家屋番号 （線）	建物 I D	I D	数値	9	共用建物（面）の同属性項目と同じ
	図上の所在地番文字列	地番文字列	テキスト	30	共用建物（面）の同属性項目と同じ
	図上の表示用棟番号 （兼図面表示用）	表示用棟番	テキスト	20	図面表示用の棟番号としても用いる 「本番」＋「－」＋「合併（G）」 ＋「枝番」＋「－」＋「棟番（前 0 なし）」 合併あり：例：6-G1-1 合併なし：例：7579-I-2
	家屋更新フラグ	家屋更新	数値	2	共用建物（面）の同属性項目と同じ
	更新年月日	更新年月日	日付		図形または内部属性の更新年月日、賦課期日（1/1）をセット
	課税区分フラグ	課税区分	数値	2	共用建物（面）の同属性項目と同じ
	眼鏡家屋フラグ	眼鏡家屋	数値	2	共用建物（面）の同属性項目と同じ
	二重番号フラグ	二重番号	数値	2	共用建物（面）の同属性項目と同じ
	家屋台帳照合フラグ	家屋台帳	数値	2	共用建物（面）の同属性項目と同じ

9.4.3 データ定義

固定資産要素データファイル 筆

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
TochiKyokai _Line	固定資産境界（線）	ライン			

○固定資産境界（線）

1. 土地不動産登記簿に登記された一件の土地の領域線を基本単位とする。
2. 固定資産評価基準において、利用状況から一件の土地を区分して評価する必要がある場合は、その領域線も基本単位とする。（課税分割線を含む筆）
3. 線種コード、元資料コード、決定コードは、以下の通りである。

線種コード	元資料コード	決定コード
110010 都道府県界	11 国土調査デジタル	10 元資料と相違なし
110020 支庁界	12 土地改良デジタル(公共測量座標)	20 元資料と相違あり
110030 市町村界	13 区画整理デジタル(公共測量座標)	30 元資料と比較不能
110040 区界	14 地積測量図(公共測量座標)	
110050 支所界	22 土地改良デジタル(公共測量座標以外)	
110060 大字・町丁目界	23 区画整理デジタル(公共測量座標以外)	
110070 小字	31 国土調査アナログ	
110080 地区界	32 土地改良アナログ	
110100 筆界	33 区画整理アナログ	
110110 筆界未定界	34 地積測量図アナログ	
110120 評価分割線	45 公図	
190020 作業区域界	46 評価分割資料	
	99 その他・筆界未定	

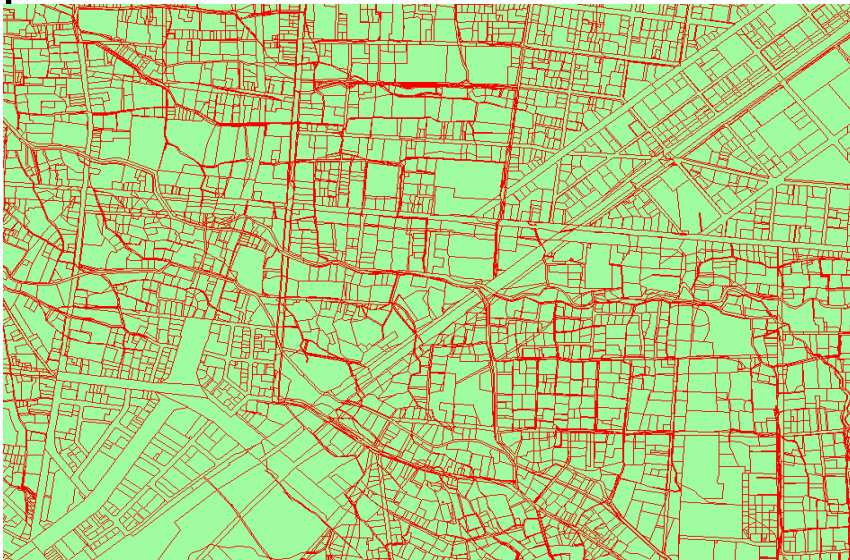


固定資産要素データファイル 筆

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
TochiHude_Poly	固定資産筆（面）	ポリゴン			

○固定資産筆（面）

1. 土地不動産登記簿に登記された一件の土地の領域を基本単位とする。
2. 固定資産評価基準において、利用状況から一件の土地を区分して評価する必要がある場合は、その領域も基本単位とする。（課税分割線を含む筆）
3. 土地台帳データとKEYとなる情報は、地番文字列とする。
4. 旧農地基本台帳データとKEYとなる情報は、地番農地用とする。
5. 農地基本台帳データとKEYとなる情報は、地番農基用とする。
6. 土地マスタから抜粋した項目の情報を属性に付加する。

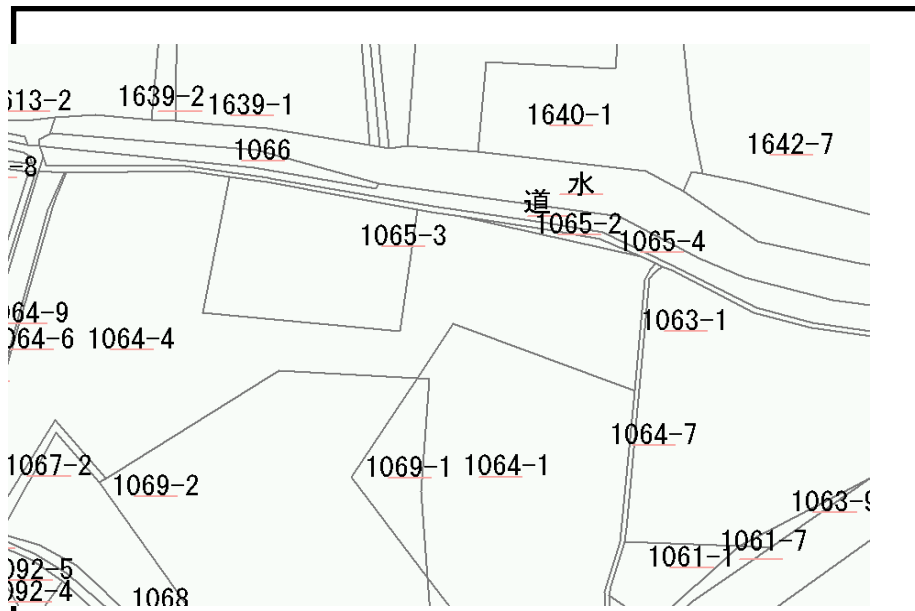


固定資産要素データファイル 筆

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
TochiChiban_Line	固定資産地番（線）	ライン			

○固定資産地番（線）

1. 土地不動産登記簿に登記された一件の土地の番号を基本単位とする。
2. 固定資産評価基準において、利用状況から一件の土地を区分して評価する必要がある場合は、その番号も基本単位とする。（課税分割による地番）
3. 土地台帳データとKEYとなる情報は、所在地番とする。
4. 通常、地番として使用する情報は、表示文字列とする。

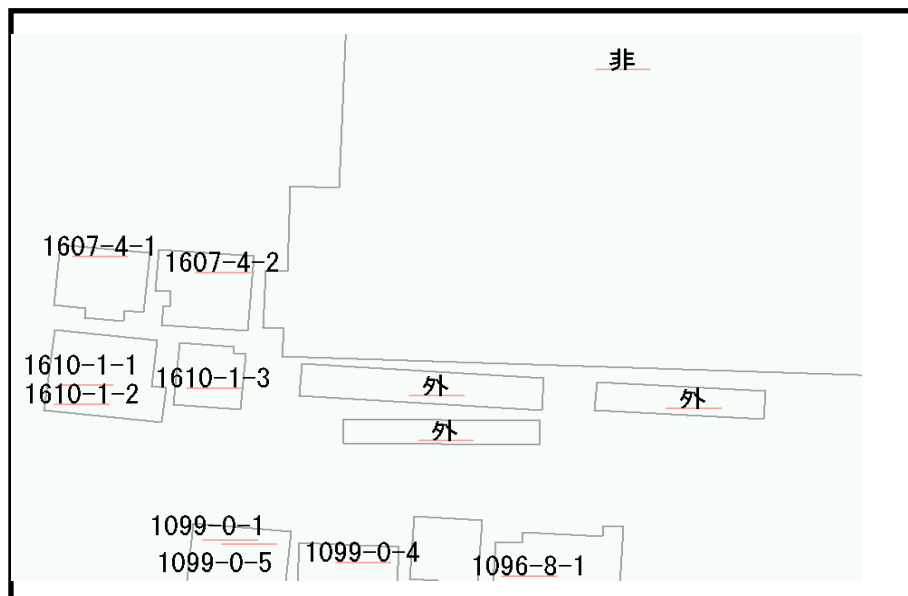


固定資産要素データファイル 家屋

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
KaokuNo_Line	固定資産家屋番号（線）	ライン			

○固定資産家屋番号（線）

- 1/2, 500DM の取得データと固定資産評価基準で家屋として認定した建物の領域データが混在するものを基本単位とする。
- 建物を一意に識別できるIDを付番する。
- 家屋台帳データとKEYとなる情報は、家屋所在番号とする。
- 通常、家屋棟番号として使用する情報は、表示文字列とする。
- 家屋棟番号は、建物の内側に表示することを原則とする。
- 更新事由を建物更新フラグとし、滅失した建物についてもデータを残す形とする。



9.5 表札情報データ

表札情報データは大きく分けて検索用データ、地図表示用データの2種類がある。

各データの関係性を以下に示す。

No	検索内容	検索用データ	地図表示用データ	原典	備考
1	目標物検索	目標物検索用データ	・市有施設等 ・消防局目標物 ・医療機関 ・生活衛生施設 ・金融機関 ・国・県等の施設 ・橋・トンネル名称 ・地域公民館 ・バス停	・目標物対象市有施設等一覧 ・消防指令システムデータ(目標物) ・医療機関データ ・保健所食品生活衛生課 食品環境衛生総合情報システム 事業者管理台帳エクスポートデータ ・金融機関一覧 ・国、県機関等の施設一覧など (各施設のホームページを元に作成) ・道路台帳要素(橋・トンネル注記) ・DM注記(国道、主要地方道・県道の 橋、トンネル注記) ・地域公民館 ・バス停データ	・目標物名称、分類による検索に使用。 - 個別に表示非表示の切り替えを可能にするため地図表示用データは原典毎に分ける。
2	住所検索	住所検索用データ	・世帯主名注記	・住民記録データ ・住居表示台帳図の号データ ・市有施設等 ・医療機関 ・生活衛生施設 ・金融機関 ・国・県等の施設 ・地域公民館 ・住居表示台帳図のフロンテージ番号 (基礎番号)	・大字町丁名、番地、号での検索に使用。 ・世帯主名を注記表示する。 - 集合住宅は集合住宅名を注記表示。 ・世帯名注記と住民記録データとはリンクする。
3	地番検索	地番検索用データ	・固定資産筆 ・固定資産地番	・固定資産筆 ・固定資産地番	・地番図の大字町丁名、本番、枝番での検索に使用。 ・地図表示用レイヤは固定資産要素の固定資産筆、固定資産地番を指す。
4	電話番号検索	電話番号検索用データ	-	・タウンページ	・名称、電話番号での検索に使用。 ・「電話番号検索用データ」はポイントデータとして作成するが、地図上での注記表示は行わない。

9.5.1 表札情報データファイル一覧
シェープファイル

NO	分類	名称	レイヤー名 (ShapeFile)	元データ	整備 範囲	属性取得項目
1	住民記録データ	住民記録データ	JUUKI	・住民記録 データ	市全域	・世帯番号 ・個人番号 ・郵便番号 ・現住所 ・方書 ・世帯主氏名 ・個人名カナ ・個人氏名 ・性別、生年月日 ・続柄 ・住所 CD ・番地、号 ・住民日 ・不明分類フラグ ・X、Y、住民情報 CD
2		住民記録データ (世帯主)	JUUKI_Setai	・住民記録 データ	市全域	・世帯番号 ・個人番号 ・郵便番号 ・現住所 ・方書 ・世帯主氏名 ・個人名カナ ・個人氏名 ・性別 ・生年月日 ・続柄 ・住所 CD ・番地、号 ・住民日 ・不明分類フラグ ・X、Y、住民情報 CD
3	検索用データ	目標物検索用 データ	SEARCH_MOKUHY 0	以下の原典データを加工 結合する ・市有施設等 ・消防指令システム ・医療機関 ・生活衛生課 ・金融機関 ・国・県等の施設 ・橋・トンネル名称 ・地域公民館 ・バス停	市全域	・分類 CD (大中小) ・目標物名称 ・住所 ・電話番号 ・通称名、管内 CD ・カナ、英語名 ・英語住所、通称名カナ ・AED、公開、URL ・元データ ・X、Y
4		住所検索用 データ	SEARCH_JYUSHO	以下の原典データを加工 結合する。 ・住民記録データ ・市有施設等 ・医療機関 ・生活衛生施設 ・金融機関 ・国・県等の施設 ・住居表示台帳図の号 ・地域公民館 ・住居表示台帳図の フロンテージ番号 (基礎番号)	市全域	・住所検索 CD ・名称 ・番地 ・号 ・X、Y
5		地番検索用デ ータ	SEARCH_CHIBAN	・固定資産筆 ・固定資産地番	市全域	・所在地 CD ・本番、枝番 ・X、Y
6		電話番号検索 データ	SEARCH_DENWA	・タウンページ	市全域	・電話番号 ・名称 ・X、Y

NO	分類	名称	レイヤー名 (ShapeFile)	元データ	整備 範囲	属性取得項目
7	地図表示用 データ	世帯主名注記	SETAI_CYUKI	・住民記録 データ	市全域	・住所 CD ・番地、号 ・注記 ・住民情報 CD ・X、Y
8		市有施設等	SIYU	・目標物対象 市有施設等一覧	市全域	・目標物 ID ・名称 ・分類 CD（大中小） ・所管課 ・住所検索 CD、番地、号、 方書 ・電話番号、カナ ・英語名、英語住所 ・通称名、通称名カナ ・AED、公開、URL、備考 ・経度、緯度、住所検索外 ・市役所支所
9		消防局目標物	SYOBO	・消防指令 システム データ (目標物)	市全域	・目標物 ID ・名称 ・分類 CD（大中小） ・目標物分類、カナ ・英語名 ・AED、公開、URL
10		医療機関	IRYO	・医療機関 データ	市全域	・目標物 ID ・名称 ・所在地 ・住所検索 CD、番地、号、 方書 ・医療法人名 ・分類 CD（大中小） ・医療施設番号 ・区分 ・電話番号、医療科目 ・AED、公開、URL
11		生活衛生施設	SEIKATUEISE	保健所食品生活衛生 課食品環境衛生総合 情報システム (事業者管理台帳)	市全域	・目標物 ID ・名称、所在地 ・住所検索 CD、 ・番地、 ・号 ・方書 ・分類 CD（大中小） ・台帳種類
12		金融機関	KINYU	・金融機関一覧	市全域	・目標物 ID、名称 ・分類 CD（大中小） ・金融機関番号、店番号 ・所在地 ・住所検索 CD、番地、号、 方書 ・電話番号、カナ ・英語名 ・英語住所 ・AED、公開、URL

N0	分類	名称	レイヤー名 (ShapeFile)	元データ	整備 範囲	属性取得項目
13	地図表示用 データ	国・県等の施設	Kenkuni	・国、県機関等の 施設一覧 (DM注記資料)	市全域	・目標物 ID ・名称 ・分類 CD (大中小) ・住所検索 CD、番地、号、 方書 ・電話番号、カナ ・英語名 ・英語住所 ・通称名、通称名カナ ・AED、公開、URL、備考
14		橋トンネル名称	HasiToneru	・道路台帳要素 ・DM注記(国道、主要 地方道・県道の橋、トン ネル注記)	市全域	・目標物 ID ・名称 ・分類 CD (大中小) ・区分 ・原典 ・公開
15		地域公民館	CHIIKIKOUMINK AN	・地域公民館データ	市全域	・目標物 ID ・通し番号、コード ・担当市立公民館 ・地域公民館名称 ・名称、所在地 ・分類 CD (大中小) ・住所検索 CD、番地、号 ・地域公民館カナ ・カナ ・AED、公開、URL、備考
16		バス停	Bustei	・バス停データ	市全域	・目標物 ID ・名称 ・分類 CD (大中小) ・目標物分類、カナ ・英語名 ・AED、公開、URL ・経度、緯度

9.5.2 属性項目

住民記録データ及び住民記録データ（世帯主）

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
住民記録データ 及び 住民記録データ （世帯主）	ID	ID	数値	10	一意の識別ID
	住民記録データの世帯番号	世帯番号	テキスト	10	
	住民記録データの個人番号	個人番号	テキスト	8	
	住民記録データの郵便番号1と2をハイフンでつなげたもの	郵便番号	テキスト	9	
	住民記録データの現住所	現住所	テキスト	50	
	住民記録データの方書	方書	テキスト	100	
	住民記録データ世帯主氏名	世帯主氏名	テキスト	50	
	住民記録データの個人名カナ	個人名カナ	テキスト	30	
	住民記録データの個人名漢字	個人氏名	テキスト	50	
	住民記録データの性別	性別	数値	10	1：男、2：女
	住民記録データの生年月日	生年月日	テキスト	7	年号コード+YYMMDD 0：慶応 5：令和 1：明治 2：大正 3：昭和 4：平成
	住民記録データの続柄	続柄	テキスト	10	以下の続柄を漢字で表記 世帯主、夫、妻、夫（未婚）、妻（未婚）、子、父、母、兄、弟、姉、妹、縁故者、同居人
	住民記録データの住所CD1とCD2を結合	住所CD	テキスト	4	「住所コード」テーブルとリンク
	住民記録データの番地	番地	テキスト	5	
	住民記録データの号	号	テキスト	10	
	住民記録データの住民日	住民日	テキスト	7	年号コード+YYMMDD 0：慶応 5：令和 1：明治 2：大正 3：昭和 4：平成
	不明分類フラグ	不確定分類	テキスト	30	確定 棟不明 部屋番号不明 方書不一致 住所は一致し、氏名不一致 建物不存在
	X	X	数値	12.3	世界測地（数学系）
	Y	Y	数値	12.3	世界測地（数学系）
	世帯主名注記とのリンクキー	住民情報CD	数値	10	世帯主名注記の「住民情報CD」とリンクする

検索用データ

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
目 標 物 検 索 用 データ	ID	ID	数値	10	各地図表示用データの目標物 IDを入れるが、更新時、振りな おされない ID である。
	大分類 CD	大分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルと リンク
	中分類 CD	中分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルと リンク
	小分類 CD	小分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルと リンク
	目標物名称	目標物名称	テキスト	80	
	通称名	通称名	テキスト	40	通称が存在するもののみ
	住所	住所	テキスト	200	「長野市」、大字名、番地、枝 番をつなげる。元データに入っ ているもののみ入れる。
	電話番号	電話番号	テキスト	30	空欄も存在する 市外局番も入れる ハイフンでつなげる 元データに入っているもの のみ入れる。
	管内の名称	管内 CD	数値	10	管内ポリゴンから付与 「管内コード」テーブルとリンク
	カナ	カナ	テキスト	100	全角のカタカナ
	英語名	英語名	テキスト	200	半角英数字
	英語住所	英語住所	テキスト	200	半角英数字
	通称名カナ	通称名カナ	テキスト	100	全角のカタカナ
	A E D の有無	AED	数値	10	0：不明 1：あり 2：なし
	公開	公開	数値	10	1：庁内及び公開GISで公開 2：庁内のみ公開
	リンク用 URL	URL	テキスト	200	施設の URL を入れる
	元となる データの種類の	元データ	数値	10	1：市有施設等一覧 2：消防指令システム 3：医療機関 4：生活衛生施設 5：金融機関 6：県・国等の施設 7：橋トンネル名称 8：地域公民館 9：バス停
	X	X	数値	12.3	世界測地系（数学系）
	Y	Y	数値	12.3	世界測地系（数学系）

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
住所検索用 データ	ID	ID	数値	10	一意の識別ID
	住所検索 CD	住所検索 CD	テキスト	4	「住所検索用コード」テーブルとリンク
	名称	名称	テキスト	80	目標物施設名称が入る。空のものもある。
	番地	番地	テキスト	5	
	号	号	テキスト	10	
	元データ	元データ	数値	10	1：住民基本台帳 2：市有施設等 3：医療機関 4：生活衛生施設 5. 金融機関 6：県・国等の施設 7：住居表示台帳図の号 8：地域公民館 9：住居表示台帳図の フロンテージ番号(基礎番号)
	X	X	数値	12.3	世界測地（数学系）
	Y	Y	数値	12.3	世界測地（数学系）
地番検索用 データ	ID	ID	数値	10	一意の識別ID
	所在地 CD	所在地 CD	テキスト	4	「所在地コード」テーブルとリンク
	本番	本番	テキスト	10	
	枝番	枝番	テキスト	10	
	X	X	数値	12.3	世界測地（数学系）
	Y	Y	数値	12.3	世界測地（数学系）
電話番号検索 用データ	ID	ID	数値	10	一意の識別 ID
	電話番号	電話番号	テキスト	16	電話番号 ハイフンなし
	名称	名称	テキスト	100	電話帳の掲載名
	X	X	数値	12.3	世界測地系（数学系）
	Y	Y	数値	12.3	世界測地系（数学系）

地図表示用データ

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
世帯主名注記	ID	ID	数値	10	一意の識別 ID
	住民基本台帳の住所 CD1 と CD2 をつなげたもの	住所 CD	テキスト	4	「住所コード」テーブルとリンク
	番地	番地	テキスト	5	
	号	号	テキスト	10	
	世帯主氏名 集合住宅名	注記	テキスト	100	注記として表示する 同じ場所に複数の世帯がある 場合、ポイントは1点とし、「注 記」フィールドに複数世帯主氏 名を改行コードでつなげて入 れる。
	住民記録データとのリンク キー	住民情報 CD	数値	10	住民記録データ、住民記録デー タ（世帯主）の「住民情報 CD」 とリンク
	X	X	数値	12.3	世界測地（数学系）
	Y	Y	数値	12.3	世界測地（数学系）

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
市有施設等	ID	ID	数値	10	一意の識別 ID
	目標物 ID	目標物 ID	数値	10	データの更新があっても振り直されない ID。追加する際は20000 番台とする。
	施設名称	名称	テキスト	80	注記として表示する
	大分類 CD	大分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	中分類 CD	中分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	小分類 CD	小分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	所管課	所管課 CD	テキスト	10	「所属課コード」テーブルとリンク
	住所検索 CD	住所検索 CD	テキスト	4	「住所検索用コード」テーブルとリンク
	番地	番地	テキスト	5	半角数字
	号	号	テキスト	10	半角数字あるいは半角文字
	方書	方書	テキスト	50	ビル名等
	電話番号	電話番号	テキスト	30	空欄も存在する 市外局番も入れる
	施設名カナ	カナ	テキスト	100	全角のカタカナ
	英語名	英語名	テキスト	200	半角英数字
	英語住所	英語住所	テキスト	200	半角英数字
	通称名	通称名	テキスト	40	通称が存在するもののみ 全角
	通称名カナ	通称名カナ	テキスト	60	通称が存在するもののみ 全角のカタカナ
	A E Dの有無	AED	数値	10	0：不明、1：あり、2：なし
	公開	公開	数値	10	1：庁内、公開GIS及びオープンデータで公開 2：庁内のみ公開
	リンク用 URL	URL	テキスト	200	施設の URL を入れる
	備考	備考	テキスト	200	
	経度	経度	数値	18.10	地理座標系
	緯度	緯度	数値	18.10	地理座標系
	住所検索対象外	住所検索外	数値	10	0：対象、1：対象外
	市役所・支所	市役所支所	数値	10	0：対象外、1：対象

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
消防局目標物	ID	ID	数値	10	一意の識別 ID
	目標物 ID	目標物 ID	数値	10	30000 番台の一意の識別 ID を入れる。
	消防指令システムデータ (目標物)の目標物名称	名称	テキスト	50	注記表示用
	大分類 CD	大分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	中分類 CD	中分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	小分類 CD	小分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	消防指令システムデータの 目標物分類コード	目標物分類	数値	10	7: マンション・共同住宅 15: 駅 19: 寺院・神社 25: ビル 30: 池 33: 交差点 37: 学校
	カナ	カナ	テキスト	100	全角のカタカナ
	英語名	英語名	テキスト	200	半角英数字
	A E Dの有無	AED	数値	10	0: 不明 1: あり 2: なし
	公開	公開	数値	10	1: 庁内及び公開GISで公開 2: 庁内のみ公開
	リンク用 URL	URL	テキスト	200	施設の URL を入れる
医療機関	ID	ID	数値	10	一意の識別ID
	目標物 ID	目標物 ID	数値	10	データの更新があっても振り直されないID。追加する際40000番台とする。
	名称	名称	テキスト	80	注記表示用
	所在地	所在地	テキスト	70	元データと同じ表記
	住所検索 CD	住所検索 CD	テキスト	4	「住所検索用コード」テーブルとリンク
	番地	番地	テキスト	5	半角数字
	号	号	テキスト	10	半角数字あるいは半角文字
	方書	方書	テキスト	50	ビル名等
	医療法人名	医療法人名	テキスト	50	
	大分類 CD	大分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	中分類 CD	中分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	小分類 CD	小分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	台帳にある医療施設番号	医療施設 NO	テキスト	9	

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
医療機関	区分	区分	テキスト	10	以下の文字列を入れる。 ・ 歯科診療所 ・ 診療所 ・ 病院
	電話番号	電話番号	テキスト	13	空欄も存在する 市外局番も入れる ハイフンでつなげる 例：026-222-2222
	診療科目	診療科目	テキスト	254	「内外歯」など省略した文字で 表記
	機関名カナ	カナ	テキスト	100	台帳の機関名カナを入れる 全角のカタカナ
	A E Dの有無	AED	数値	10	0：不明 1：あり 2：なし
	公開	公開	数値	10	1：庁内及び公開GISで公開 2：庁内のみ公開
	リンク用 URL	URL	テキスト	200	機関の URL を入れる
生活衛生施設	ID	ID	数値	10	一意の識別ID
	目標物 ID	目標物 ID	数値	10	50000番台の一意的識別IDを入 れる。
	営業所名称	名称	テキスト	150	注記表示用
	所在地	所在地	テキスト	100	元データと同じ表記
	住所検索 CD	住所検索 CD	テキスト	4	「住所検索用コード」テーブル とリンク
	番地	番地	テキスト	5	半角数字
	号	号	テキスト	10	半角数字あるいは半角文字
	方書	方書	テキスト	50	ビル名等
	大分類 CD	大分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	中分類 CD	中分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	小分類 CD	小分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	台帳の種類	台帳種類	テキスト	18	元データのファイルの種類よ り、以下の文字列を入れる。 ・ クリーニング一般 ・ クリーニング取次店 ・ 興行場 ・ 公衆浴場 ・ 食品営業 ・ 美容院 ・ 理容室 ・ 旅館業
	公開	公開	数値	10	1：庁内及び公開GISで公開 2：庁内のみ公開

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
金融機関	ID	ID	数値	10	一意の識別ID
	目標物 ID	目標物 ID	数値	10	データの更新があっても振り直されないID。追加する際は60000番台とする。
	施設名称	名称	テキスト	80	・注記として表示する ・金融機関一覧の金融機関名と店舗名の組合せ。但し、ゆうちょ銀行は店舗名のみ
	所在地	所在地	テキスト	70	元データと同じ表記
	住所検索 CD	住所 CD	テキスト	4	「住所検索用コード」テーブルとリンク
	番地	番地	テキスト	5	半角数字
	号	号	テキスト	10	半角数字あるいは半角文字
	方書	方書	テキスト	50	ビル名等
	大分類 CD	大分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	中分類 CD	中分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	小分類 CD	小分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	金融機関番号	金融機関 No	テキスト	4	金融機関番号
	店番号	店番号	テキスト	6	店番号
	電話番号	電話番号	テキスト	13	金融機関一覧の電話番号を入れる。市外局番も入れる
	カナ	カナ	テキスト	100	全角のカタカナ
	英語名	英語名	テキスト	200	半角英数字
	英語住所	英語住所	テキスト	200	半角英数字
	A E Dの有無	AED	数値	10	0：不明 1：あり 2：なし
	公開	公開	数値	10	1：庁内及び公開GISで公開 2：庁内のみ公開
	リンク用 URL	URL	テキスト	200	機関の URL を入れる

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
国・県等の施設	ID	ID	数値	10	一意の識別ID
	目標物 ID	目標物 ID	数値	10	データの更新があっても振り直されないID。追加する際は70000番台とする。
	施設名称	名称	テキスト	80	注記として表示する
	大分類 CD	大分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	中分類 CD	中分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	小分類 CD	小分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	所在地	所在地	テキスト	70	元データと同じ表記
	住所検索 CD	住所検索 CD	テキスト	4	「住所検索用コード」テーブルとリンク
	番地	番地	テキスト	5	半角数字
	号	号	テキスト	10	半角数字あるいは半角文字
	方書	方書	テキスト	50	ビル名等
	電話番号	電話番号	テキスト	13	空欄も存在する 市外局番も入れる
	施設名カナ	カナ	テキスト	100	全角のカタカナ
	英語名	英語名	テキスト	200	半角英数字
	英語住所	英語住所	テキスト	200	半角英数字
	通称名	通称名	テキスト	40	全角
	通称名カナ	通称名カナ	テキスト	60	全角のカタカナ
	A E Dの有無	AED	数値	10	0：不明 1：あり 2：なし
	公開	公開	数値	10	1：庁内及び公開GISで公開 2：庁内のみ公開
	リンク用 URL	URL	テキスト	200	施設の URL を入れる
	備考	備考	テキスト	200	

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
橋トンネル 名称	ID	ID	数値	10	一意の識別ID
	目標物 ID	目標物 ID	数値	10	80000番台の一意的識別IDを入れる。
	施設名称	名称	テキスト	80	注記として表示する
	大分類 CD	大分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	中分類 CD	中分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	小分類 CD	小分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	トンネル、橋梁区分	区分	数値	10	1：トンネル 2：橋梁
	原典資料	原典	数値	10	1：道路台帳要素 2：DM注記
	公開	公開	数値	10	1：庁内及び公開GISで公開 2：庁内のみ公開
地域公民館	ID	ID	数値	10	一意の識別ID
	目標物 ID	目標物 ID	数値	10	データの更新があっても振り直されないID。追加する際は90000番台とする。
	建物施設名称	名称	テキスト	80	注記表示用
	住所検索 CD	住所検索 CD	テキスト	4	「住所検索用コード」テーブルとリンク
	番地	番地	テキスト	5	半角数字
	号	号	テキスト	10	半角数字あるいは半角文字
	大分類 CD	大分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	中分類 CD	中分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	小分類 CD	小分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	通し番号	通し番号	数値	10	
	コード	コード	数値	10	
	担当市立公民館	担当公民館	テキスト	40	
	地域公民館名称	地域公民館	テキスト	40	
	建物所在地	所在地	テキスト	70	元データと同じ表記

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
地域公民館	地域公民館カナ	地域カナ	テキスト	60	
	建物施設カナ	カナ	テキスト	100	
	A E Dの有無	AED	数値	10	0：不明 1：あり 2：なし
	公開	公開	数値	10	1：庁内及び公開GISで公開 2：庁内のみ公開
	リンク用 URL	URL	テキスト	200	機関の URL を入れる
	備考	備考	テキスト	200	
バス停	ID	ID	数値	10	一意の識別ID
	目標物 ID	目標物 ID	数値	10	100000番台の一意の識別IDを入れる。
	バス停名称	名称	テキスト	100	注記表示用
	大分類 CD	大分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	中分類 CD	中分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	小分類 CD	小分類 CD	数値	10	「目標物コード」テーブルとリンク
	消防指令システムデータの 目標物分類コード	目標物分類	数値	10	36：バス停
	カナ	カナ	テキスト	100	全角のカタカナ
	英語名	英語名	テキスト	200	半角英数字
	A E Dの有無	AED	数値	10	0：不明 1：あり 2：なし
	公開	公開	数値	10	1：庁内及び公開GISで公開 2：庁内のみ公開
	リンク用 URL	URL	テキスト	200	施設の URL を入れる
	経度	経度	数値	18.10	地理座標系
	緯度	緯度	数値	18.10	地理座標系

9.4.3 データ定義

表札情報データファイル 住民記録データ

ファイル名	名 称	位置精度	－	取得基準	－
JUUKI	住民記録データ	ポイント ポイント			
JUUKI_SETAI	住民記録データ（世帯主）				
○住民記録データ 1. 住民記録データの「現住所」をもとに固定資産の筆や家屋、住居表示台帳図データなどを使ったアドレスマッチング処理及び目視確認により位置を特定するものとする。 2. 属性情報は住民記録データから取得する。 3. 住民記録データの全件分が入ったポイントデータである。 4. 属性項目「住民情報 CD」で地図表示データ「世帯主名注記」とリンク付けされる。 ○住民記録データ（世帯） 1. 住民記録データから世帯主のみ抽出したものである。					

表札情報データファイル 検索用データ

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
SEARCH_MOKUHYO	目標物検索用データ	ポイント			
SEARCH_JYUSHO	住所検索用データ	ポイント			
SEARCH_CHIBAN	地番検索用データ	ポリゴン			
SEARCH_DENWA	電話番号検索用データ	ポイント			
○目標物検索用データ 1. 以下の地図表示用データを結合、加工して作成する。 ・市有施設等 ・消防指令システム ・医療機関 ・生活衛生施設 ・金融機関 ・国・県等の施設 ・橋・トンネル名称 ・地域公民館 ・バス停 ○住所検索用データ 1. 以下のデータの位置情報、名称、住所コード、番地、号、方書の情報を取り出し、結合して作成する。（住居表示台帳データの号、基礎番号には名称は入らない） ・住居表示台帳データの号 ・住民記録データ ・市有施設等 ・医療機関 ・生活衛生施設 ・金融機関 ・国・県等の施設 ・地域公民館 ・住居表示台帳データのフロンテージ番号(基礎番号) 2. 名称や住所が重複するレコードも許可する。 ○地番検索用データ 固定資産の筆（面）を検索用に加工し作成する。 ○電話番号検索用データ N T T の「タウンページ」を検索用に加工し作成する。					

表札情報データファイル 地図表示用データ 1

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
SETAI_CYUKI	世帯主名注記	ポイント			

○世帯主名注記

1. 住民記録データの「現住所」を基に固定資産の筆や家屋、住居表示台帳図データなどを使ったアドレスマッチング処理及び目視確認により位置を特定するものとする。
2. 属性項目「注記」には地図上に表示する文字を格納する。住民記録データにある「世帯主氏名」を入れるものとするが、集合住宅は、「住民記録データの方書」や「住所表示担当が管理する方書一覧」、「消防局目標物データ」を元に集合住宅名を入れるものとする。
3. 1箇所複数世帯が存在する場合は、図形は1点とし、属性項目「注記」には複数の世帯主氏名を改行コードで繋げて入れるものとする。集合住宅の場合は集合住宅名を入れるものとする。
4. ポイントの位置はDMの建物の概ね中心とする。
5. 属性項目「住民情報CD」と住民記録データ、住民記録データ（世帯主）の「住民情報CD」とリンク付けされるものとする。



表札情報データファイル 地図表示用データ 2

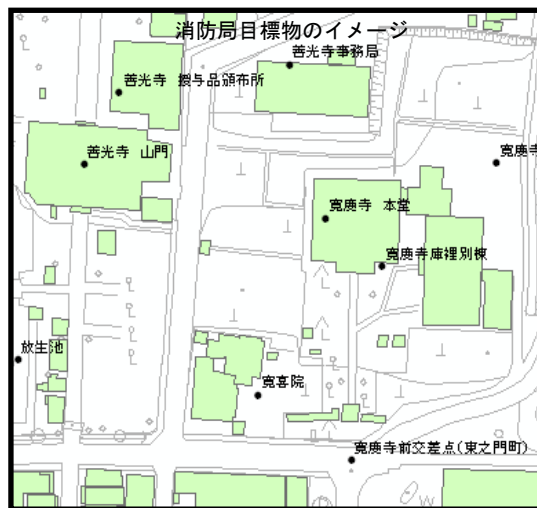
ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
SIYU	市有施設等	ポイント			
SYOB0	消防局目標物				

○市有施設等

1. 「目標物対象市有施設等一覧」の住所を基に固定資産の筆や家屋、住居表示台帳図データなどを使ってのアドレスマッチング処理及び、各種資料を使っての目視確認により位置を特定するものとする。
 2. 属性情報については「目標物対象市有施設等一覧」から取得する。
 3. ポイントの位置は建物の概ね中心とする。建物がない施設など状況によっては敷地の概ね中心とする。
- * 「目標物対象市有施設等一覧」とは長野市が作成した目標物対象とする市の施設の一覧である。

○消防局目標物

1. 消防局目標物データから「マンション・共同住宅」、「寺院・神社」、「ビル」、「池」、「交差点」を抽出し、作成する。
 2. 「消防局目標物データ」にある座標値をポイントに展開するものとする。
 3. 属性情報は「消防局目標物データ」から取得する。
- * 「消防局目標物データ」は消防指令システムデータのうち目標物をCSV形式にエクスポートしたデータである。



表札情報データファイル 地図表示用データ 3

表化情報 / ファイル / 地図表示用 / 表

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
IRYO	医療機関	ポイント			
SEIKATUEISE	生活衛生施設				
KINYU	金融機関				

○医療機関

1. 保健所が所管する「医療機関」データから項目等を加工し、作成する。

○生活衛生施設

1. 「食品生活衛生課の事業者管理台帳データ」の住所を基に固定資産の筆や家屋、住居表示台帳図データなどを使ってのアドレスマッチング処理及び、各種資料を使っての目視確認により位置を特定するものとする。

2. 属性情報については「食品生活衛生課の事業者管理台帳データ」から取得する。

3. ポイントの位置は建物の概ね中心とする。

*「食品生活衛生課の事業者管理台帳データ」とは「保健所食品生活衛生課食品環境衛生総合情報システム」から「Microsoft Excel」の形式にエクスポートされたデータである。

ファイルは「営業許可台帳」、「クリーニング」、「興行場」、「公衆浴場」、「美容院」、「理容室」、「旅館業」の7種類存在する。

○金融機関

1. 会計課が管理している「市内金融機関店舗一覧」の住所を基に固定資産の筆や家屋、住居表示台帳図データなどを使ってのアドレスマッチング処理及び、各種資料を使った目視確認により位置を特定するものとする。

2. 属性情報については「市内金融機関店舗一覧」から取得する。

3. ポイントの位置は建物の概ね中心とする。

表札情報データファイル 地図表示用データ 4

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
KENKUNI	国・県等の施設	ポイント			
HASITONERU	橋・トンネル名称	ポイント			
CHIHIKIKOUMINKAN	地域公民館	ポイント			
BUSTEI	バス停	ポイント			

○国・県等の施設

1. 国・県の機関、警察署、県営住宅、インタ・SA を対象とする。
2. 各施設のホームページを原典とする。
3. 原典に記載の住所を基に固定資産の筆や家屋、住居表示台帳図データなどを使ってのアドレスマッチング処理及び各種資料を使った目視確認により位置を特定するものとする。
4. ポイントの位置は建物の概ね中心とする。建物がない施設など状況によっては敷地の概ね中心とする。

○橋・トンネル名称

道路台帳要素の橋、トンネル注記及びDM注記（表現分類コード 8125 と 8126）の国県道、主要地方道の橋、トンネル名称を抽出し作成する。

○地域公民館

家庭・地域学びの課が所管する「地域公民館データ」から項目を加工して作成する。

○バス停

交通政策課が所管する「バス停」データから項目を加工して作成する。

国・県等の施設のイメージ



9.6 住居表示台帳図データ

9.6.1 住居表示台帳図データファイル一覧

NO	分類	名称	レイヤー名 (ShapeFile)	元データ	整備範囲	属性取得項目
16	住居表示台帳 図データ	玄関	Genkan	住居表示 台帳図	住居表示 実施区域	・町丁目名 ・住所コード ・街区番号
17		動線	Dosen	住居表示 台帳図	住居表示 実施区域	・町丁目名 ・住所コード ・街区番号
18		フロンテージ ライン	Frontage_L	住居表示 台帳図	住居表示 実施区域	・町丁目名 ・住所コード ・街区番号
19		フロンテージ 区切	Frontage_P	住居表示 台帳図	住居表示 実施区域	・町丁目名 ・住所コード ・街区番号
20		フロンテージ 番号	Frontage_T	住居表示 台帳図	住居表示 実施区域	・町丁目名 ・住所コード ・街区番号 ・フロンテージ番号 ・フロンテージ枝番
21		号	Go	住居表示 台帳図	住居表示 実施区域	・町丁目名 ・住所コード ・街区番号 ・号 ・付定年月日 ・備考 ・氏名
22		棟割線	Munewar i	住居表示 台帳図	住居表示 実施区域	・町丁目名 ・住所コード ・街区番号
23		住居表示建物	JyukyoHouse	住居表示 台帳図	住居表示 実施区域	・町丁目名 ・住所コード ・街区番号
24		眼鏡線	Megane	住居表示 台帳図	住居表示 実施区域	・町丁目名 ・住所コード ・街区番号

9.6.2 属性項目

住居表示台帳図データ

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
玄関	町丁目名	町丁目名	テキスト	20	
	住所コード	住所 CD	テキスト	4	「住所コード」テーブルとリンク
	街区番号	街区番号	数値	3	
動線	町丁目名	町丁目名	テキスト	20	
	住所コード	住所 CD	テキスト	4	「住所コード」テーブルとリンク
	街区番号	街区番号	数値	3	
フロンテージ ライン	町丁目名	町丁目名	テキスト	20	
	住所コード	住所 CD	テキスト	4	「住所コード」テーブルとリンク
	街区番号	街区番号	数値	3	
フロンテージ 区切	町丁目名	町丁目名	テキスト	20	
	住所コード	住所 CD	テキスト	4	「住所コード」テーブルとリンク
	街区番号	街区番号	数値	3	
フロンテージ 番号	町丁目名	町丁目名	テキスト	20	
	住所コード	住所 CD	テキスト	4	「住所コード」テーブルとリンク
	街区番号	街区番号	数値	3	
	フロンテージ番号	番号	テキスト	5	枝番があった場合は親番のみ 入れる。
	フロンテージ枝番	枝番	テキスト	5	枝番があった場合、枝番を入れる。
号	町丁目名	町丁目名	テキスト	20	
	住所コード	住所 CD	テキスト	4	「住所コード」テーブルとリンク
	街区番号	街区番号	数値	3	
	号番号	号番号	テキスト	20	
	付定年月日	付定年月日	日付		
	備考	備考	テキスト	200	
	氏名	氏名	テキスト	100	

名称	属性項目	項目 名称	データ型	桁数	備考
棟割線	町丁目名	町丁目名	テキスト	20	
	住所コード	住所 CD	テキスト	4	「住所コード」テーブルとリンク
	街区番号	街区番号	数値	3	
住居表示建物	町丁目名	町丁目名	テキスト	20	
	住所コード	住所 CD	テキスト	4	「住所コード」テーブルとリンク
	街区番号	街区番号	数値	3	
眼鏡線	町丁目名	町丁目名	テキスト	20	
	住所コード	住所 CD	テキスト	4	「住所コード」テーブルとリンク
	街区番号	街区番号	数値	3	

住居表示台帳図データファイル 1

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
Genkan	玄関	ポイント			
Dosen	動線				
Go	号番号				
Munewar i	棟割線	ライン			
Megane	眼鏡線	ライン			
JyukyoHouse	住居表示建物	ポリゴン			

1. 住居表示台帳図を基にDMに整合するように入力する。

号番号（ポイント）

- ・ 住居表示台帳図の号番号を入力する。
- ・ 建物の概ね中心に入れる。
- ・ 台帳に「-部屋番号」と記載があるものは号番号の後ろに「-部屋番号」を加える。

玄関（ポイント）

- ・ 住居表示台帳図の玄関位置にポイントを入力する。
- ・ 建物の線にスナップさせる。
- ・ 玄関が大きく建物内まで入り込んでいる場合は、台帳通りに入れる。
- ・ 台帳の表記上、建物内に少し入り T のような記号を使っている場合は、建物線と動線の交点に入力する。

動線（ライン）

- ・ 住居表示台帳図の動線を入力する。
- ・ フロンテージと玄関にスナップさせる。
- ・ 分かる範囲で DM に合わせて位置を補正する。
- ・ 基本的に建物形状と出来る限り重ならないように入力する。

眼鏡線（ライン）

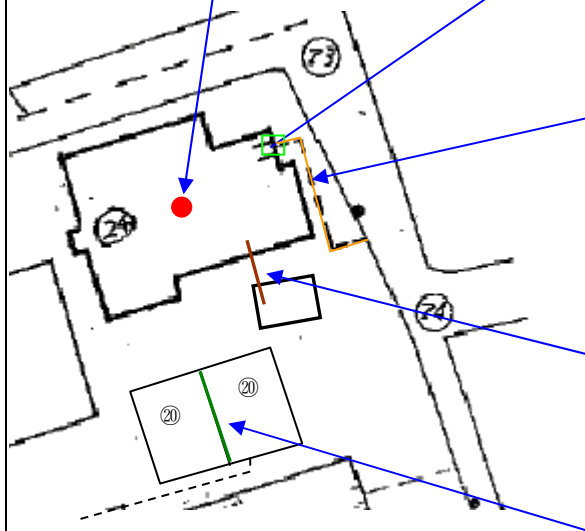
- ・ 住居表示台帳図に記載の眼鏡線を入力する。

棟割線（ライン）

- ・ DMでは取得対象ではないが、住居表示台帳図では記載のある棟割線を入力する。

住居表示建物（ポリゴン）

- ・ 撮影時点（H18 年 10～11 月）以降に建てられた地形図にはないが住居表示台帳には記載されている建物形状を入力する。



住居表示台帳図データファイル2

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
Frontage_L	フロンテージライン	ライン ポイント ポイント			
Frontage_P	フロンテージ区切				
Frontage_T	フロンテージ番号				

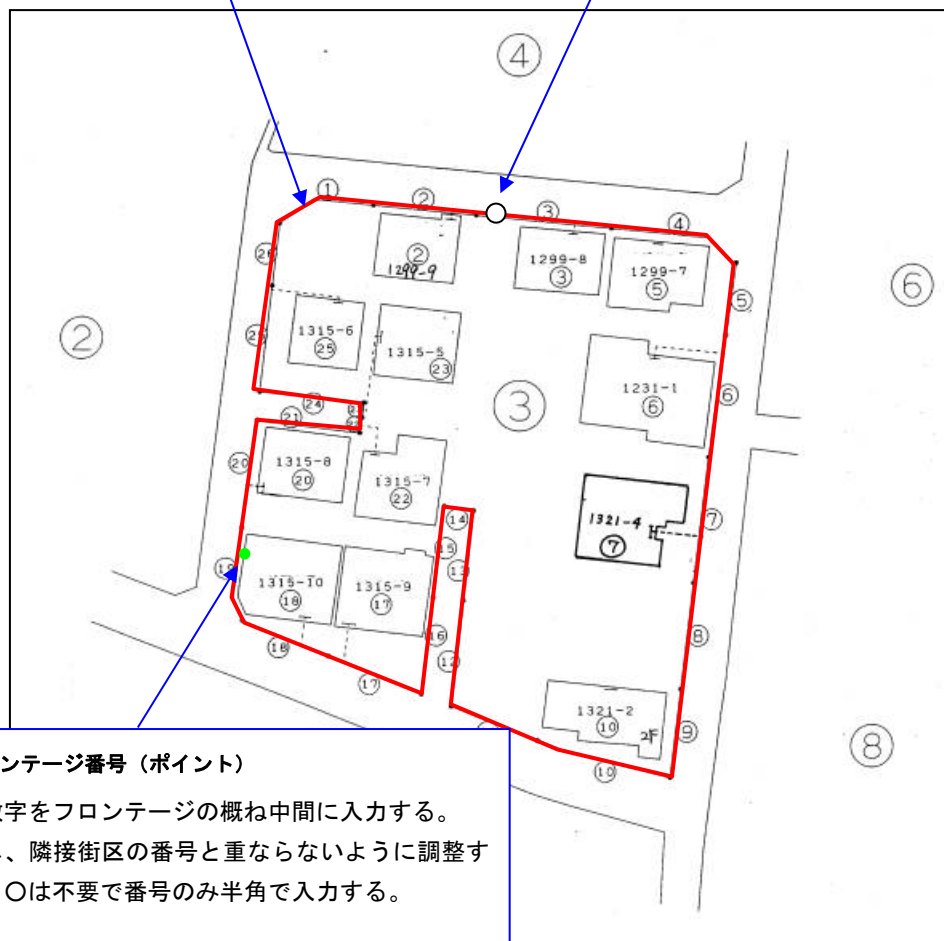
1. 住居表示台帳図を基にDMに整合するように入力する。

フロンテージ（ライン）

- ・住居表示台帳図のフロンテージをラインで入力する。
- ・道路縁と兼ねているところは、DM の道路縁と一致させる。
- ・水路や庭園路と兼ねているところはDM のデータと一致させる。
- ・基本的には閉じたラインとする。

フロンテージ区切（ポイント）

- ・住居表示台帳図のフロンテージ区切をポイントで入力する。
- ・道路縁と画像にズレがある場合は、建物番号と整合させつつ、均等割りで入力する。
- ・フロンテージにスナップする。



フロンテージ番号（ポイント）

- ・数字をフロンテージの概ね中間に入力する。
- ・但し、隣接街区の番号と重ならないように調整する。
- ・○は不要で番号のみ半角で入力する。

10. 品質要求定義及び評価手順

10.1 DMデータ

品質要求定義及び評価手順 <DM データ>

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
完全性	過剰・漏れ	基準点（国家・公共） 境界	・原典資料に対し、過剰・モレがないこと	・比較による目視検査	・基準点成果 ・境界入力基図	0 %	全数検査
		注記	・原典資料に対し、過剰・モレがないこと	・比較による目視検査	・注記校正図	0 %	全数検査
		道路・鉄道	・定義に対し、過剰・モレがないこと	・比較による目視検査	・空中写真画像	5 %	抜取検査 5 %
		建物	・定義に対し、過剰・モレがないこと	・比較による目視検査	・空中写真画像	5 %	抜取検査 5 %
		道路施設・鉄道施設・建物付属物・建物記号・小物体・水部・水部に関する構造物・構図等・場地・植生・等高線・変形地	・定義に対し、過剰・モレがないこと	・比較による目視検査	・空中写真画像 ・現地調査資料	10 %	抜取検査 5 %

品質要求定義及び評価手順<DM データ>

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
論理一貫性	書式一貫性	境界・道路・道路施設・ 鉄道・鉄道施設・建物・ 建物付属物・建物記号・ 小物体・水部・水部に 関する構造物・構図等・場 地・植生・等高線・変形 地・基準点・注記	・DM フォーマットの定義に一致 していること	・プログラム検査	・製品仕様書	0 %	全数検査
	定義域一貫性	境界・道路・道路施設・ 鉄道・鉄道施設・建物・ 建物付属物・建物記号・ 小物体・水部・水部に 関する構造物・構図等・場 地・植生・等高線・変形 地・基準点・注記	・座標値が定義域に含まれてい ること	・プログラム検査	・製品仕様書	0 %	全数検査
	位相一貫性		・規定しない				

品質要求定義及び評価手順<DM データ>

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
位置正確度	絶対または 外部正確度	基準点（国家・公共）	・原典資料に対し、成果が一致していること	・比較による目視検査	・基準点成果	0 %	全数検査
		道路	・現地測定成果との差が、標準偏差で水平位置が 1 / 5 0 0 区域で 2 5 cm 以内、1 / 1 0 0 0 区域で 7 0 cm 以内であること	・写真上で明瞭な箇所を選定し、現地測定値と DM 値を比較して標準偏差を求める。	・点検測量	標準偏差 2 5 cm 7 0 cm	抜取検査 市全域で 1 0 路線： 1 路線 5 0 m 程度
		道路施設・鉄道・鉄道施設・建物・建物附属物・小物体・水部・水部に關する構造物・構囲等	・現地測定成果との差が、標準偏差で水平位置 7 0 cm 以内であること	・写真上で明瞭な箇所を選定し、現地測定値と DM 値を比較して標準偏差を求める。	・点検測量	標準偏差 7 0 cm	抜取検査 市全域で 1 0 箇所： 1 箇所 2 0 点程度
		図化機測定による標高点	・現地測定成果との差が、標準偏差で垂直位置 6 6 cm 以内であること	・写真上で明瞭な箇所を選定し、現地測定値と DM 値を比較して標準偏差を求める。	・点検測量	標準偏差 6 6 cm	抜取検査 市全域で 1 0 路線： 1 路線 5 0 m 程度
	相対または 内部正確度	境界	・原典資料に対し、相似性があること	・比較による目視検査	・境界入力基図	0 %	全数検査

品質要求定義及び評価手順<DM データ>

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
主題正確度	分類の正確性	境界	・定義に対し、正確であること	・比較による目視検査	・境界入力基図	0 %	全数検査
		道路・道路施設・鉄道・ 鉄道施設・建物・建物付 属物・建物記号・小物 体・水部・水部に関する 構造物・構図等・場地・ 植生・等高線・変形地・ 基準点	・定義に対し、正確であること	・比較による目視検査	・空中写真画像 ・現地調査資料	1 0 %	抜取検査 5 %
	非定量的属性 の正確性	注記	・原典資料に対し、名称が正確 であること	・比較による目視検査	・注記校正図	0 %	全数検査

10.2 共用空間データ

品質要求定義及び手順 < 共用空間データ >

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
完全性	過剰・漏れ	行政区域（面、線） 軌道 2,500（線） 河川水涯線（線） 標高点（点）等高線（線） 線地物（線）点地物（点） 注記（点）	DM データと比較して過剰・漏れがないこと	・プログラム検査	DM	0 %	全数検査
		道路（面、線）、歩道（面） 街区（面）、 共用道路中心線（線） 基本図建物 軌道 10,000（線）駅舎（面） 河川水涯線（面）湖池（面）	DM データと比較して過剰・漏れがないこと	・比較による目視検査	DM	0 %	抜取検査 5 %
		地番（線）、筆（面）	地番図データと比較して過剰・漏れがないこと	・プログラム検査	地番図	0 %	抜取検査 5 %
		共用建物（面）	家屋図データと比較して過剰・漏れがないこと	・プログラム検査	家屋図	0 %	抜取検査 5 %
		基準点（点）	原典資料に対して過剰・漏れがないこと	原典資料との比較による目視検査	基準点成果表 又は基準点成果表（数値データ）	0 %	全数検査

品質要求定義及び手順＜共用空間データ＞

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
完全性	過剰・漏れ	画像	データ整備範囲に対して、漏れがないこと	・目視検査	数値写真	0 %	全数検査
		カメラデータ	撮影したカメラデータと比較して、過剰・漏れがないこと。	・目視検査	撮影記録	0%	全数検査
		外部標定要素	数値写真と比較して過剰・漏れがないこと。	・目視検査	撮影記録	0%	全数検査
	過剰	オルソ画像	オルソ画像の作成範囲を点検し、過剰に作成されている箇所の有無を評価する。	規定された範囲より1画素でも過剰に作成されていれば不適合とし、不適合箇所を数える。 不適合箇所が 0 なら合格、0 以外なら不合格。	図郭データ	不適合箇所：0	全数検査
	漏れ	空中写真（モデル）	同一コースの隣接写真間が所定の割合で重複（オーバーラップ）すること。	プログラム解析による精度管理表による確認。	精度管理表	0%	全数検査
		空中写真（コース）	隣接するコース間で所定の割合で重複（サイドラップ）すること。	プログラム解析による精度管理表による確認。	精度管理表	0%	全数検査
		外部標定要素	各数値写真の外部標定要素に不足はないか評価する。	各数値写真の外部標定要素が不足していれば不適合とし、不適合の件数を数える。 不適合件数が 0 なら合格、0 以外なら不合格。	撮影記録	不適合件数：0	全数検査

品質要求定義及び手順 <共用空間データ>

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
完全性	漏れ	オルソ画像	オルソ画像の作成範囲を点検し、漏れている箇所の有無を評価する。	規定された範囲より1画素でも欠落していれば不適合とし、不適合箇所を数える。 不適合箇所が 0 なら合格、0 以外なら不合格。	図郭データ	不適合箇所：0	全数検査

品質要求定義及び手順 < 共用空間データ >

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
論理一貫性	書式一貫性	全ての共用空間データ	Shape フォーマット定義書に一致していること	Shape ファイル形式であるかを GIS ソフト或いはプログラムにより検査を行う。使用したプログラムを特定できる資料（名称、バージョン）を記録に残す。	Shapefile 定義書	0 %	全数検査
		数値写真	数値写真のファイルフォーマットが、規定されたものに適合するか評価する。	TIFF が扱えるソフトウェアを用いて、数値写真が適切に表示されるか検査し、ファイルフォーマットのエラーが原因で適切に表示されない不適合の件数を数える。 不適合件数が 0 なら合格、0 以外なら不合格。	数値写真画像データ	不適合件数：0	全数検査
		オルソ画像	規定されたファイルフォーマットに適合しない箇所の有無を評価する。	測地座標系を扱える GIS ソフトウェアを用いて測地座標系の適切な位置に正しい色調及びビット深度でオルソ画像が表示されるか検査し、適切に評されない不適合箇所を数える。 不適合箇所が 0 なら合格、0 以外なら不合格。	オルソ画像データ	不適合件数：0	全数検査

品質要求定義及び手順＜共用空間データ＞

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
論理一貫性	定義域一貫性	行政区域（面、線） 基準点（点） 道路（面、線） 歩道（線） 共用建物（面） 基本図建物（面） 建物（面） 軌道（線） 河川水涯線（線） 標高点（点）等高線（線） 線地物（線）点地物（点） 注記（点） 画像	製品仕様書の値域にあること	属性が定義域にあるかを GIS ソフトを使用し、検査を行う。	製品仕様書	0 %	全数検査
		面構造のデータ	閉合した図形となっていること	面、線、点構造であるかをプログラムにより検査を行う。使用したプログラムを特定できる資料（名称、バージョン）を記録に残す。	Shapefile	0 %	全数検査
		線構造のデータ	共用道路中心線はノード点を共有していること				
		点構造のデータ	ポイント図形となっていること				

品質要求定義及び手順＜共用空間データ＞

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
位置正確度	絶対または 外部正確度	基準点（点）	原点資料にある空間属性と一致していること	GIS の空間検索による検査	監理課所管の基準点データ	0 %	全数検査
		外部標定要素	地上参照系との水平位置および標高の誤差が制限値以内であること。 【制限値】 水平：0.7[m] 標高：0.33[m] を超えないものとする。	基準点 1 点を使用した調整計算結果において、当該点以外の基準点の残差が制限値内であることを確認する。	同時調整計算	0%	全数検査
		外部標定要素	同一ブロック内における基準点残差が制限値以内であること。 【制限値】 水平位置及び標高の最大値が標準の地上画素寸法を基線高度比で割った値を超えないものとする。UCXP, UCEで 0.44[m]。	全点使用した同時調整計算結果の基準点残差が制限範囲内であることを確認する。	同時調整計算	0%	全数検査

		外部標定要素	同一ブロック内における数値写真上でのパスポイントおよびタイポイントの交会残差が制限値以内であること。 【制限値】交会残差の標準偏差は0.75画素以内、最大値は1.5画素以内とする。	最終同時調整計算結果の同一ブロック内における数値写真上でのパスポイントおよびタイポイントの交会残差が制限値以内であること	同時調整計算	0%	全数検査
		空中写真	対地高度の乖離 対地高度の計画との乖離が、計画対地高度の制限範囲（計画対地高度5%）であること。	外部標定要素を撮影計画プログラムに取り込み、プログラム処理によって精度管理表に出力し、精度管理表を確認する。	外部標定要素	0%	全数検査
		空中写真	航跡の計画との乖離が、制限値以内であること	外部標定要素を撮影計画プログラムに取り込み、プログラム処理によって精度管理表に出力し、精度管理表を確認する。	外部標定要素	0%	全数検査

品質要求定義及び手順＜共用空間データ＞

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
位置正確度	絶対位置正確度	空中写真	カメラの前後および左右、上下を軸とした回転量が制限値以内であること	外部標定要素を撮影計画プログラムに取り込み、プログラム処理によって精度管理表に出力し、精度管理表を確認する。	外部標定要素	0%	全数検査
		外部標定要素	標定点の残差が、規定された範囲内であるか評価する。 【制限値】水平位置及び標高の最大値が標準の地上画素寸法を基線高度比で割った値を超えないものとする。UCXP, UCE で 0.44[m]。	標定点の残差を検査する。 適合品質水準を満たしていれば合格、満たしていなければ不合格。	同時調整計算	0%	全数検査
		外部標定要素	各空中写真上でのパスポイント及びタイポイントの交会残差が、規定された範囲内であるか評価する。 【制限値】交会残差の標準偏差は 0.75 画素以内、最大値は 1.5 画素以内とする。	同時調整の結果から、同一ブロック内におけるパスポイント及びタイポイントの交会残差を検査する。 適合品質水準を満たしていれば合格、満たしていなければ不合格。	同時調整計算	0%	全数検査

品質要求定義及び手順＜共用空間データ＞

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
位置正確度	相 対 位 置 正 確 度	オルソ画像	モザイク画像の点検を行い、著しい歪みや段差の有無を評価する。	主要地物について、著しい歪みや段差の有無を検査する。また、接合部の位置ずれについて、著しい歪みや段差の有無を検査する。 不適合箇所(著しい歪みや段差)が0 なら合格、0 以外なら不合格。	オルソ画像データ	0%	全数検査

品質要求定義及び手順＜共用空間データ＞

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
位置正確度	相対または 内部正確度	共用空間データ全て (筆、共用建物、基準点、 駅舎、軌道 1/10,000、共 用道路中心線を除く)	DM データと実座標で、1 cm 以内で一致していること	DM と検査レイヤーの距離が 1 c m以上離れている要素がないかの 検査をプログラムにて行う。	DM	0 %	抜取検査 5 %
		地番（線）、筆（面）	地番図データと概ね相似して いること	目視による検査	地番図	0 %	抜取検査 5 %
		共用建物（面）	家屋図データと概ね相似して いること	目視による検査	家屋図	0 %	抜取検査 5 %
		共用道路中心線	DM 道路の概ね中心位置となっ ていること	DM 道路の概ね中心にあるか目視 にて検査を行う。	DM	0 %	抜取検査 5 %
		軌道 1/10,000、駅舎	・軌道の概ね中心位置となっ ていること ・駅舎の外形を概ね捉えている こと	目視による検査	DM	0 %	抜取検査 5 %
		画像	DMデータの地物と一致して いること。	目視による検査	DM	0 %	抜取検査 5 %

品質要求定義及び手順＜共用空間データ＞

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
主題正確度	分類の正確性	行政区域（線） 建物（面）、等高線（線） 線地物、点地物、注記	DM 表現分類が DM と一致していること	DM と表現分類が一致しているかの検査をプログラムにて行う。	DM	0 %	抜取検査 5 %
		基準点（点）	点の種別、点の等級、標識の現況が分類と一致していること	点の種別、点の等級、標識の現況が分類と一致しているかの検査を GIS にて行う。	監理課所管の基準点データ	0 %	全数
		地番（線）、筆（面）	所在地コードが分類と一致していること	所在地コードが分類と一致しているかの検査をプログラムにて行う。	所在地コード表	0 %	抜取検査 5 %
		道路（面、線）	道路分類が原典資料と一致していること	道路の分類に誤りはないか目視検査を行う	管内図 道路台帳	0 %	抜取検査 5 %
		基本図建物（面）	建物部分を面として認識していること	建物部分が正しく面として認識しているか目視検査を行う。	DM	0 %	抜取検査 5 %
		共用建物（面）	建物部分を面として認識していること	建物部分が正しく面として認識しているか目視検査を行う。	家屋図	0 %	抜取検査 5 %
		河川水涯線（面） 湖池（面）	水部を面として認識していること	DM 取得の水涯線を正しく水面として認識しているか目視検査を行う。	DM	0 %	抜取検査 5 %
時間正確度	時間一貫性	全て	規定しない	—	—	—	—
	時間妥当性	全て	規定しない	—	—	—	—

品質要求定義及び手順<共用空間データ>

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
主題正確度	非定量的属性 の正確性	行政区域（面）	DM 取得の行政名と一致していること	DM 取得の行政名と一致しているか 目視検査を行う。	DM	0 %	抜取検査 5 %
		地番（線）、筆（面）	土地課税台帳の所在地コード及び地番と一致していること	土地課税台帳の所在地コード及び地番と一致しているかの検査をプログラムにて行う。	土地課税台帳	0 %	抜取検査 5 %
		基準点（点）	原典資料にある属性と一致していること	原典資料との比較による目視検査	監理課所管の基準点データ	0 件	全数検査
		街区（面）	住居表示台帳と住居番号が一致していること	住居表示台帳と住居番号が一致しているか目視検査を行う。	住居表示台帳	0 %	抜取検査 5 %
		道路（面）	路線番号が一致していること	道路台帳と路線番号が一致しているか目視検査を行う。	道路台帳	0 %	抜取検査 5 %
		共用建物（面）	家屋課税台帳の家屋所在番号と一致していること	家屋課税台帳の家屋所在番号と一致しているかの検査をプログラムにて行う。	家屋課税台帳	0 %	抜取検査 5 %
		標高点（点）、等高線（線）	DM の標高値と一致していること	DM と標高値が一致しているかの検査をプログラムにて行う。	DM	0 %	抜取検査 5 %
		軌道（線） 1/10,000 駅（点）	・DM 取得の鉄道名称と一致していること ・DM 取得の駅名称と一致していること	DM 取得の鉄道名称、駅名と一致しているか目視検査を行う。	DM	0 %	抜取検査 5 %
		注記（点）	属性のテキストが DM の注記文字と一致していること	DM 取得の注記文字と一致しているか目視検査を行う。	DM	0 %	抜取検査 5 %

品質要求定義及び手順＜共用空間データ＞

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
主題正確度	非定量的属性 の正しさ	数値写真	数値写真の色階調等が、規定されたものに適合するか評価する。 【作業規程の準則 第 139 条第 2 項 第 11 号】	色階調が 8bit 以上かつコントラストの高い画像ソフトを用いて、数値写真の色階調等を検査する。 適合品質水準を満たしていれば合格、満たしていなければ不合格。	数 値 写 真 画 像データ	0%	全数検査
		数値写真	写真にぼけはないか評価する。	写真にぼけがあれば不適合とし、不適合の件数を数える。 不適合件数が 0 なら合格、0 以外なら不合格。	数 値 写 真 画 像データ	0%	全数検査
		数値写真	写真にぶれはないか評価する。	写真にぶれがあれば不適合とし、不適合の件数を数える。 不適合件数が 0 なら合格、0 以外なら不合格。	数 値 写 真 画 像データ	0%	全数検査
		オルソ画像	オルソ画像の地上画素寸法が、作業規程の準則第 250 条第 2 項の規定を満たしているか評価する。	オルソ画像の地上画素寸法を検査する。 作業規程の準則第 250 条第 2 項を満たしていれば合格、満たしていなければ不合格。	オ ル ソ 画 像 データ	0%	全数検査
		オルソ画像	数値写真の中心データを使用してオルソ画像を作成しているか評価する。	GIS ソフトウェアに撮影写真主点データをと作成したオルソ画像を取り込み、主点位置付近の画像を確認して、倒れこみを確認する。	撮 影 主 点 デ ータ	0%	全数

10.3 道路台帳要素データ

品質要求定義及び手順 <道路台帳要素データ>

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
完全性	過剰・漏れ	起終点（点）・道路中心線（線） 路線名称（点）・区間（線、面） 側溝（線）・雨水樹（線） 橋梁（点、線、面）・踏切（点、線、面） トンネル（点、線、面）	道路台帳図及び測定基図と比較 して過剰・漏れがないこと	・比較による目視検査	道路台帳図及び測定基図	0 %	全数検査
		並木・植樹（点・線）・防護柵（線） 横断歩道橋（面）・地下横断歩道（面） 安全地帯（面）・駒止（線） 道路の雪覆い（面）・幅員（点、線、面） 舗装種別（点、線）・縦断勾配（点、線） 曲率半径（点、線）・官民境界（点、線） 道路標識（点）・反射鏡（点）・街路灯 （点） マンホール（点）・注記（点）	道路台帳図及び測定基図と比較 して過剰・漏れがないこと	・比較による目視検査	道路台帳図及び測定基図	0 %	抜取検査 5 %

品質要求定義及び手順 <道路台帳要素データ>

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
論理一貫性	書式一貫性	全ての道路台帳要素データ	Shape フォーマット定義書に一致していること	Shape ファイル形式であるかを GIS ソフト或いはプログラムにより検査を行う。使用したプログラムを特定できる資料（名称、バージョン）を記録に残す。	Shapefile 定義書	0 %	全数検査
	定義域一貫性	起終点（点）・道路中心線（線） 路線名称（点）・区間（線、面） 側溝（線）・雨水樹（線） 橋梁（点、線、面）・踏切（点、線、面） トンネル（点、線、面）	製品仕様書の値域にあること	属性が定義域にあるかを、GIS ソフトを使用し、検査を行う。	製品仕様書	0 %	全数検査

品質要求定義及び手順＜道路台帳要素データ＞

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
論理一貫性	位相一貫性	面構造のデータ	閉合した図形となっていること	面、線、点構造であるかをプログラムにより検査を行う。使用したプログラムを特定できる資料（名称、バージョン）を記録に残す。	Shapefile	0 %	全数検査
		線構造のデータ	道路中心線はノード点を共有していること				
		点構造のデータ	ポイント図形となっていること				

品質要求定義及び手順＜道路台帳要素データ＞

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
位置正確度	相対または 内部正確度	道路台帳要素データ全て (区間データ、道路中心線データ など、共用空間データを利用して 構造化した道路台帳要素、および その位置的影響を受けるものを 除く) (注記関連データを除く)	道路台帳図及び測定基図と比較 して実座標で 1/500 台帳図区域は 50 c m以内、1/1,000 台帳図区域 で、1m以内で一致していること。	・比較による目視検査	道路台帳図及び 測定基図	0 %	抜取検査 5 %
時間正確度	時間一貫性	全て	規定しない	—	—	—	—
	時間妥当性	全て	規定しない	—	—	—	—

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
主題正確度	分類の正確性	道路台帳要素データ全て	道路台帳要素表現分類が道 路台帳図及び測定基図と一 致していること	道路台帳図及び測定基図と表現 分類が一致しているかの目視チ ェックを行う。	道路台帳図及び 測定基図	0 %	抜取検査 5 %

品質要求定義及び手順＜道路台帳要素データ＞

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
主題正確度	非定量的属性 の正確性	路線名称（点）	道路台帳図及び測定基図と路線 名称が一致していること	道路台帳図及び測定基図と一致して いるか目視検査を行う。	道路台帳図及び測 定基図	0 %	全数検査
		区間（面）	道路台帳図及び測定基図と区間 番号が一致していること	道路台帳図及び測定基図と一致して いるか目視検査を行う。	道路台帳図及び測 定基図	0 %	抜取検査 5 %
		側溝種別・幅員（点）	道路台帳図及び測定基図と側溝 種別・幅員が一致していること	道路台帳図及び測定基図と一致して いるか目視検査を行う。	道路台帳図及び測 定基図	0 %	抜取検査 5 %
		橋梁区間（面） 橋梁注記（点）	道路台帳図及び測定基図と橋梁 属性が一致していること	道路台帳図及び測定基図と一致して いるか目視検査を行う。	道路台帳図及び測 定基図	0 %	抜取検査 5 %
		踏切区間（面） 踏切注記（点）	道路台帳図及び測定基図と踏切 属性が一致していること	道路台帳図及び測定基図と一致して いるか目視検査を行う。	道路台帳図及び測 定基図	0 %	抜取検査 5 %
		トンネル区間（面） トンネル注記（点）	道路台帳図及び測定基図とトンネル 属性が一致していること	道路台帳図及び測定基図と一致して いるか目視検査を行う。	道路台帳図及び測 定基図	0 %	抜取検査 5 %
		舗装種別（点）	道路台帳図及び測定基図と舗装 種別が一致していること	道路台帳図及び測定基図と一致して いるか目視検査を行う。	道路台帳図及び測 定基図	0 %	抜取検査 5 %
		縦断勾配（点）	道路台帳図及び測定基図と縦断 勾配が一致していること	道路台帳図及び測定基図と一致して いるか目視検査を行う。	道路台帳図及び測 定基図	0 %	抜取検査 5 %
		曲率半径（点）	道路台帳図及び測定基図と曲率 半径が一致していること	道路台帳図及び測定基図と一致して いるか目視検査を行う。	道路台帳図及び測 定基図	0 %	抜取検査 5 %

10.4 固定資産要素データ

品質要求定義及び評価手順 <固定資産要素データ>

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
完全性	過剰・漏れ	固定資産境界（線） 固定資産筆（面） 固定資産地番（線）	・原典資料に対し、過剰がない こと	・プログラム検査	・地籍データ（数値データ） ・土地課税台帳及び土地補充課税台帳（数値データ） ・地積測量図（数値データ）	0 %	全数検査
		固定資産境界（線） 固定資産筆（面） 固定資産地番（線）	・原点資料に対し、モレがない こと	・プログラム検査	・地籍データ（数値データ） ・土地課税台帳及び土地補充課税台帳（数値データ） ・地積測量図（数値データ）	0 %	全数検査

品質要求定義及び評価手順 <固定資産要素データ>

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
完全性	過剰・漏れ	固定資産家屋番号（線）	・原典資料に対し、過剰がない こと	・プログラム検査	・ 家屋課税台帳及び家屋 補充課税台帳 (数値データ)	0 %	全数検査
		固定資産家屋番号（線）	・原典資料に対し、モレがない こと	・プログラム検査	・ 家屋課税台帳及び家屋 補充課税台帳 (数値データ)	0 %	全数検査

品質要求定義及び評価手順<固定資産要素データ>

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
論理一貫性	書式一貫性	固定資産要素データ全 て	・製品仕様書に定められた書式 定義と一致していること	・プログラム検査	・製品仕様書	0 %	全数検査
	定義域一貫性	固定資産要素データ全 て	・製品仕様書に定められた空間 定義域内又は属性定義域内 にあること	・プログラム検査	・製品仕様書	0 %	全数検査
	位相一貫性	固定資産要素データ全 て	・製品仕様書に定められた空間 位置の定義と一致している こと	・プログラム検査	・製品仕様書	0 %	全数検査

品質要求定義及び評価手順＜固定資産要素データ＞

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
位置正確度	絶対または 外部正確度	固定資産境界（線） 固定資産筆（面）	・原典資料にある空間位置と一 致していること（決定コード が【10】の場合）	・プログラム検査・	・地籍データ （数値データ） ・地積測量図 （数値データ）	0 %	全数検査
	相対または 内部正確度	固定資産境界（線） 固定資産筆（面）	・原典資料に対し、相似性があ ること	・比較による目視検査	・地籍データ （数値データ） ・地積測量図 （数値データ）	0 %	抜取検査 5 %

品質要求定義及び評価手順＜固定資産要素データ＞

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
主題正確度	非定量的属性 の正確性	固定資産地番（線）	・原典資料にある属性と一致していること	・プログラム検査・	・地籍データ（数値データ） ・土地課税台帳及び土地補充課税台帳（数値データ） ・地積測量図（数値データ）	0 %	全数検査
			・製品仕様書に定められた範囲内で、原典資料にある属性と一致していること	・比較による目視検査	・公図	0 %	抜取検査 5 %
	定性的属性の 正確性	固定資産家屋番号（線）	・原典資料に対し、位置と番号が正確であること	・比較による目視検査	・家屋評価図	0 %	全数検査

10.5 表札情報データ

品質要求定義及び評価手順 <表札情報データ>

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
完全性	過剰・漏れ	住民記録データ 検索用データ 地図表示用データ	・原典資料に対し、過剰・漏れ がないこと	・プログラム検査	・住民記録データ ・外国人登録データ ・固定資産筆 ・タウンページ ・目標物対象市有施設等一覧 ・消防指令システムデータ（目標物） ・医療機関データ ・食品生活衛生課食品環境衛生総合情報システム（事業者管理台帳） ・金融機関一覧 ・国、県機関等の施設一覧（DM注記資料） ・道路台帳要素（橋トンネル注記） ・DM注記（橋トンネル注記） ・地域公民館データ ・バス停データ	0 %	全数検査

品質要求定義及び評価手順＜表札情報データ＞

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
論理一貫性	書式一貫性	表札情報データ全て	・製品仕様書に定められた書式 定義と一致していること	・プログラム検査	・製品仕様書	0 %	全数検査
	定義域一貫性	表札情報データ全て	・製品仕様書に定められた空間 定義域内又は属性定義域内 にあること	・プログラム検査	・製品仕様書	0 %	全数検査
	位相一貫性	面構造のデータ	閉合した図形となっていること	面、線、点構造であるかをプログラムにより検査を行う。使用したプログラムを特定できる資料（名称、バージョン）を記録に残す。	Shapefile	0 %	全数検査
		線構造のデータ	ラインの図形となっていること				
		点構造のデータ	ポイント図形となっていること				

品質要求定義及び評価手順＜表札情報データ＞

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
位置正確度	相対または 内部正確度	全て	規定しない	—	—	—	—
時間正確度	時間一貫性	全て	規定しない	—	—	—	—
	時間妥当性	全て	規定しない	—	—	—	—

品質要求定義及び評価手順＜表札情報データ＞

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
主題正確度	非定量的属性 の正確性	住民記録データ 検索用データ 地図表示用データ	・原典資料にある属性と一致していること	・プログラム検査	・住民記録データ ・外国人登録データ ・固定資産簿 ・タウンページ ・目標物対象市有施設等一覧 ・消防指令システムデータ（目標物） ・医療機関データ ・食品生活衛生課食品環境衛生総合情報システム（事業者管理台帳） ・金融機関一覧 ・国、県機関等の施設一覧（DM注記資料） ・道路台帳要素（橋トンネル注記） ・DM注記（橋トンネル注記） ・地域公民館データ ・バス停データ	0 %	全数検査

10.6 住居表示台帳図データ

品質要求定義及び評価手順 <住居表示台帳図データ>

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
完全性	過剰・漏れ	住居表示台帳図データ	・原典資料に対し、過剰・漏れがないこと	・目視検査	住居表示台帳図	0 %	抜取検査 5 %
論理一貫性	書式一貫性	住居表示台帳図データ 全て	・製品仕様書に定められた書式 定義と一致していること	・プログラム検査	・製品仕様書	0 %	全数検査
	定義域一貫性	住居表示台帳図データ 全て	・製品仕様書に定められた空間 定義域内又は属性定義域内 にあること	・プログラム検査	・製品仕様書	0 %	全数検査
	位相一貫性	面構造のデータ	閉合した図形となっていること	面、線、点構造であるかをプログラムにより検査を行う。使用したプログラムを特定できる資料（名称、バージョン）を記録に残す。	Shapefile	0 %	全数検査
		線構造のデータ	ラインの図形となっていること				
		点構造のデータ	ポイント図形となっていること				

品質要求定義及び評価手順＜住居表示台帳図データ＞

データ 品質要素	データ 品質副要素	データ 品質適用範囲	データ 品質評価定義	品質評価手順	原典資料	適合 品質水準	検査の 種類
位置正確度	相対または 内部正確度	住居表示台帳図データ	・原典資料に対し、相似性があること	・比較による目視検査	・住居表示台帳図	0 %	抜取検査 5 %
時間正確度	時間一貫性	全て	規定しない	—	—	—	—
	時間妥当性	全て	規定しない	—	—	—	—
主題正確度	定性的属性の 正確性	住居表示台帳図データ	・原典資料に対し、住居表示番号が一致していること	・比較による目視検査	・住居表示台帳図	0 %	抜取検査 5 %

コードテーブル

コードテーブル一覧

NO	名称	レイヤー名 (DBase4 形式)	元データ	項目	備考
1	住所コード	CD_JYUSHO	冊子「長野市の大字 (町) 区域名称」を参照	・住所 CD ・住所名称 ・住居表示 ・大字頭文字	住民記録データ等の住所コードと対応する。
2	所在地コード	CD_SYOZAI	固定資産の「所在地コード」	・所在地 CD ・所在地名称 ・住居表示 ・大字頭文字	地番図の所在地コードと対応する。
3	オリジナル住所表記コード	CD_OriginalJyusho	目標物データのオリジナルの住所表記から作成	・住所 CD ・住所名称 ・住居表示 ・大字頭文字	
4	住所検索用コード	CD_SEARCH_JYUSHO	・住所コード ・所在地コード ・オリジナル住所表記コード	・住所検索用 CD ・住所名称 ・住居表示 ・大字頭文字	住所検索機能で使用する
5	目標物コード	CD_MOKUHYO		・大分類 CD ・大分類名称 ・中分類 CD ・中分類名称 ・小分類 CD ・小分類名称	目標物検索で使用する。
6	管内コード	CD_KANAI	「長野市の大字 (町) 区域名称」	・管内 CD ・名称	
7	所属課コード	CD_Syozoku	長野市所属課コード表	・所属 CD ・所属名	

項目定義

名称	属性項目	項目名称	データ型	桁数	備考
住所コード	ID	ID	数値型	10	一意の識別ID
	各データの住所CDに対応するコード	住所CD	テキスト	4	
	住所名称	住所名称	テキスト	30	
	住居表示実施区域か否か	住居表示	数値型	10	0：非住居表示実施区域 1：住居表示実施区域
	大字頭文字	大字頭文字	テキスト	8	大字長野の場合は大字を省き、「ながの」とする
所在地コード	ID	ID	数値型	10	一意の識別ID
	地番検索用データの所在地CDに対応する	所在地CD	テキスト	4	
	所在地名称	所在地名称	テキスト	30	
	住居表示実施区域か否か	住居表示	数値型	10	0：非住居表示実施区域 1：住居表示実施区域
	大字頭文字	大字頭文字	テキスト	8	大字長野の場合は大字を省き、「ながの」とする
オリジナル住所表記コード	ID	ID	数値型	10	一意の識別ID
	各データの住所検索CDに対応するコード	住所CD	テキスト	4	
	住所名称	住所名称	テキスト	30	
	住居表示実施区域か否か	住居表示	数値型	10	0：非住居表示実施区域 1：住居表示実施区域
	大字頭文字	大字頭文字	テキスト	8	大字長野の場合は大字を省き、「ながの」とする
住所検索用コード	ID	ID	数値型	10	一意の識別ID
	各データの住所検索CDに対応するコード	住所検索CD	テキスト	4	
	住所名称	住所名称	テキスト	30	
	住居表示実施区域か否か	住居表示	数値型	10	0：非住居表示実施区域 1：住居表示実施区域
	大字頭文字	大字頭文字	テキスト	8	大字長野の場合は大字を省き、「ながの」とする
目標物分類コード	ID	ID	数値型	10	一意の識別ID
	大分類CD	大分類CD	数値型	10	
	大分類名称	大分類名称	テキスト	100	
	中分類CD	中分類CD	数値型	10	
	中分類名称	中分類名称	テキスト	100	
	小分類CD	小分類CD	数値型	10	
	小分類名称	小分類名称	テキスト	100	

名称	属性項目	項目名称	データ型	桁数	備考
管内コード	ID	ID	数値型	10	一意の識別ID
	各データの管内CDに対応するコード	管内CD	数値型	10	
	管内名称	名称	テキスト	20	
所属課コード	ID	ID	数値型	10	一意の識別ID
	市有施設等の所属CDに対応するコード	所属CD	テキスト	10	
	所属名	所属名	テキスト	100	

コード表の説明 2

ファイル名	名 称	位置精度	-	取得基準	-
CD_MOKUHYO	目標物コード				
CD_KANAI	管内コード				
CD_SYOZOKU	所属課コード				

○目標物コード

1. 目標物検索用に使用するコード表である。
2. 目標物検索データや地図表示用データの分類 CD、中分類 CD、小分類 CD とリンクする。

○管内コード

1. 市が発行する冊子「長野市の大字（町）区域名称」を元に作成する。
2. 目標物検索データの「管内 CD」とリンクする。

○所属課コード

1. 長野市所属コード表を元に作成する。
2. 市有施設等データの「所管課 CD」とリンクする。